

(健Ⅱ62F)

平成30年6月14日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 菴 敏

平成29年度「ワクチン価格調査」報告書について

厚生労働省が実施する標記調査については、平成29年12月15日付(地Ⅲ184F)をもって貴会宛周知協力方お願いいたしました。

今般、同調査報告書が取りまとめられ、別添のとおり厚生労働省より本会宛周知方依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会、会員への周知方ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

健健発 0612 第 2 号
平成 30 年 6 月 12 日

公益社団法人日本医師会
感染症危機管理対策室
室長 釜萯 敏 殿

厚生労働省健康局健康課長



平成 29 年度「ワクチン価格調査」報告書について

予防接種法に基づく定期接種の実施につきましては、日頃より多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記につきましては、本年 1 月に、予防接種法に基づく定期接種の実施医療機関におけるワクチン納入価格の調査を実施いたしました。貴会をはじめ、貴会会員の皆様に、本調査へ御協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

先般、調査の委託先（株式会社日本リサーチセンター）から調査報告書が提出され、6 月 7 日（金）に開催した厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会に報告いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本調査報告書につきましては、厚生労働省ホームページに掲載（下記 URL 参照）しておりますので、貴会会員へ周知いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【平成 29 年度ワクチン価格調査報告書】

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000210760.pdf>

平成 29 年度「ワクチン価格調査」報告書 正誤表（下線部分修正箇所）

平成 30 年 6 月 19 日
（株）日本リサーチセンター

下記の通り、誤記がありましたので、お詫びして訂正いたします。

◎ ワクチン・トキソイドの 1 包装あたりの税抜購入価格（問 7）

【P12（図表 7）・数表の表記】

《正》	《誤》
インフルエンザ（ <u>シリンジ</u> 0.5mL 5 本）	インフルエンザ（ <u>瓶入</u> 0.5mL 5 本）
インフルエンザ（ <u>シリンジ</u> 0.25mL 1 本）	インフルエンザ（ <u>瓶入</u> 0.25mL 1 本）

【P37・グラフタイトル】

《正》	《誤》
インフルエンザ（ <u>シリンジ</u> 0.5mL 5 本）	インフルエンザ（ <u>瓶入</u> 0.5mL 5 本）

【P38・グラフタイトル】

《正》	《誤》
インフルエンザ（ <u>シリンジ</u> 0.25mL 1 本）	インフルエンザ（ <u>瓶入</u> 0.25mL 1 本）

◎回答機関（定期接種実施機関）の属性

【P6（図表 2）・グラフの表記】

《正》	《誤》
公的医療機関	公的医療期間

以 上

平成29年度「ワクチン価格調査」
報告書

平成30年3月
(株)日本リサーチセンター

平成29年度 ワクチン価格調査

目 次

I. 調査の概要.....	1
II. 回答機関(定期接種実施機関)の属性	
1. 施設区分.....	5
2. 開設者.....	6
3. 定期接種を実施している診療科.....	7
4. ワクチン・トキソイドの取引業者数.....	8
5. 自治体等からのワクチン・トキソイドの現物支給の有無.....	9
6. 定期接種実施機関のワクチン・トキソイド使用状況.....	10
III. ワクチン・トキソイド購入価格(1包装単位当たりの税抜購入単価).....	12

I . 調査の概要

I. 調査の概要

I-1. 調査の目的

予防接種法の規定により市町村が実施している予防接種等について、ワクチン等の実勢価格を把握し、今後の施策をより適切に実施するための基礎資料を得ることを目的とする。

I-2. 納入価格の調査対象とするワクチン・トキソイド

予防接種法に基づく定期の予防接種に定められたワクチン・トキソイド、及びおたふくかぜワクチン、ロタウイルスワクチンの、定期接種実施医療機関の購入価格についての調査を実施する。

定期接種(A型疾病)

人から人に伝染することによるその発生及びまん延を予防するため、又はかかった場合の病状の程度が重篤になり、若しくは重篤になるおそれがあることからその発生及びまん延を予防するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病として政令で定める疾病

MR(麻疹・風疹混合)

麻疹

風疹

BCG(結核)

水痘

四種混合(DPT-IPV:百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合)

二種混合(DT:ジフテリア・破傷風混合)

破傷風

ポリオ(IPV:不活化ポリオ)

インフルエンザ菌b型(ヒブ、Hib)

小児用肺炎球菌(PCV13:13価結合型)

B型肝炎

日本脳炎

ヒトパピローマウイルス2価

ヒトパピローマウイルス4価

定期接種(B型疾病)

個人の発病又はその重症化を防止し、併せてこれによりそのまん延の予防に資するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病として政令で定める疾病

インフルエンザ

成人用肺炎球菌(PPSV23:23価多糖体)

任意接種

おたふくかぜ

ロタウイルス(1価)

ロタウイルス(5価)

ワクチン・トキソイドの購入価格は、平成29年度(4月以降)、卸売業者等から購入した際の1包装単位あたりの購入価格(税抜単価)を製品名ごとに尋ねた。

複数の卸売業者と取引がある場合は、取引が最も多い業者からの購入価格の回答を求めた。

時期によって価格が異なる場合は、直近の購入価格の回答を求めた。

定期接種で使用するワクチン・トキソイドの購入価格を調査するものであるため、自治体等から現物支給されているワクチン・トキソイドについては価格聴取していない。

I-3. 調査対象医療機関

全国の定期接種実施医療機関(病院、診療所等)

抽出台帳としては、厚生労働省が全国47都道府県から定期接種実施医療機関として情報提供を受けた67,725施設の一覧を用いた。

平成29年1月1日住民基本台帳人口を用いて、都道府県全47層の抽出数を配分し、調査対象施設14,000施設を層化無作為抽出した(抽出率20.7%)。

(地方自治体等の同意が得られず提供されなかった一部の自治体の医療機関については抽出台帳に含まれていない。)

抽出発信数	14,000 施設	14,000 _{ベース}	100.0%
返戻数	163 施設		1.2%
有効対象機関数	13,837 施設		98.8%
回収数	5,868 施設		41.9%
不能数(休業・廃業、定期接種の実施なし等)	688 施設		4.9%
有効回収数(定期接種を実施)	5,180 施設		37.0%

都道府県別抽出発信数

県名	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
抽出発信数	596	147	142	256	114	124	215	324	218
%	4%	1%	1%	2%	1%	1%	2%	2%	2%

県名	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
抽出発信数	217	802	686	1454	1000	255	118	127	87
%	2%	6%	5%	10%	7%	2%	1%	1%	1%

県名	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
抽出発信数	93	234	225	410	815	200	156	280	964
%	1%	2%	2%	3%	6%	1%	1%	2%	7%

県名	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
抽出発信数	614	153	109	65	78	212	313	155	85
%	4%	1%	1%	0%	1%	2%	2%	1%	1%

県名	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県
抽出発信数	110	155	81	564	93	154	199	130	124
%	1%	1%	1%	4%	1%	1%	1%	1%	1%

県名	鹿児島県	沖縄県	総計
抽出発信数	185	162	14000
%	1%	1%	100%

I-4. 調査方法

郵送回答、オンライン回答、エクセル形式調査票を専用ホームページ画面からダウンロード・アップロードする回答方法の3種類の回答方法を併用。

I-5. 調査実施期間

平成30年1月5日～1月29日

I-6. 本報告書を読む際の注意

- (1) 図表中のNとは比率算出の基数を表すもので、原則として回答者総数、または分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は、小数点第2位で四捨五入して、小数点第1位までを表示した。四捨五入したため、合計値が100%を前後することがある。
- (3) (複数回答)と表示のある質問は、2つ以上の複数回答を認めているため、回答計は100%を超え
- (4) 図表中“－”は、回答者が皆無であることを、“0.0”は0.05未満の数値であったことを示す。
- (5) データの集計処理について
当調査は無記名式で実施したものであるため、回答の匿名性・機密性を保護する必要から、回答施設への疑義照会は行っていない。但し、回答が段ずれしているもの、前後の回答から回答漏れしているとみなせるものについては、データの不整合内容等を確認するために作成した集計仕様に基づき、回答内容の確認・修正を実施した。回答不備により有効回答とみなせないサンプルについては集計対象から除外した。なお、購入価格の著しく低いもの、高いものについて、修正・削除は行わず、回答結果をそのまま掲載している。

(6) 定期接種実施医療機関の購入価格データの見方

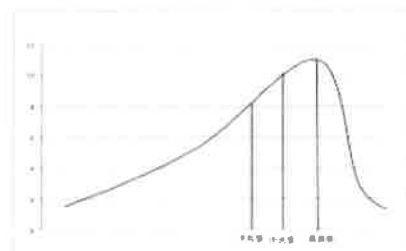
購入価格の中心価格帯を把握する際に、平均値は少数の外れ値の影響を受けやすいため、代表値として、平均値のほかに、中央値、最頻値を併記している。

平均値 (算術平均)	データの総量(総和)をデータ個数で割ったもの。 平均値はすべてのデータを用いて計算される値であるので、極端に飛び離れた測定値がデータに含まれる場合、その影響を受けやすい。
中央値(中位数、メディアン)	データを大きさの順に並べ、全体の中央に位置する値。 変数の個数が奇数の時は中央の値を取り、偶数のときは中央の2つを加えて2で割った値となる。 中央値は、測定値の分布の中に極端に大きい値や小さい値が含まれていても、データの位置を問題にする代表値であるため、ほとんど影響されない。
最頻値 (モード)	データの中にも最も頻度(度数)が多く現われる値。 度数分布図から最頻値を求める場合には、最も度数の多い階級の階級値となる。 中央値と同様に、極端な値に左右されることがない。 分布の形が一峰性の山形であるときを想定している。最も頻繁に出現する値は1つとは限らないため、最頻値は一意に定まらないことがある。

左右対称に近い山形の分布となるデータでは、平均値、中央値、最頻値は互いに近い値をとるが、データに外れ値が加わった場合、平均値は、中央値、最頻値に比べて、最も外れ値の影響を受けやすい。

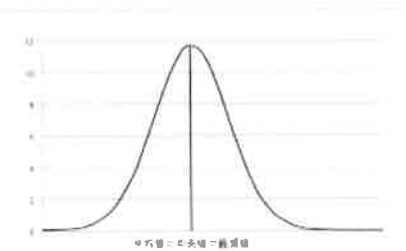
データの分布に歪みがあると、平均値、中央値、最頻値には下記のような違いが生じる。

図 平均値、中央値、最頻値の違いA



平均値<中央値<最頻度

図 平均値、中央値、最頻値の違いB



平均=中央値=最頻度

図 平均値、中央値、最頻値の違いC



平均値>中央値>最頻度

Ⅱ. 回答機関(定期接種実施機関)の属性

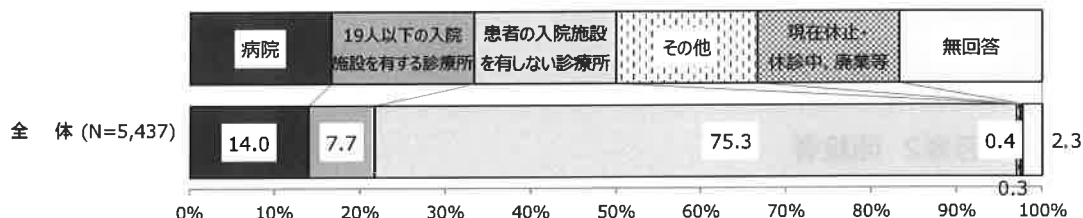
II. 回答機関(定期接種実施機関)の属性

II-1. 施設区分

回答があった医療機関(5437機関)の施設区分は、「患者の入院施設を有しない診療所」が75.3%で最も多く、次いで「病院(患者20人以上の入院施設を有するもの)」が14.0%、「19人以下の入院施設を有する診療所」が7.7%である。

問1 貴施設は、いずれに該当しますか。(1つだけ)

図表1 施設区分



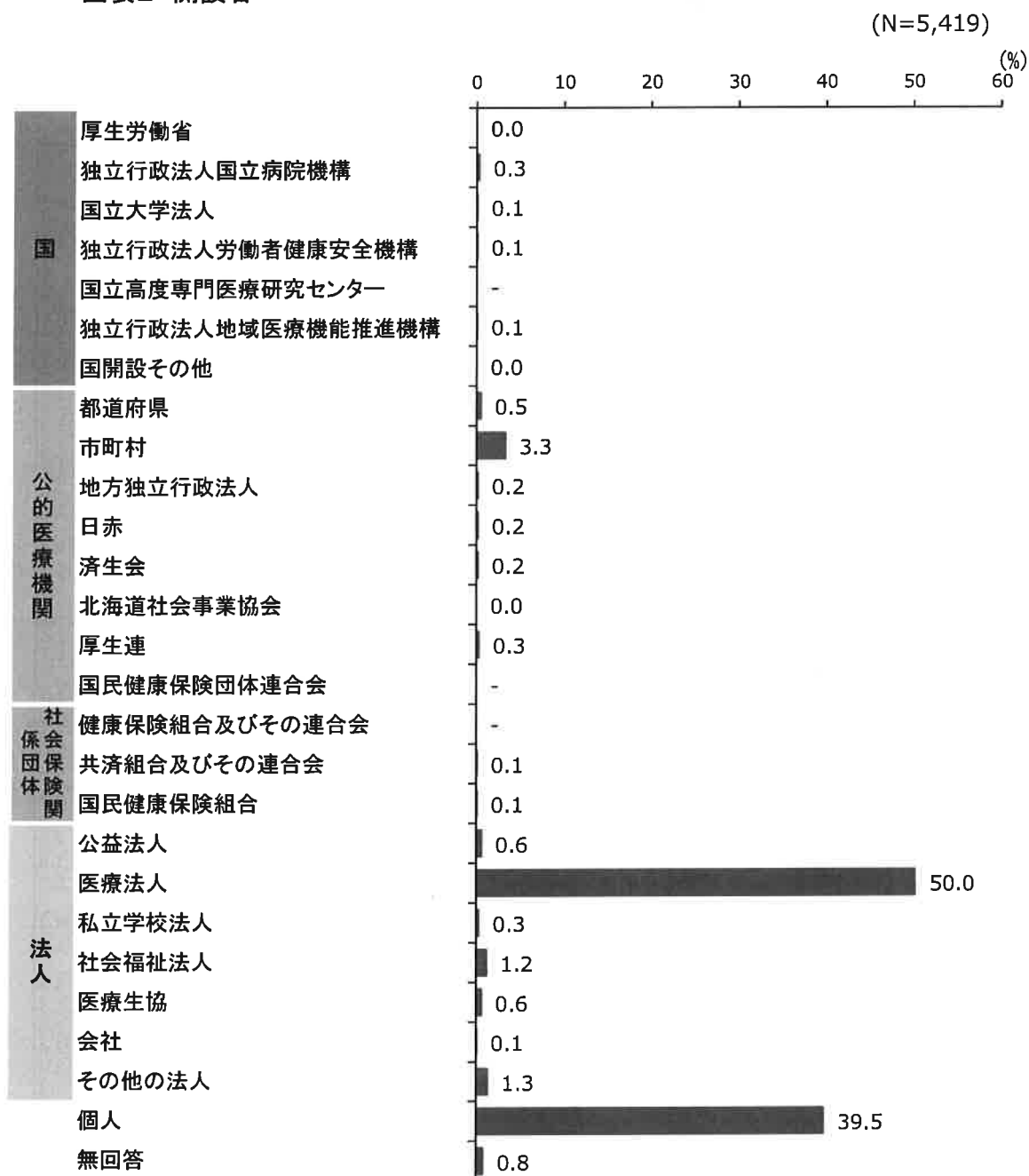
	N	病院	19人以下の入院施設を有する診療所	患者の入院施設を有しない診療所	その他	現在休止・休診中、廃業等	無回答	
全体	(5,437)	14.0	7.7	75.3	0.3	0.4	2.3	
都道府県別	北海道	(268)	25.4	11.6	60.4	-	0.7	1.9
	青森県	(71)	23.9	12.7	62.0	-	-	1.4
	岩手県	(63)	27.0	6.3	65.1	-	-	1.6
	宮城県	(121)	17.4	5.0	72.7	1.7	-	3.3
	秋田県	(45)	4.4	11.1	84.4	-	-	-
	山形県	(65)	4.6	10.8	84.6	-	-	-
	福島県	(99)	14.1	9.1	73.7	2.0	-	1.0
	茨城県	(145)	14.5	9.0	74.5	-	1.4	0.7
	栃木県	(89)	5.6	7.9	79.8	2.2	-	4.5
	群馬県	(96)	10.4	8.3	78.1	1.0	-	2.1
	埼玉県	(308)	15.9	3.2	79.5	-	-	1.3
	千葉県	(271)	13.7	4.8	79.0	-	-	2.6
	東京都	(473)	8.5	3.2	84.8	0.2	0.2	3.2
	神奈川県	(331)	11.5	3.9	82.8	0.6	-	1.2
	新潟県	(108)	12.0	1.9	77.8	0.9	5.6	1.9
	富山県	(55)	14.5	7.3	74.5	-	-	3.6
	石川県	(57)	15.8	14.0	68.4	-	-	1.8
	福井県	(44)	18.2	11.4	70.5	-	-	-
	山梨県	(42)	16.7	7.1	71.4	-	2.4	2.4
	長野県	(94)	12.8	6.4	77.7	1.1	1.1	1.1
	岐阜県	(89)	7.9	9.0	79.8	-	-	3.4
	静岡県	(172)	10.5	7.6	79.1	0.6	0.6	1.7
	愛知県	(321)	11.5	8.4	78.8	-	-	1.2
	三重県	(78)	16.7	1.3	73.1	1.3	2.6	5.1
	滋賀県	(62)	9.7	9.7	80.6	-	-	-
	京都府	(92)	14.1	4.3	79.3	-	1.1	1.1
	大阪府	(326)	9.5	4.9	80.4	0.6	0.6	4.0
	兵庫県	(190)	13.2	8.4	76.8	-	-	1.6
	奈良県	(49)	12.2	2.0	81.6	-	-	4.1
	和歌山県	(53)	5.7	13.2	77.4	-	-	3.8
	鳥取県	(24)	20.8	-	75.0	-	-	4.2
	島根県	(29)	17.2	-	82.8	-	-	-
	岡山県	(75)	16.0	9.3	72.0	-	-	2.7
	広島県	(125)	15.2	7.2	76.0	-	-	1.6
	山口県	(58)	22.4	5.2	67.2	-	-	5.2
	徳島県	(24)	16.7	8.3	75.0	-	-	-
	香川県	(49)	14.3	12.2	61.2	2.0	2.0	8.2
	愛媛県	(63)	11.1	11.1	76.2	-	-	1.6
	高知県	(31)	32.3	19.4	48.4	-	-	-
	福岡県	(241)	15.8	9.5	71.0	-	-	3.7
	佐賀県	(44)	27.3	18.2	47.7	-	2.3	4.5
	長崎県	(79)	17.7	10.1	69.6	-	-	2.5
	熊本県	(82)	18.3	22.0	57.3	-	-	2.4
	大分県	(51)	13.7	19.6	62.7	-	-	3.9
	宮崎県	(43)	27.9	20.9	48.8	-	-	2.3
	鹿児島県	(77)	18.2	24.7	55.8	1.3	-	-
	沖縄県	(65)	16.9	6.2	73.8	-	-	3.1
規模別	政令市・東京特別区	(1,533)	10.8	5.2	81.3	0.3	0.3	2.2
	15万以上市	(1,707)	15.2	7.9	74.2	0.4	0.4	1.9
	15万未満市	(1,777)	14.3	9.2	73.4	0.2	0.5	2.4
	町村	(420)	20.0	9.3	66.0	0.7	0.5	3.6

II-2. 開設者

現在休止・休診中、廃業等を除く定期接種医療機関(5419機関)の開設者は、「医療法人」が50.0%で最も多く、次いで「個人」が約4割(39.5%)である。「医療法人」と「個人」で、合計9割を占める。

問2 貴施設の 開設者 をお知らせ下さい。(1つだけ)

図表2 開設者

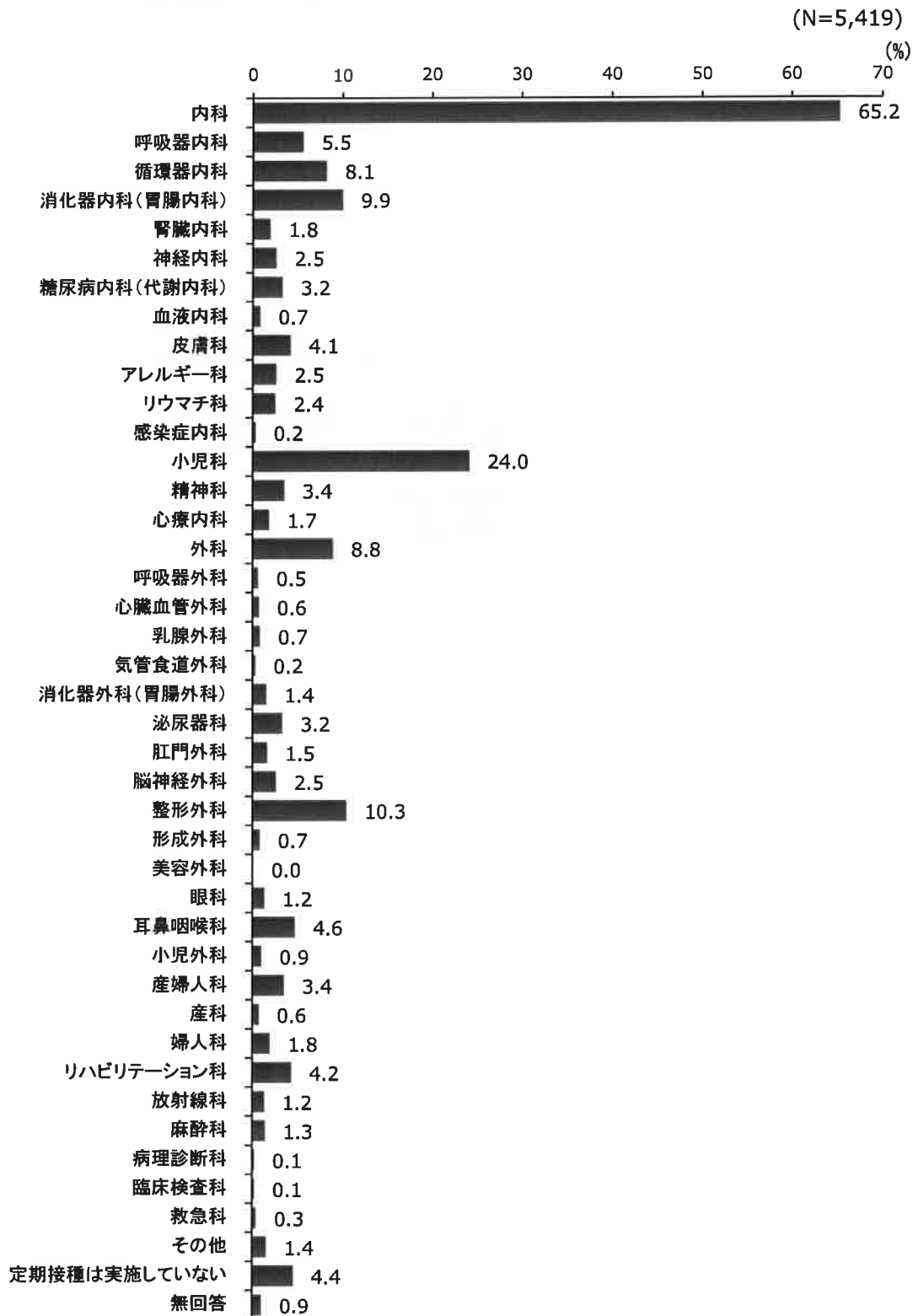


II-3. 定期接種を実施している診療科

現在休止・休診中、廃業等を除く定期接種医療機関(5419機関)の診療科(複数回答)は、「内科」が65.2%で最も多く、次いで「小児科」(24.0%)、「整形外科」(10.3%)、「外科」(8.8%)などが上位にあがっている。

問3 貴施設において、定期接種を実施している診療科をお知らせ下さい。(いくつでも)

図表3 定期接種を実施している診療科(複数回答)

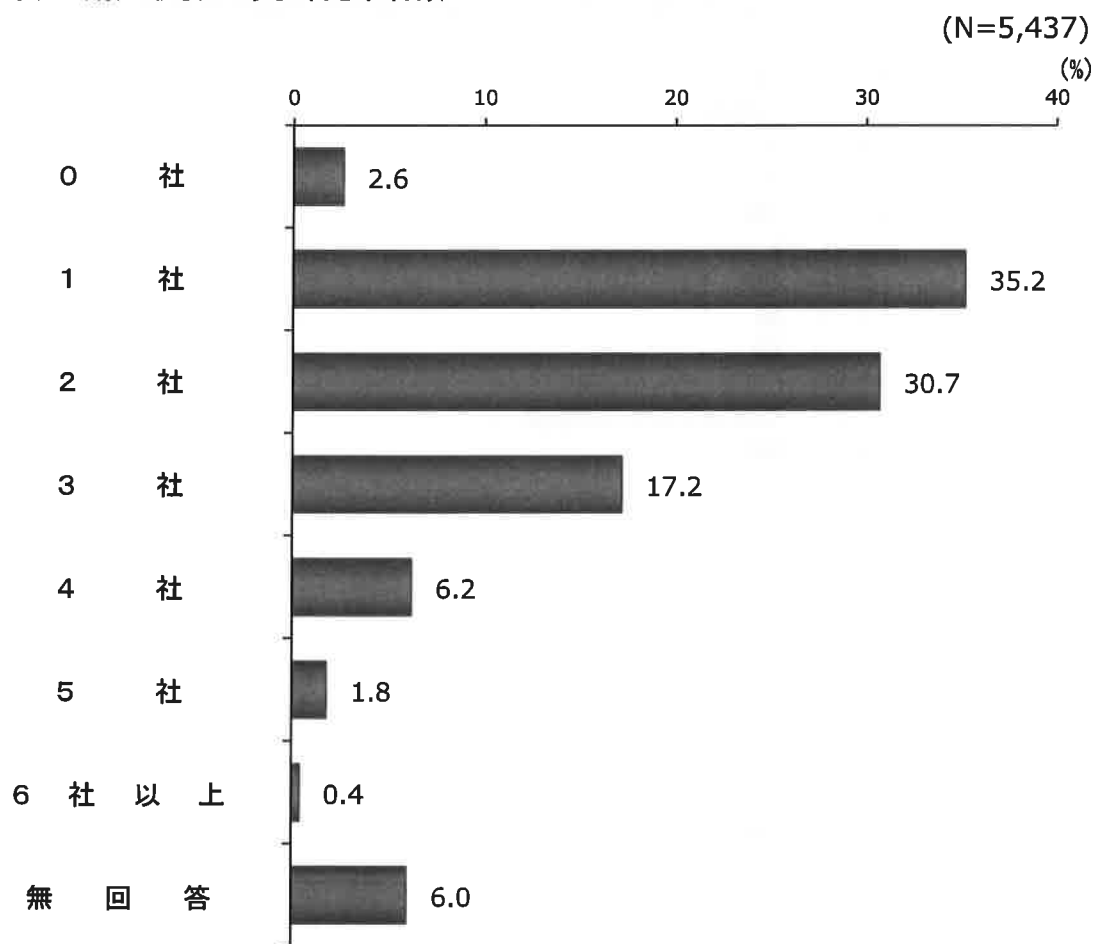


II-4. ワクチン・トキソイドの取引業者数

回答があった医療機関(5437機関)のワクチン・トキソイドの購入取引を行っている卸売業者の数については、「1社」が35.2%で最も多く、「2社」が30.7%、「3社」が17.2%、「4社」が6.2%である。

問4 貴施設がワクチン・トキソイドの購入取引を行っている卸売業者は何社ありますか。(数値回答)

図表4 購入取引のある卸売業者数

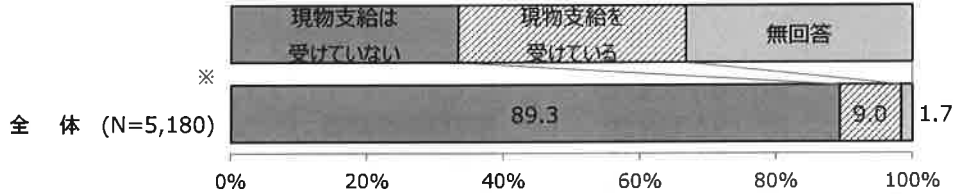


II-5. 自治体等からのワクチン・トキソイドの現物支給の有無

現在休止・休診中、廃業等および定期接種非実施を除く、定期接種医療機関(5180機関)が、自治体からワクチン・トキソイドの現物支給を受けている割合は9.0%で、都道府県別に見ると、長野県(43.8%)、神奈川県(31.3%)、栃木県(28.6%)は現物支給を受けている割合が20%を超える。

問5 自治体等から現物支給を受けているワクチン・トキソイドはありますか。(1つだけ)

図表5 自治体からの現物支給有無



	N	現物支給は受けていない	現物支給を受けている	無回答	
全体	(5,180)	89.3	9.0	1.7	
都道府県別	北海道	(253)	90.1	9.1	0.8
	青森県	(68)	86.8	13.2	-
	岩手県	(61)	95.1	1.6	3.3
	宮城県	(115)	99.1	-	0.9
	秋田県	(43)	93.0	7.0	-
	山形県	(62)	88.7	11.3	-
	福島県	(93)	95.7	3.2	1.1
	茨城県	(141)	88.7	8.5	2.8
	栃木県	(84)	71.4	28.6	-
	群馬県	(86)	95.3	-	4.7
	埼玉県	(299)	90.6	7.0	2.3
	千葉県	(258)	95.7	2.7	1.6
	東京都	(451)	93.1	5.8	1.1
	神奈川県	(316)	66.8	31.3	1.9
	新潟県	(103)	94.2	4.9	1.0
	富山県	(49)	95.9	-	4.1
	石川県	(55)	100.0	-	-
	福井県	(42)	95.2	2.4	2.4
	山梨県	(40)	97.5	2.5	-
	長野県	(89)	55.1	43.8	1.1
	岐阜県	(86)	94.2	5.8	-
	静岡県	(166)	95.8	0.6	3.6
	愛知県	(304)	85.2	14.1	0.7
	三重県	(76)	96.1	-	3.9
	滋賀県	(58)	87.9	12.1	-
	京都府	(85)	94.1	4.7	1.2
	大阪府	(300)	86.7	11.0	2.3
	兵庫県	(181)	82.9	13.3	3.9
	奈良県	(49)	91.8	8.2	-
	和歌山県	(53)	92.5	5.7	1.9
	鳥取県	(22)	86.4	4.5	9.1
	島根県	(29)	93.1	6.9	-
	岡山県	(72)	91.7	5.6	2.8
	広島県	(120)	95.0	5.0	-
	山口県	(57)	96.5	1.8	1.8
	徳島県	(23)	95.7	-	4.3
	香川県	(47)	85.1	10.6	4.3
	愛媛県	(58)	82.8	17.2	-
	高知県	(30)	100.0	-	-
	福岡県	(231)	97.8	0.9	1.3
	佐賀県	(42)	95.2	4.8	-
	長崎県	(76)	90.8	5.3	3.9
	熊本県	(79)	94.9	3.8	1.3
	大分県	(50)	96.0	-	4.0
	宮崎県	(40)	95.0	-	5.0
	鹿児島県	(74)	83.8	16.2	-
	沖縄県	(64)	85.9	12.5	1.6
政令市・東京特別区	(1,445)	88.5	9.6	1.9	
規都 模市	15万以上市	(1,616)	89.0	9.0	1.9
	15万未満市	(1,715)	91.3	7.4	1.3
	町村	(404)	84.9	13.4	1.7

※定期接種を実施していない施設を除いた数

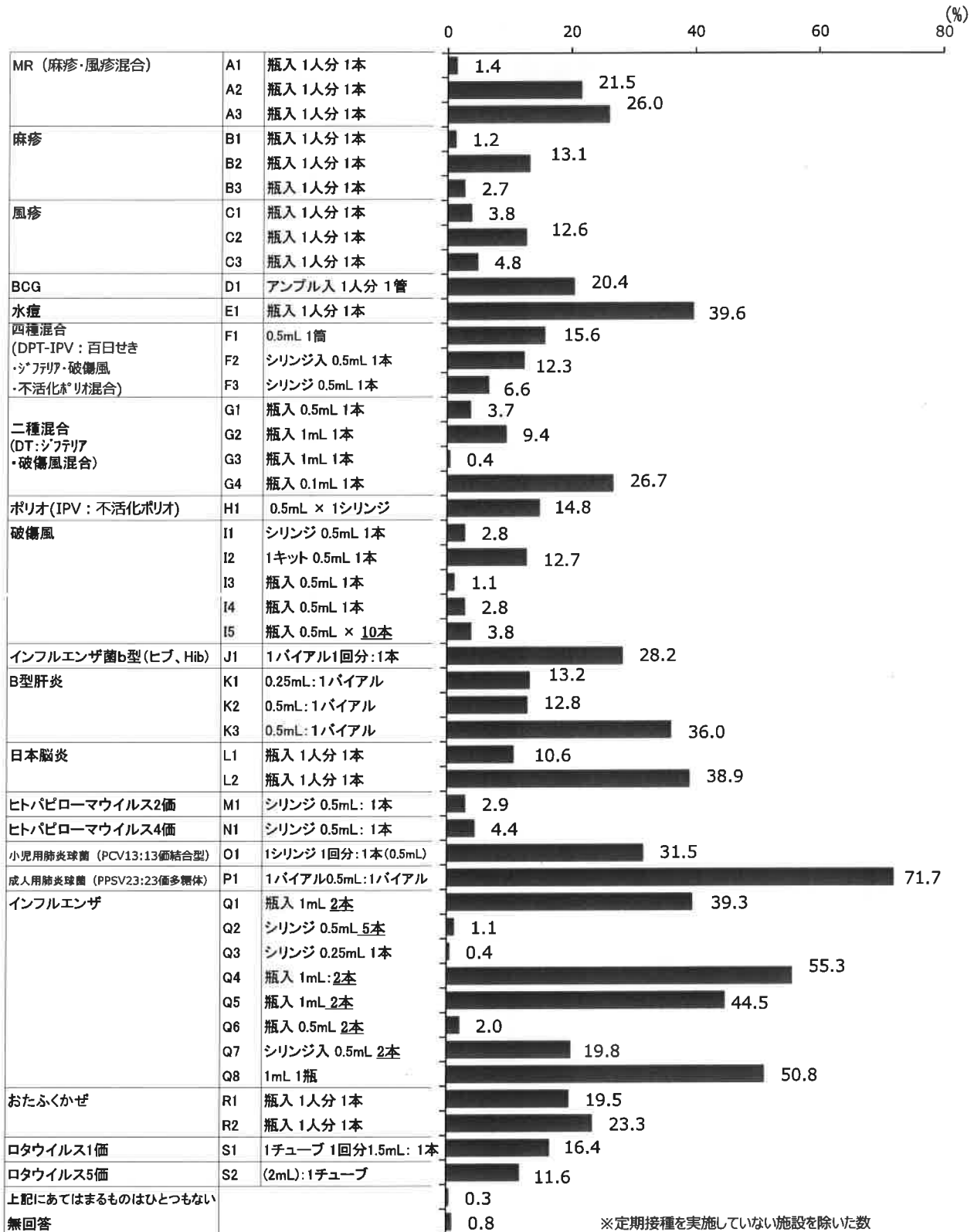
II-6. 定期接種実施機関のワクチン・トキソイド使用状況

現在休止・休診中、廃業等および定期接種非実施を除く、定期接種医療機関(5180機関)が、平成29年4月以降に使用したワクチン・トキソイドは、「成人用肺炎球菌」が71.7%で最も多い。

問6 平成29年4月以降に定期接種、おたふくかぜ・ロタウィルスの任意接種で使用したワクチン・トキソイドの「販売名」を、すべてお知らせ下さい。(いくつでも)

図表6 定期接種等で使用したワクチン・トキソイド(複数回答)

※N=(5,180)



※定期接種を実施していない施設を除いた数

Ⅲ. ワクチン・トキソイド購入価格
(1包装単位当たりの税抜購入単価)

Ⅲ. ワクチン・トキソイド購入価格(1包装単位当たりの税抜購入単価)

現在休止・休診中、廃業等を除く定期接種医療機関が、平成29年4月以降に定期接種、おたふくかぜ・ロタウイルスの任意接種で使用したワクチン・トキソイドについて、1包装単位当たりの税抜購入単価を実数で記入してもらった結果が下の表である。

問7 平成29年4月以降の「1包装単位当たりの税抜購入単価」をご回答下さい。(実数を記入)

*「購入」とは支払方法の如何を問いませんが、最終的に価格が決定して実際に購入した場合をいいます。代価の支払いを要しない試供品は含みません。
 *卸売業者等から貴施設が購入した1包装単位当たりの税抜購入単価をお尋ねしています(各「1包装単位」は【参考】欄を参照下さい)。
 *複数の卸売業者と取引がある場合は、取引が最も多い業者からの購入価格をお答え下さい。時期によって価格が異なる場合は、直近の購入価格をお答え下さい。
 *単価が1円以下である場合は、小数第2位を四捨五入して小数第1位の小数値でご記入下さい。
 *自治体等から現物支給されているワクチン・トキソイドについては、金額は書かず、「購入なし(N1~N46)」に○を付けて下さい。

図表7 ワクチン・トキソイドの1包装あたりの税抜購入価格

	1包装単位当たりの税抜購入単価(単位:円)						【参考】2013年調査結果*	
	回答件数	平均値	中央値	最頻値	25パーセン イル(第1四分 位数)※	75パーセン イル(第3四分 位数)※	回答件数	平均値(円)
MR(瓶入 1人分 1本)	(N=2358)	5,447	5,400	6,050	5,000	6,050	(N=1883)	5,383
麻疹(瓶入 1人分 1本)	(N=868)	2,691	2,800	2,800	2,400	2,801	(N=503)	2,590
風疹(瓶入 1人分 1本)	(N=1084)	2,673	2,750	2,810	2,400	2,810	(N=861)	2,636
BCG(アンプル入 1人分 1管)	(N=959)	2,912	2,928	3,000	2,800	3,000	(N=759)	2,908
水痘(瓶入 1人分 1本)	(N=1943)	4,264	4,280	4,500	4,000	4,500	(N=1229)	4,256
四種混合(0.5mL 1筒)	(N=731)	6,441	6,500	6,500	6,500	6,500	-	-
四種混合(シリンジ入0.5mL 1本)	(N=864)	6,851	6,500	6,500	6,494	6,500	(N=741)	6,497
二種混合(瓶入 0.5mL 1本)	(N=174)	1,261	1,300	1,300	1,143	1,300	(N=140)	1,221
二種混合(瓶入 1mL 1本)	(N=483)	1,628	1,717	1,730	1,500	1,730	(N=404)	1,632
二種混合(瓶入 0.1mL 1本)	(N=1231)	1,265	1,280	1,300	1,200	1,300	(N=646)	1,256
ポリオ(0.5mL × 1シリンジ)	(N=703)	5,426	5,450	5,450	5,450	5,450	(N=1070)	5,451
破傷風(シリンジ 0.5mL 1本)	(N=142)	550	440	440	437	461	(N=214)	609
破傷風(1キット 0.5mL 1本)	(N=655)	607	569	569	559	570	-	-
破傷風(瓶入 0.5mL 1本)	(N=197)	494	385	385	381	400	(N=141)	470
破傷風(瓶入0.5mL × 10本)	(N=158)	2,192	1,530	1,551	1,484	3,663	-	-
インフルエンザ菌b型(ヒブ、Hib) (1バイアル1回分:1本)	(N=1330)	4,131	4,140	4,140	4,100	4,140	(N=1159)	4,342
B型肝炎(0.25mL:1バイアル)	(N=645)	1,956	1,951	1,950	1,935	1,980	(N=612)	1,995
B型肝炎(0.5mL:1バイアル)	(N=2434)	2,197	2,170	2,168	2,160	2,209	(N=1229)	2,253
日本脳炎(瓶入 1人分 1本)	(N=2323)	3,089	3,250	3,250	2,900	3,250	(N=1363)	3,088
ヒトパピローマウイルス2価(シリンジ 0.5mL: 1本)	(N=140)	11,734	12,000	12,000	12,000	12,000	(N=1105)	11,916
ヒトパピローマウイルス4価(シリンジ 0.5mL: 1本)	(N=217)	11,903	12,000	12,000	12,000	12,000	(N=1026)	11,939
小児用肺炎球菌(PCV13:13価結合型) (1シリンジ 1回分:1本(0.5mL))	(N=1505)	7,052	7,200	7,200	6,800	7,200	(N=1151)	6,738
成人用肺炎球菌(PPSV23:23価多糖体)	(N=3640)	4,232	4,223	4,233	4,166	4,290	(N=911)	4,349
インフルエンザ(瓶入 1mL 2本)	(N=7159)	5,184	5,400	5,400	5,100	5,500	(N=1723)	3,297
インフルエンザ(シリンジ0.5mL 5本)	(N=49)	5,190	5,200	5,400	2,975	7,213	(N=276)	5,327
インフルエンザ(シリンジ0.25mL 1本)	(N=17)	3,593	4,420	5,400	1,418	5,400	-	-
インフルエンザ(瓶入0.5mL 2本)	(N=101)	3,742	3,315	3,380	3,000	5,035	(N=221)	2,023
インフルエンザ(シリンジ0.5mL 2本)	(N=1017)	3,132	3,100	3,380	3,042	3,380	(N=230)	2,114
インフルエンザ(1mL 1瓶)	(N=2608)	2,721	2,700	2,700	2,625	2,800	(N=924)	1,708
任意接種 おたふくかぜ(瓶入 1人分 1本)	(N=2203)	2,645	2,660	2,830	2,400	2,830	(N=1429)	2,601
任意接種 ロタウイルス1価(1チューブ1回分 1.5mL 1本)	(N=839)	9,845	10,000	10,000	9,900	10,000	(N=886)	9,935
任意接種 ロタウイルス5価((2mL)1チューブ)	(N=593)	5,707	5,700	5,700	5,700	5,700	(N=516)	5,756

* 2013年調査結果との比較について:

データは公益社団法人日本医師会実施の『「ワクチン価格等調査」集計結果』から引用。

各予防接種毎に1包装単位が一致するもの同士を今回の結果と比較した。

中央値、最頻値のデータは公表されていないため平均値のみで比較した。

調査実施期間: 2013年9月17日~10月7日 有効回答数: 1796医療機関(有効回答率18.0%)

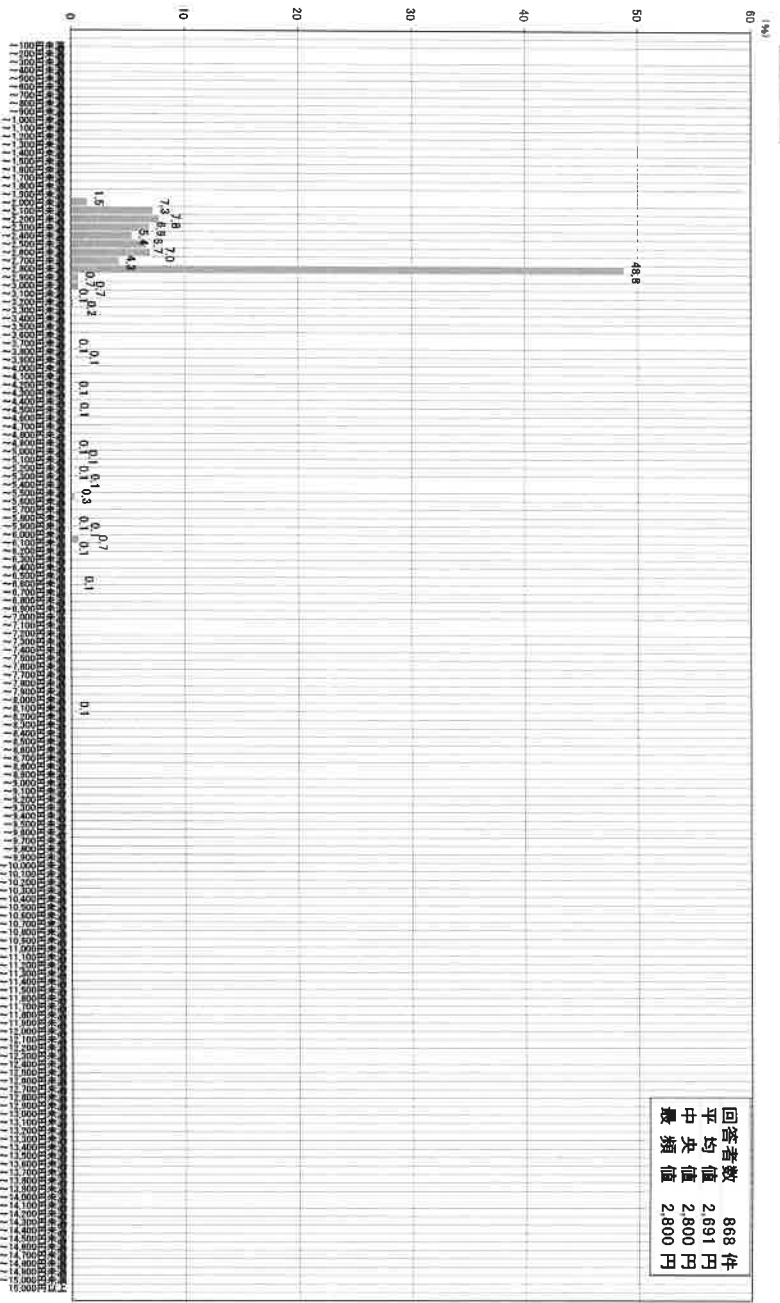
調査対象医療機関: 日本医師会A1会員(病院、診療所等の開設者または管理者)の中から、内科、小児科、産婦人科を標榜する医師を無作為に抽出した1万人(病院800、診療所9200)の医療機関

※ 25パーセンタイル(第1四分位数): データの最小値から4分の1個目(下位25%)の値。

75パーセンタイル(第3四分位数): データの最小値から4分の3個目(上位25%)の値。

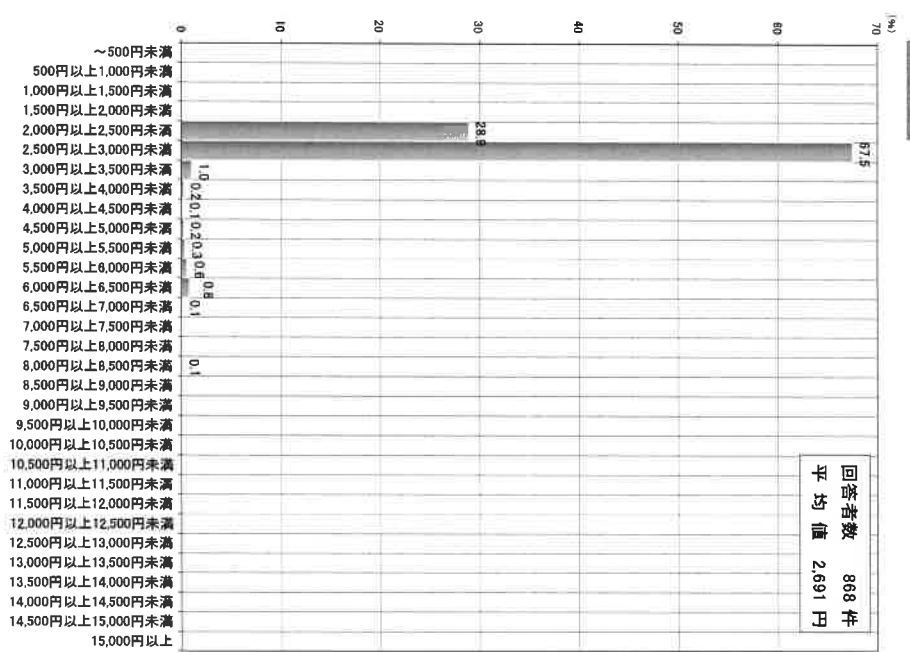
【麻疹 (瓶入 1人分 1本)】

2018年



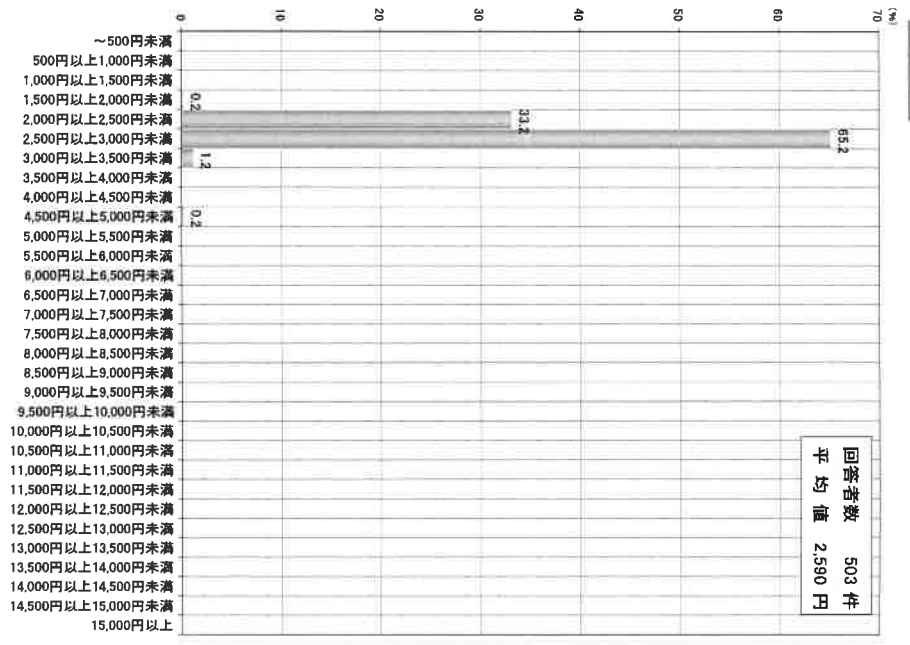
回答者数 868 件
平均値 2,691 円
中央値 2,800 円
最頻値 2,800 円

2018年



回答者数 868 件
平均値 2,691 円

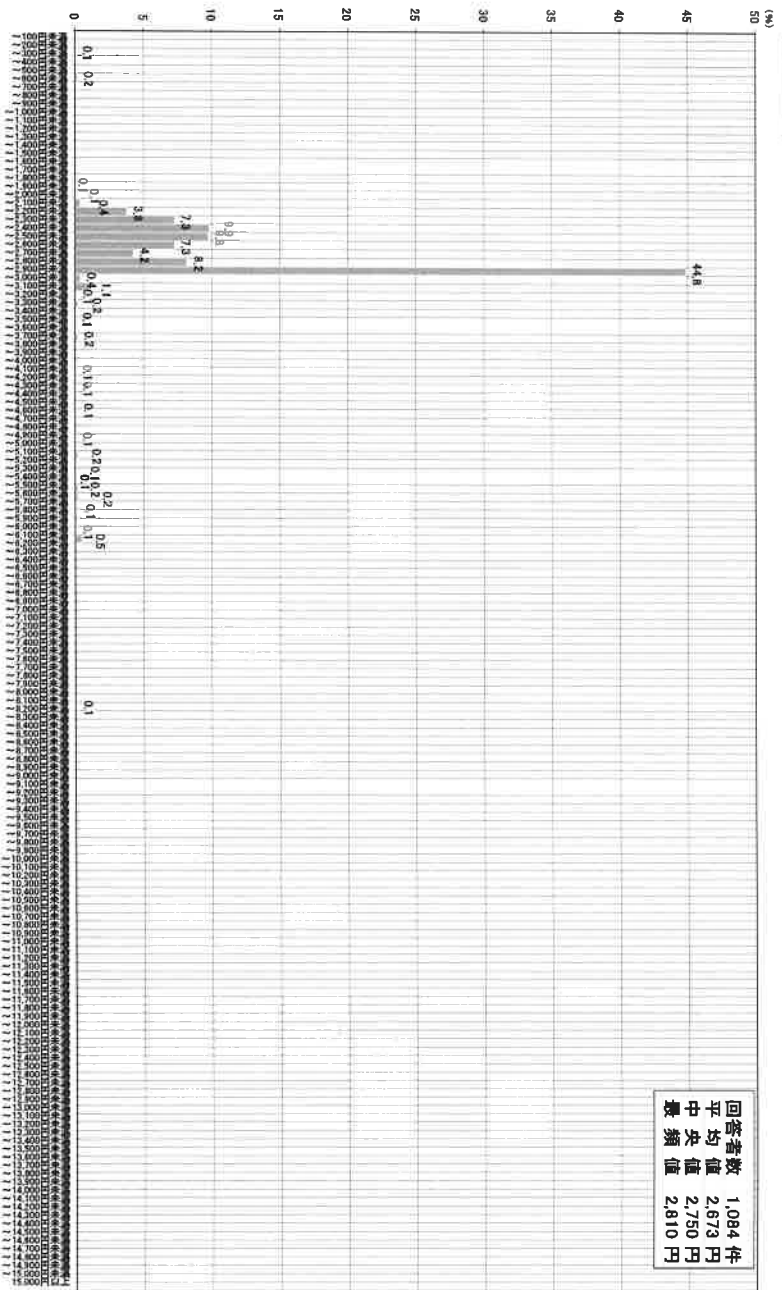
2013年



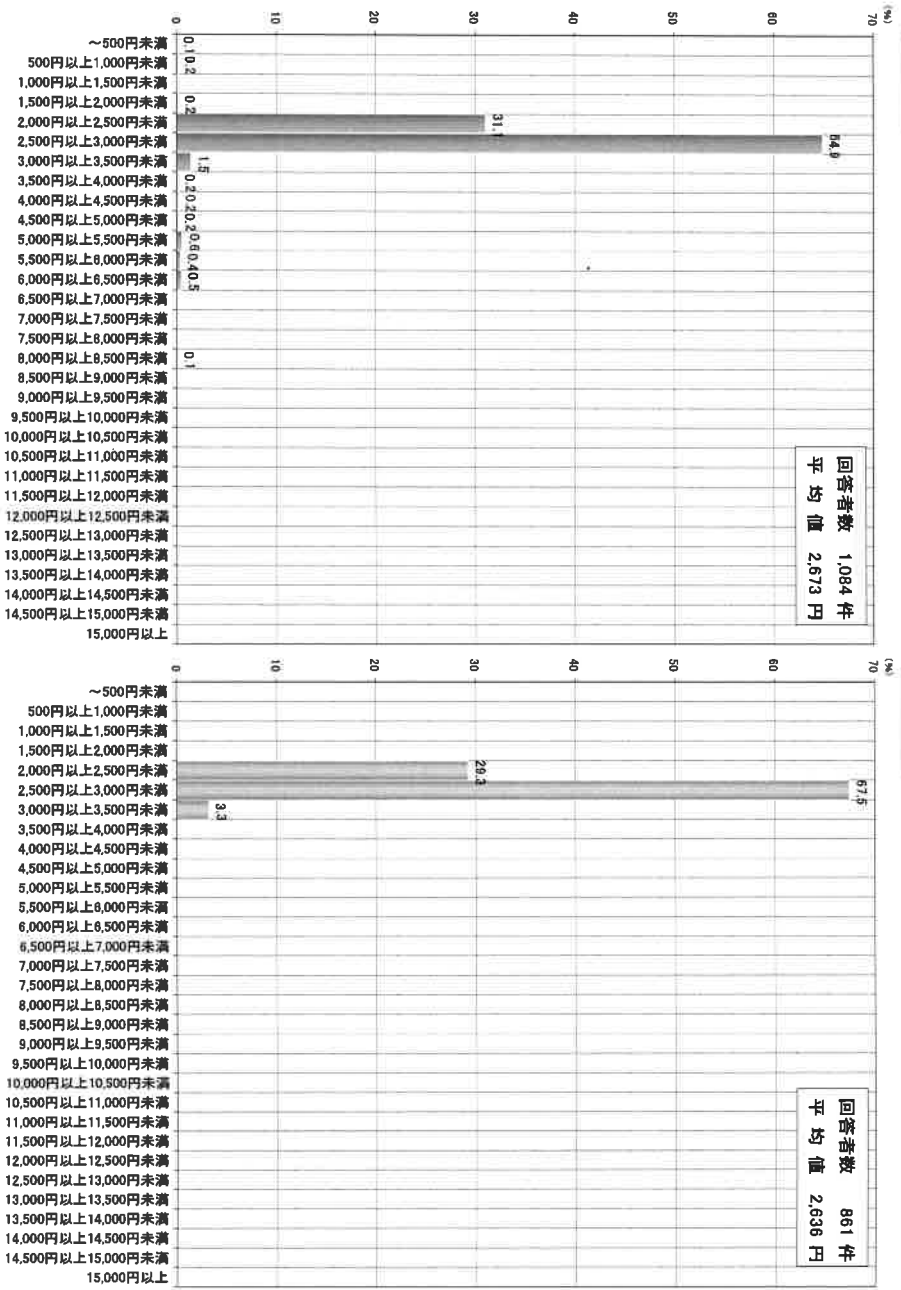
回答者数 503 件
平均値 2,590 円

【風疹 (瓶入 1人分 1本)】

2018年



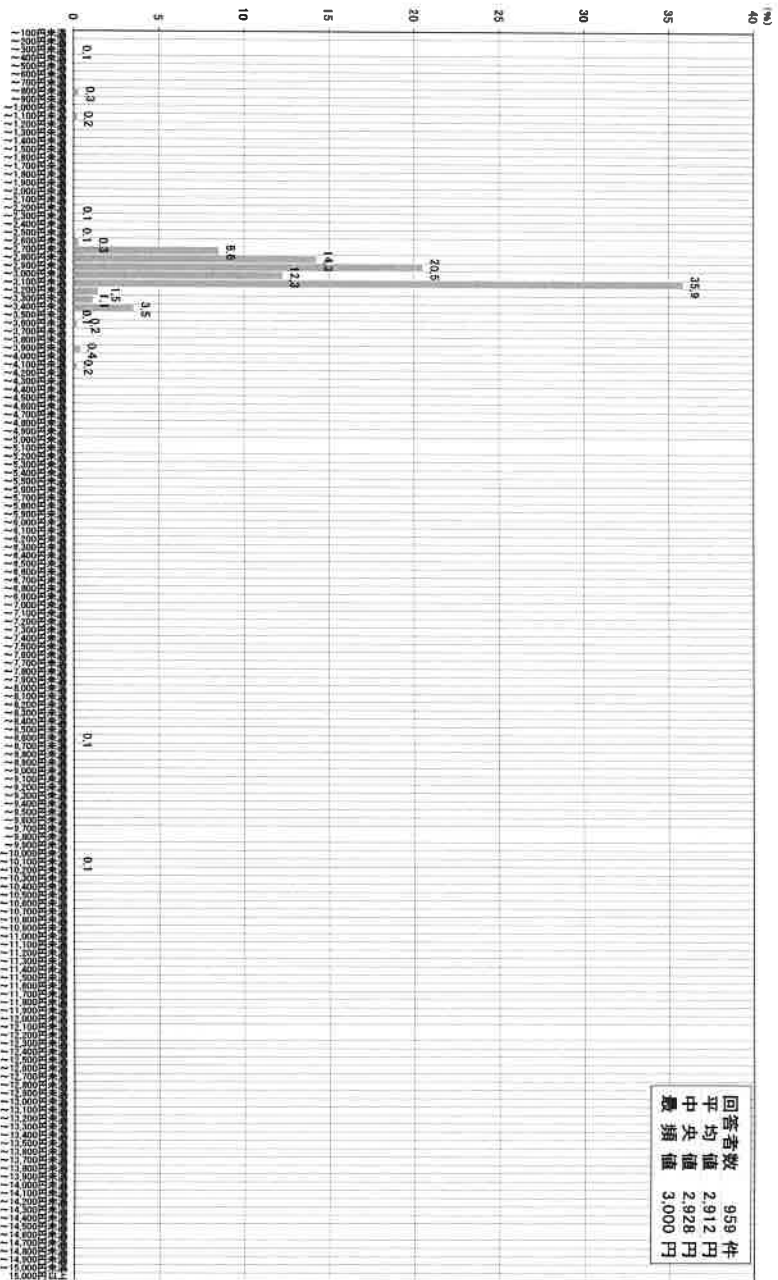
2018年



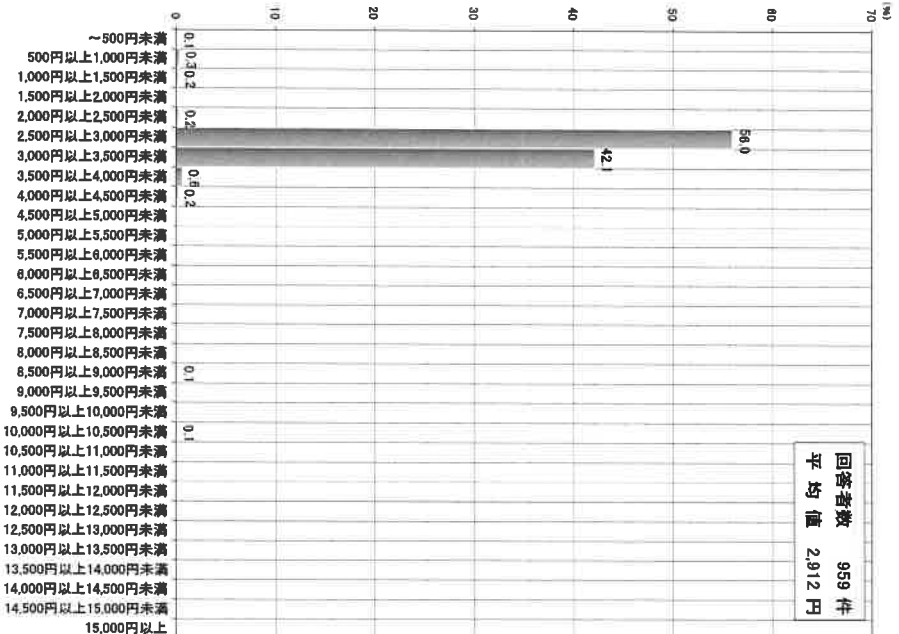
2013年

【BCG (フアンル入 1人分 1管)】

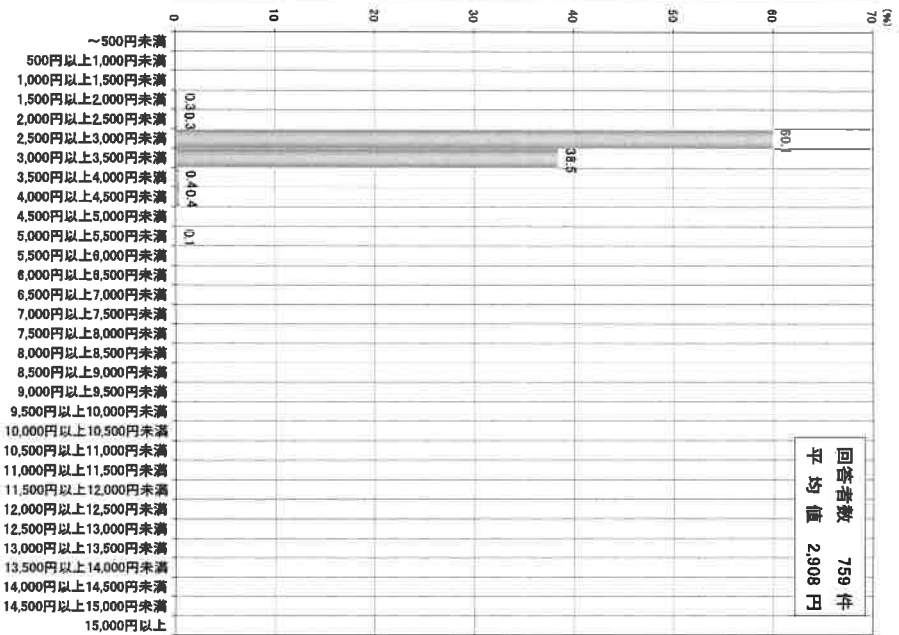
2018年



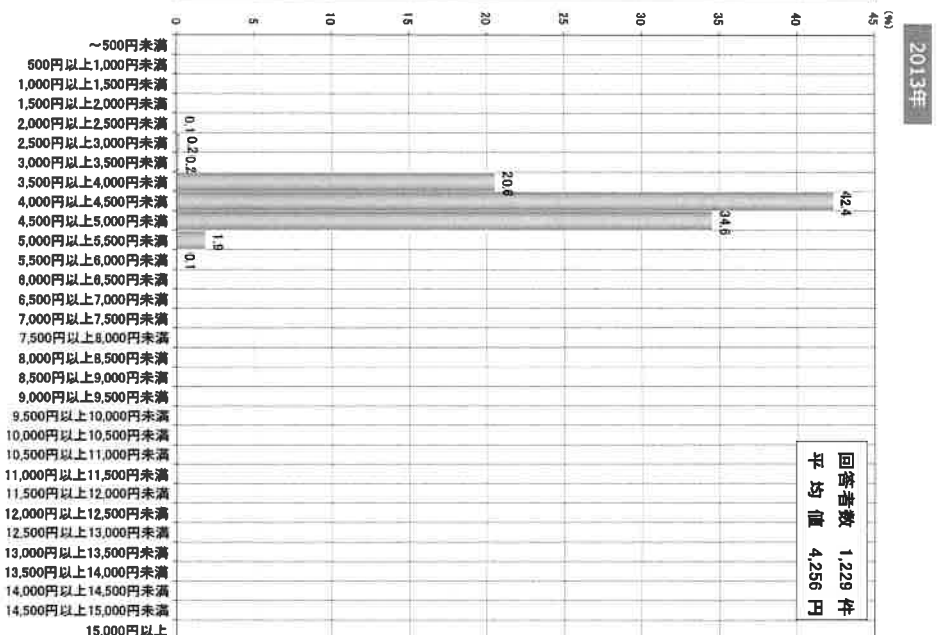
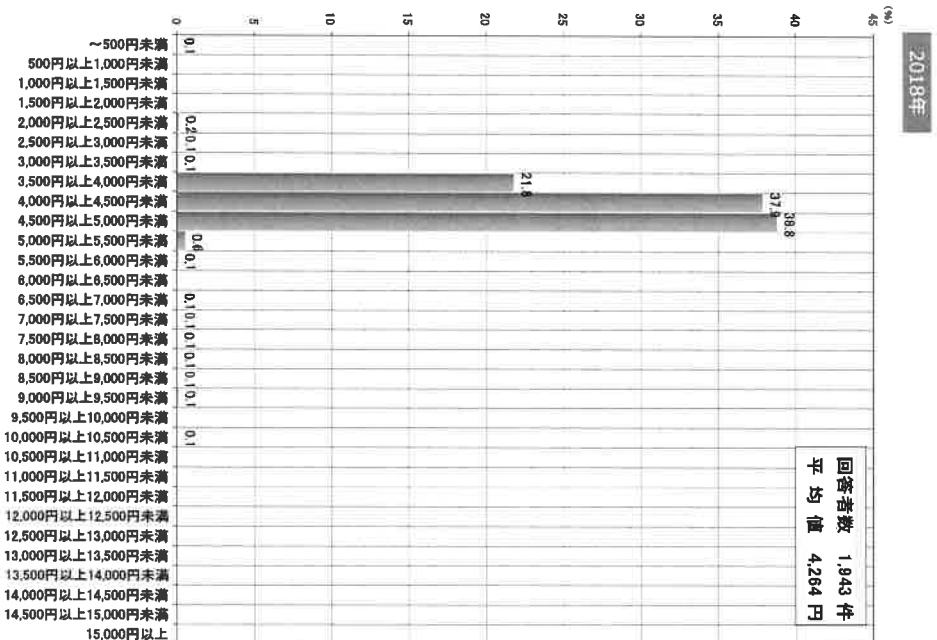
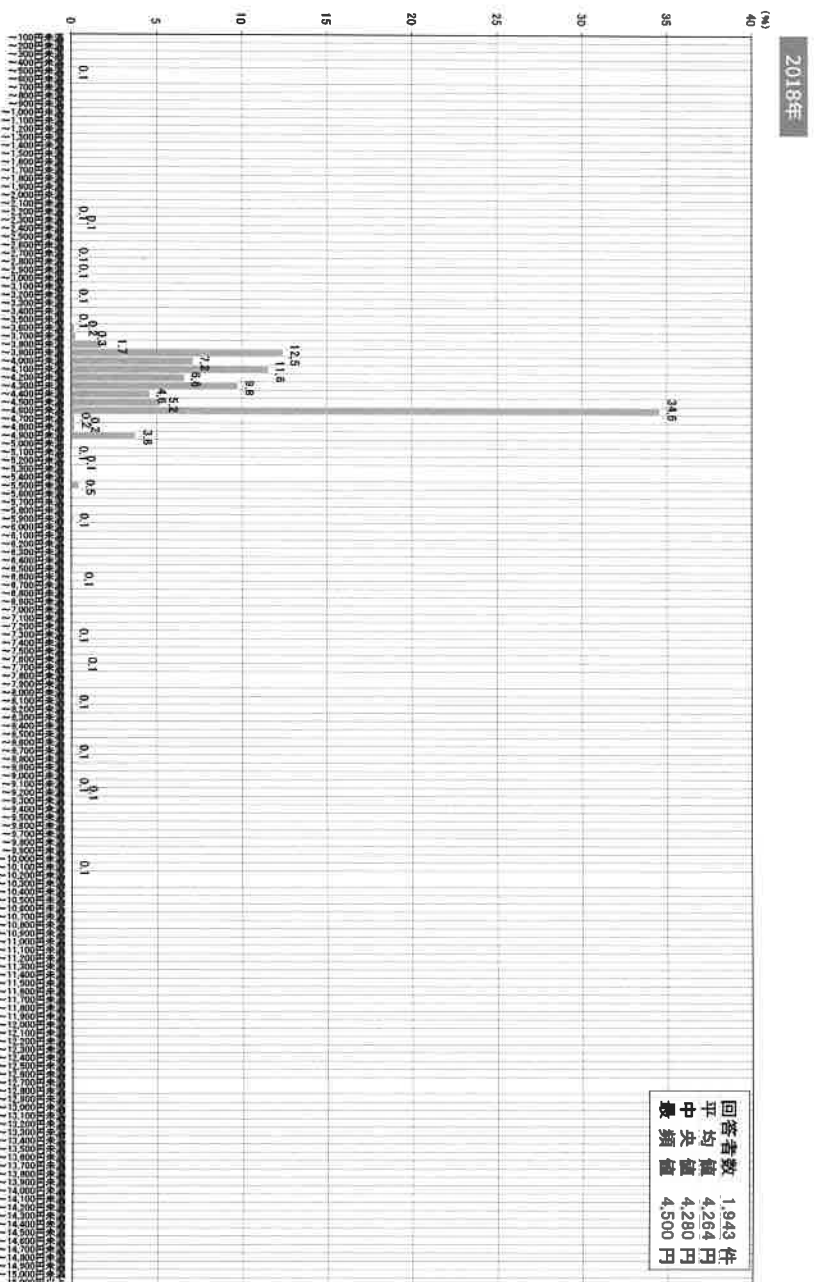
2018年



2013年

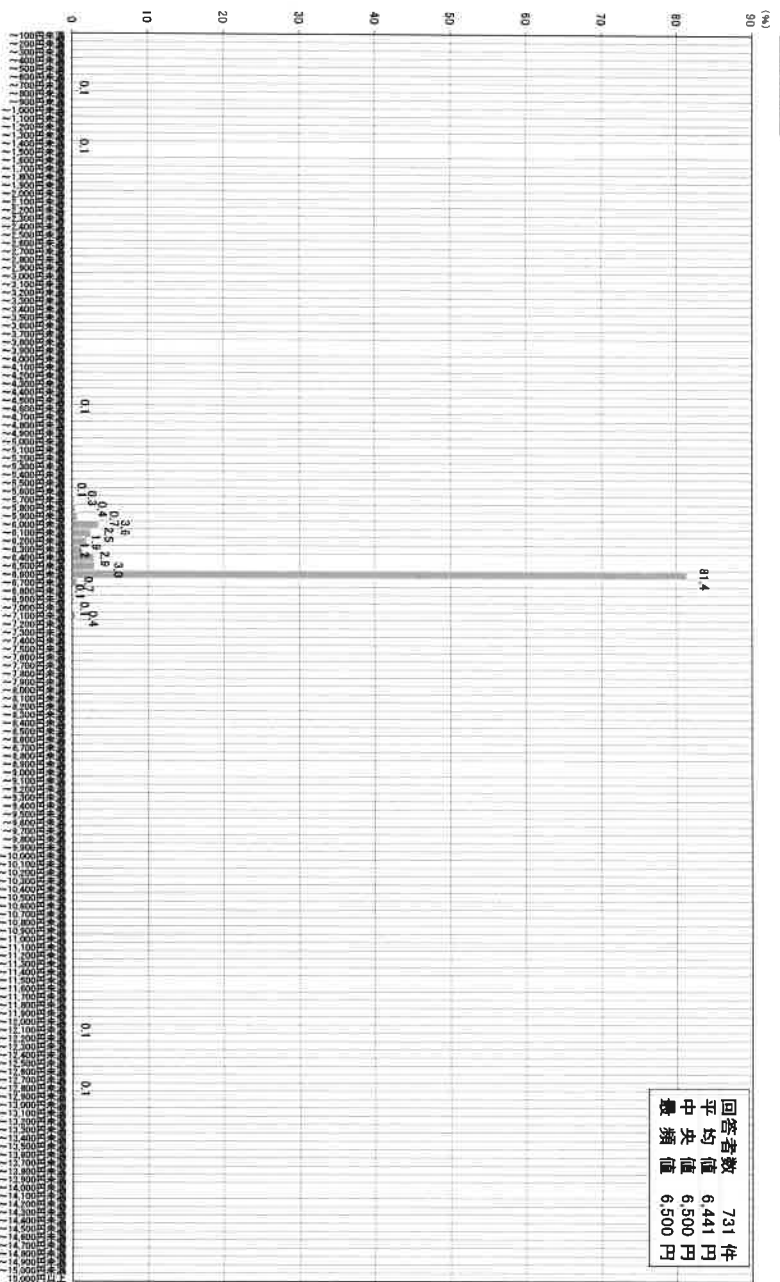


【水痘 (挿入 1人分 1本)】

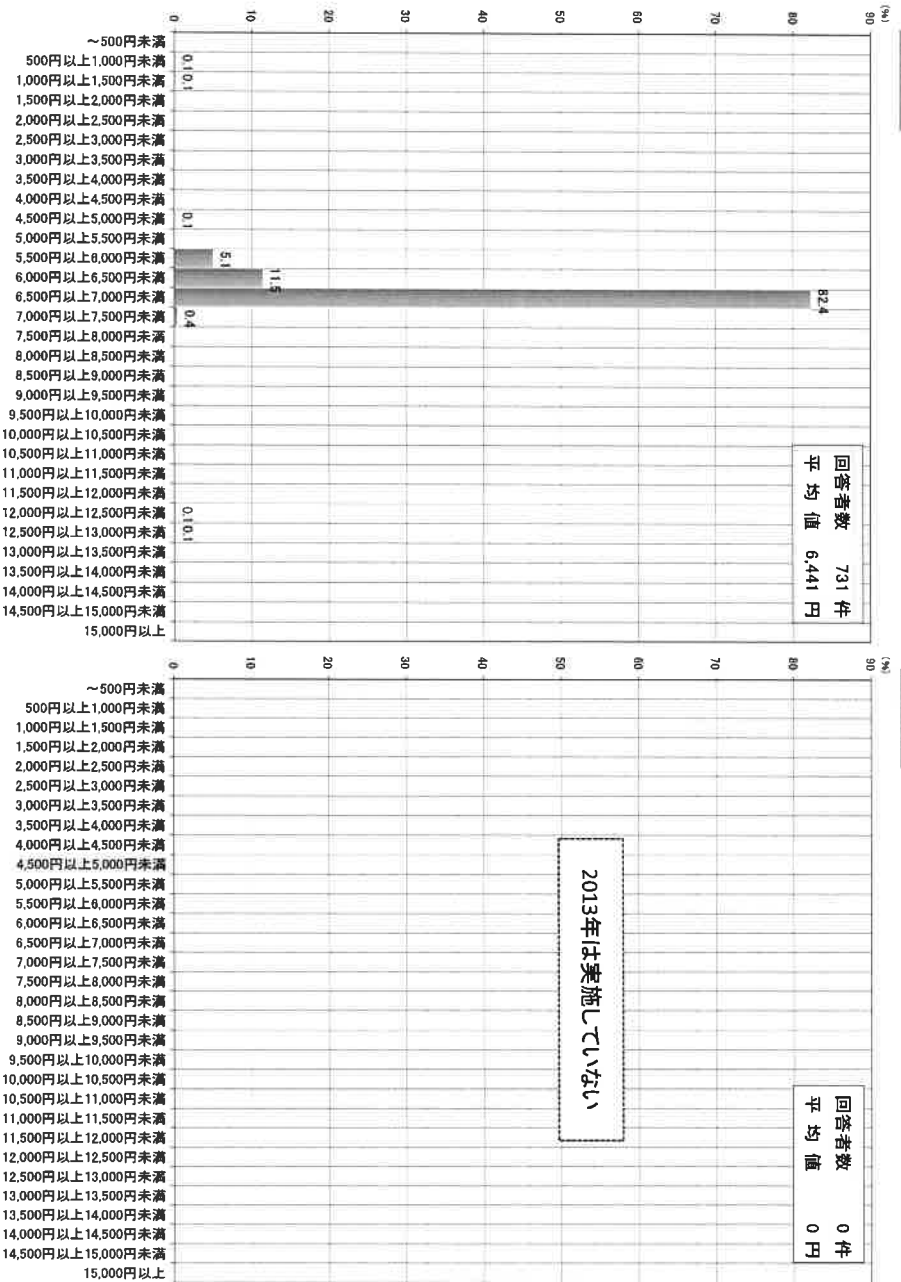


【四種混合 (0.5mL 1筒)】

2018年



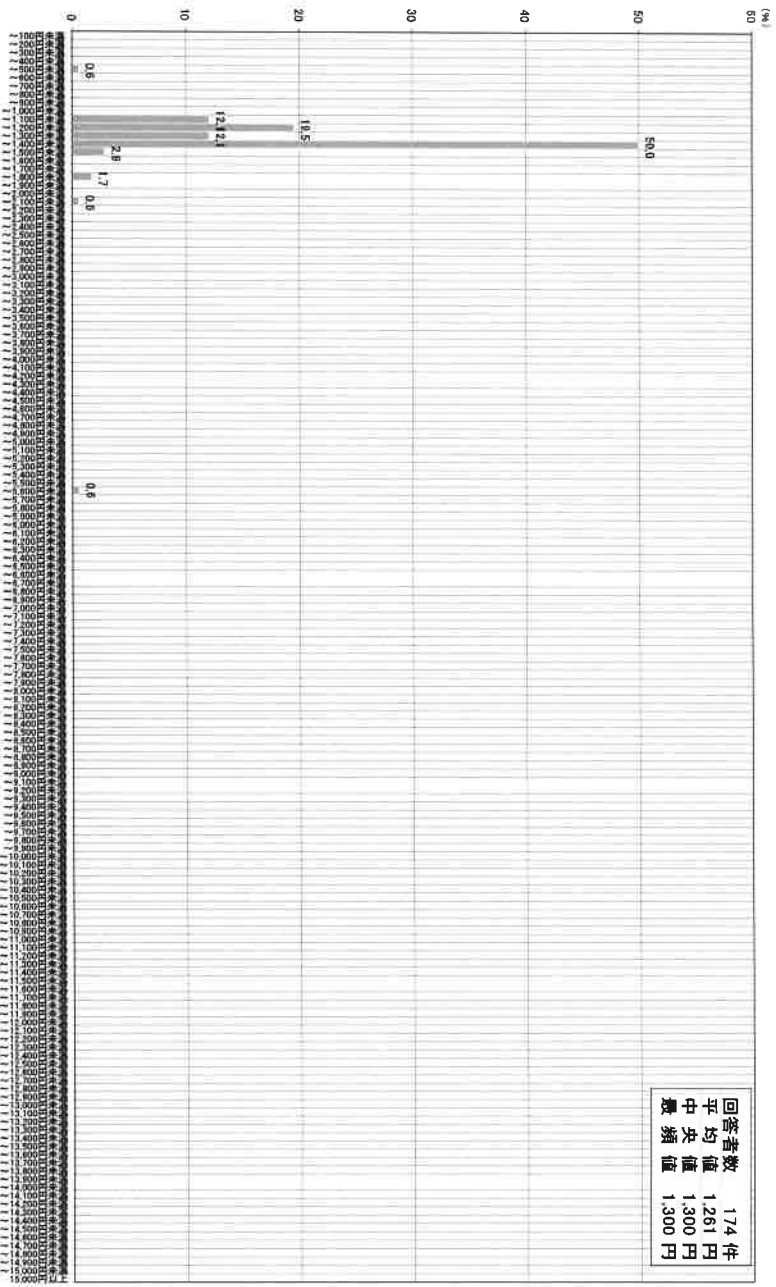
2018年



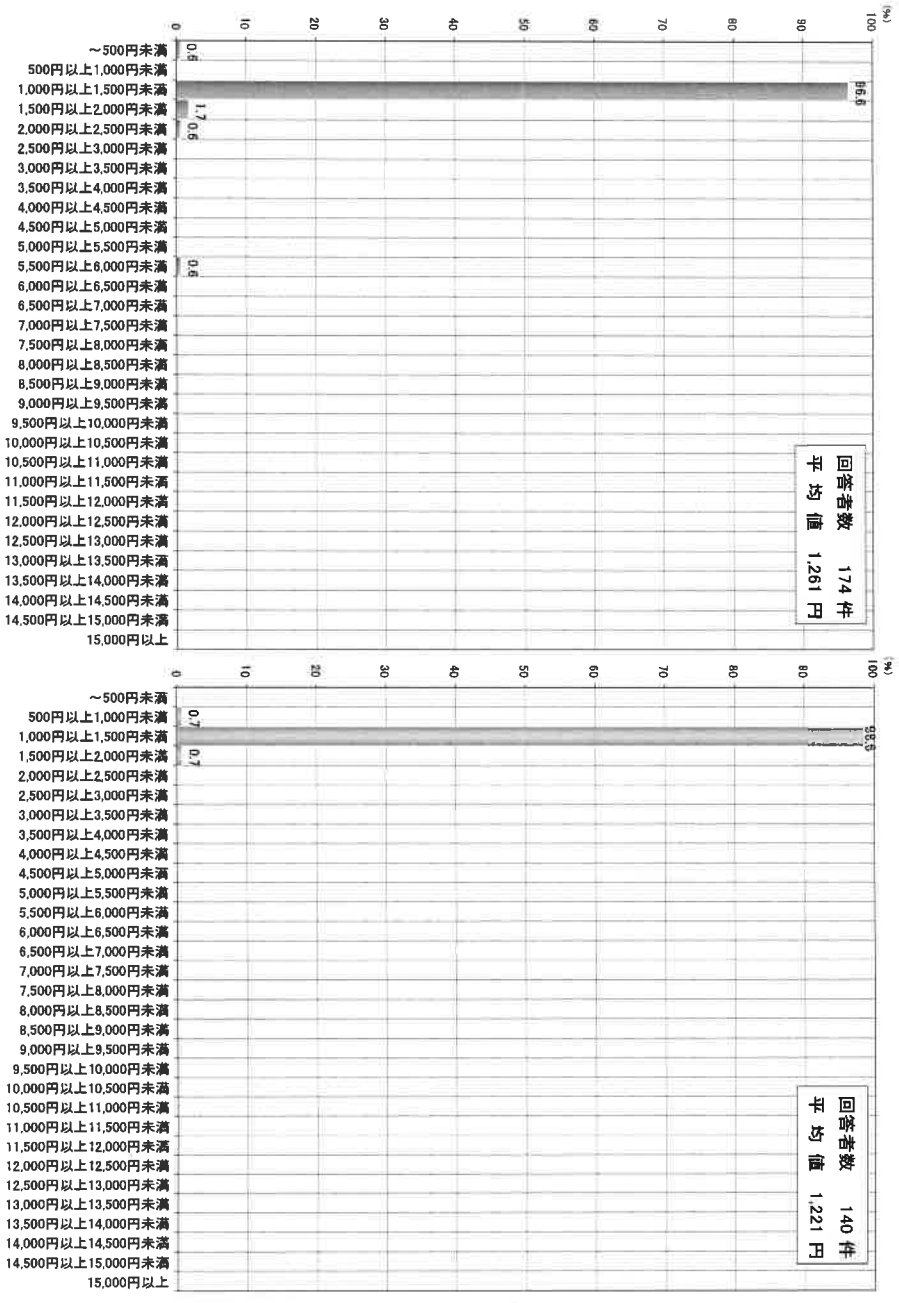
2013年

【二種混合 (瓶入 0.5mL 1本)】

2018年



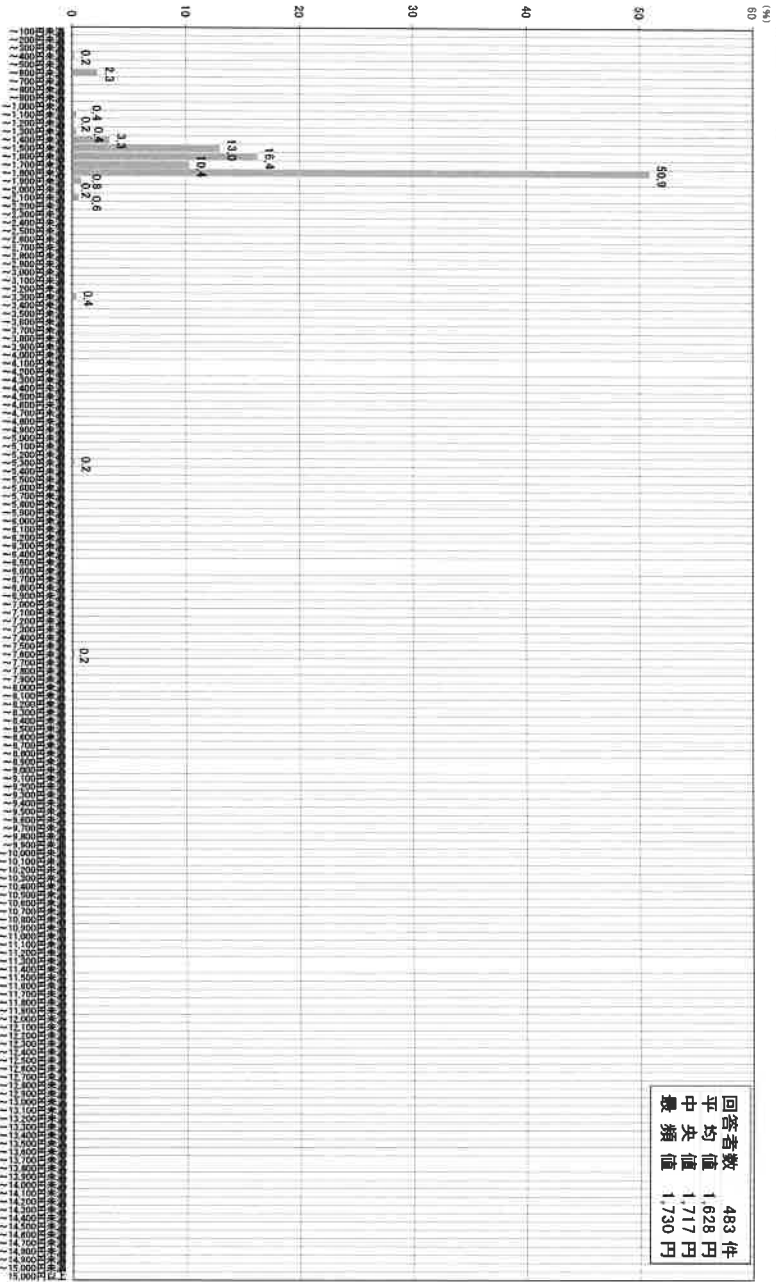
2018年



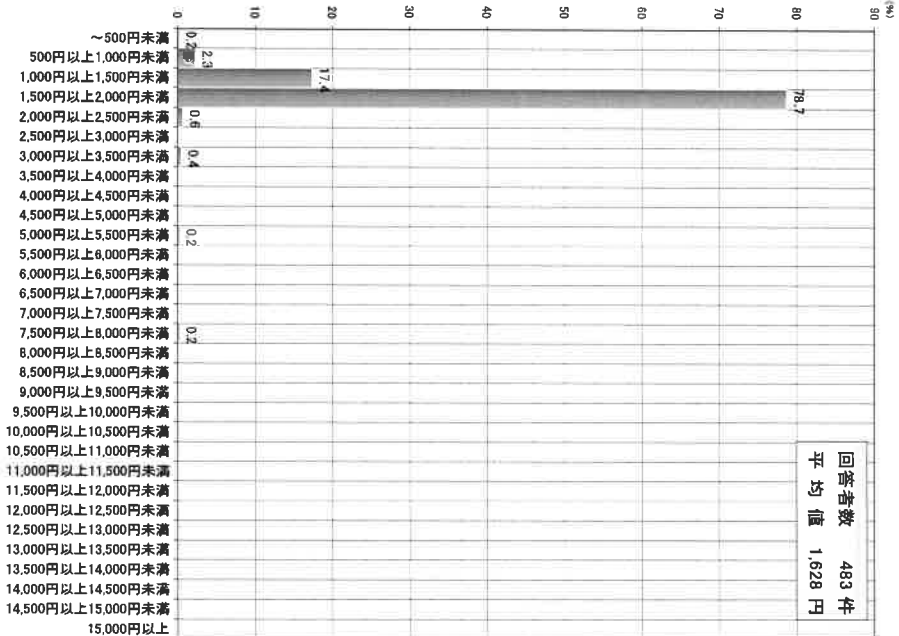
2013年

【二種混合（瓶入1mL1本）】

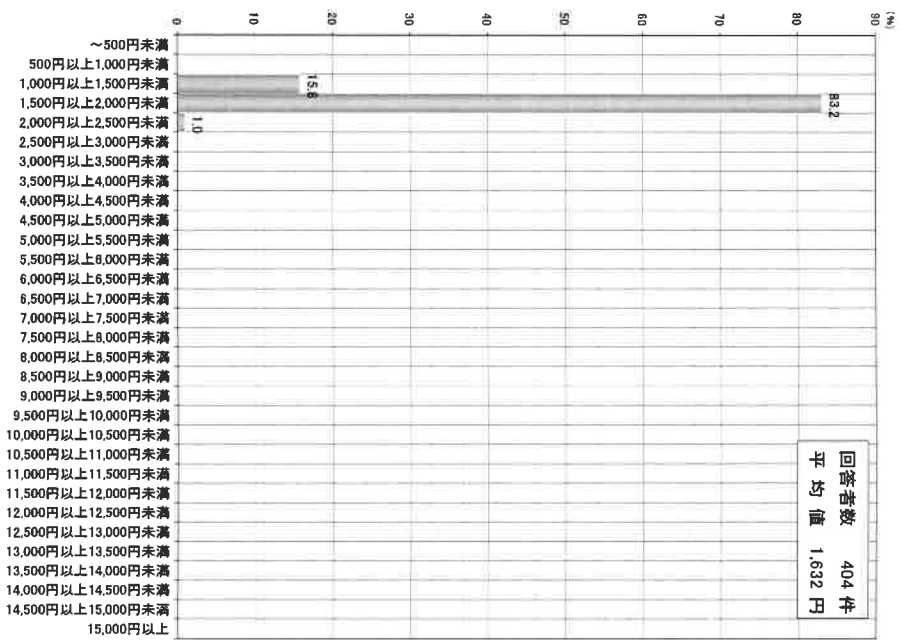
2018年



2018年

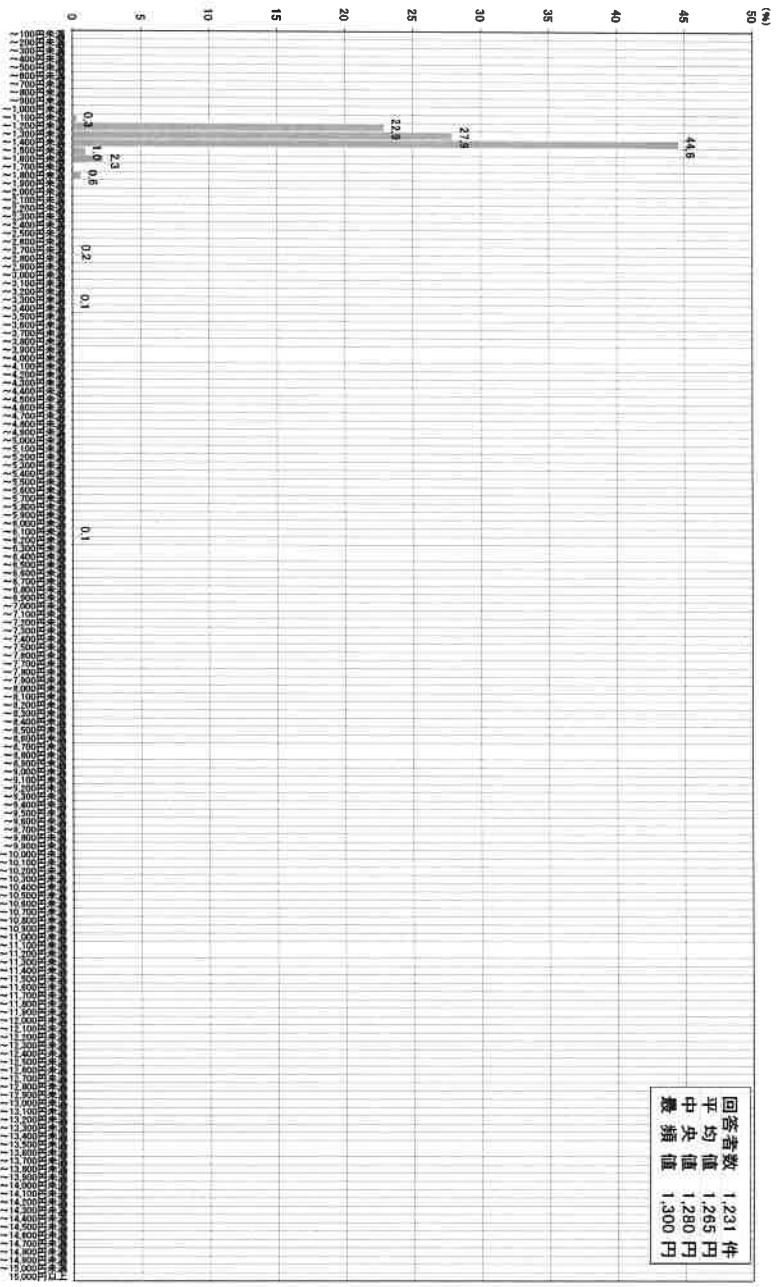


2013年

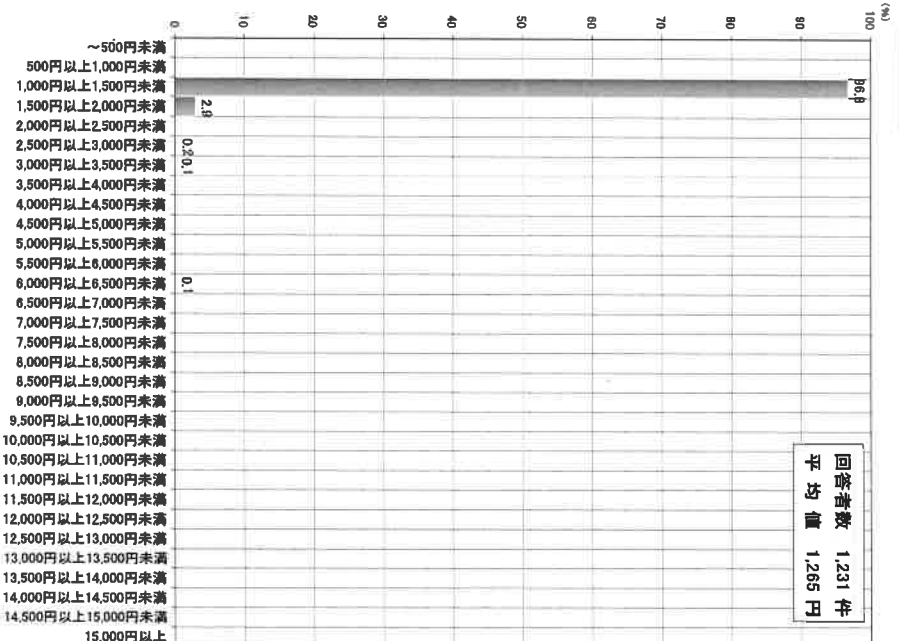


【二種混合 (瓶入 0.1mL 1本)】

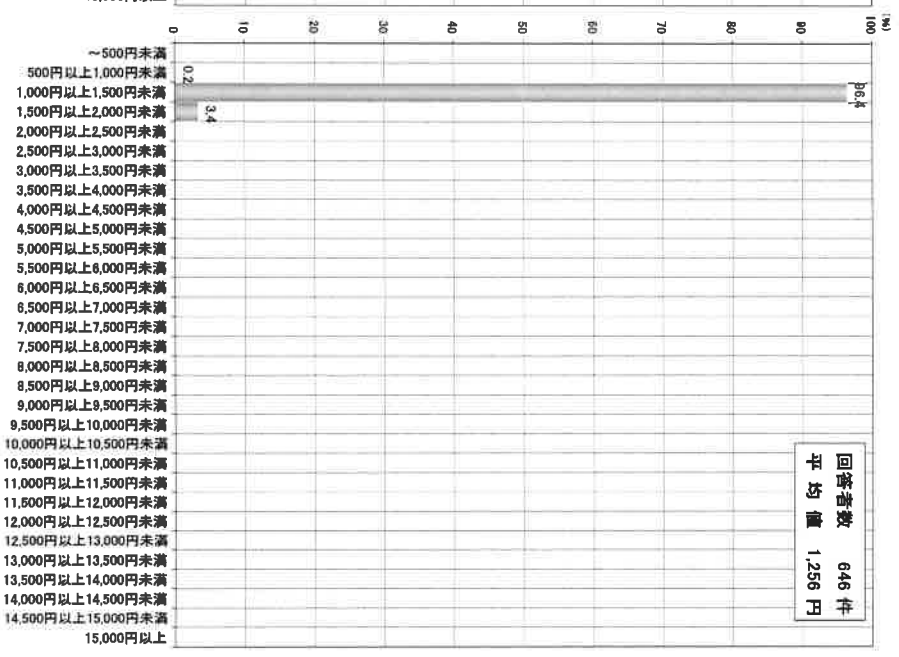
2018年



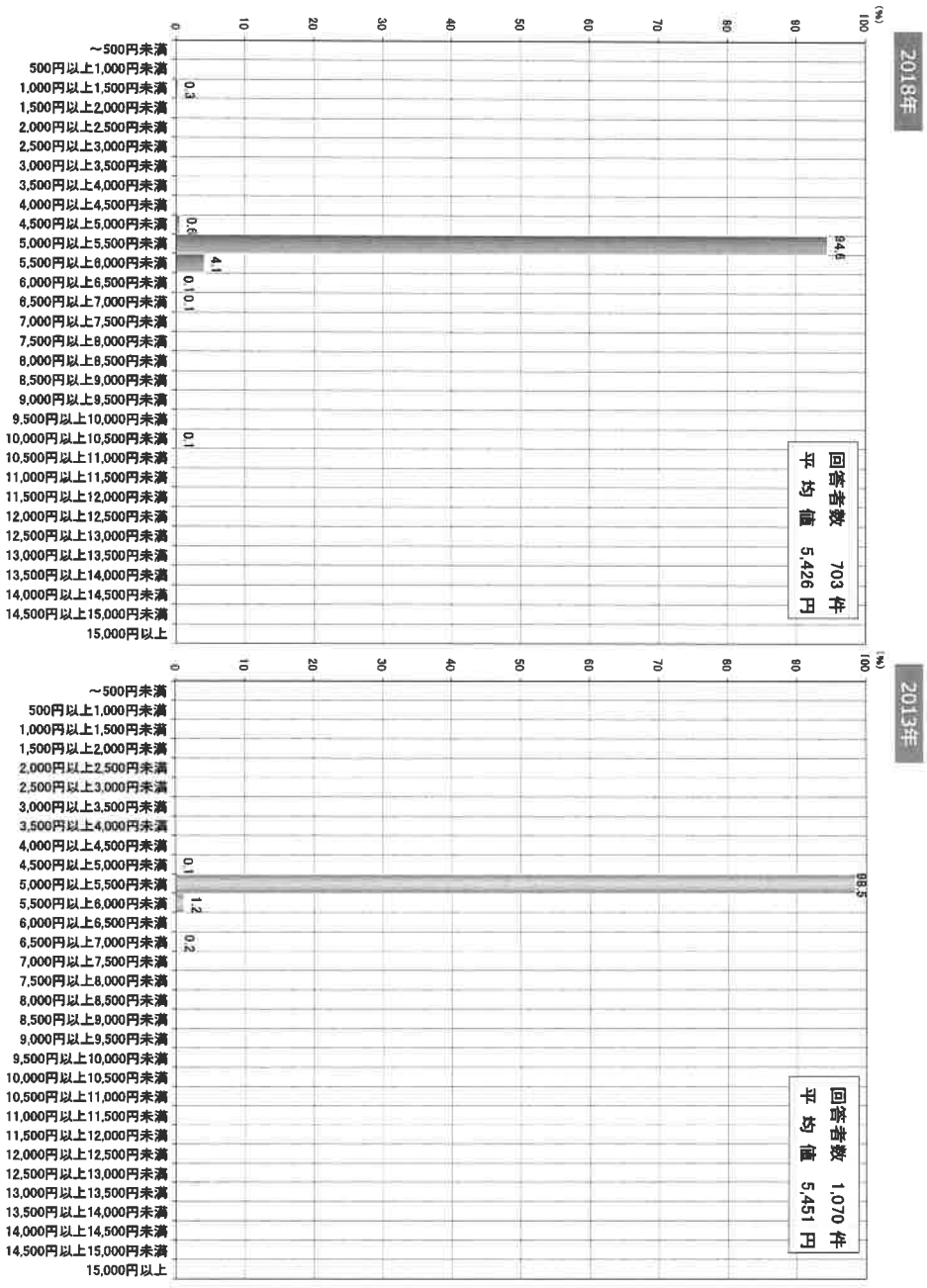
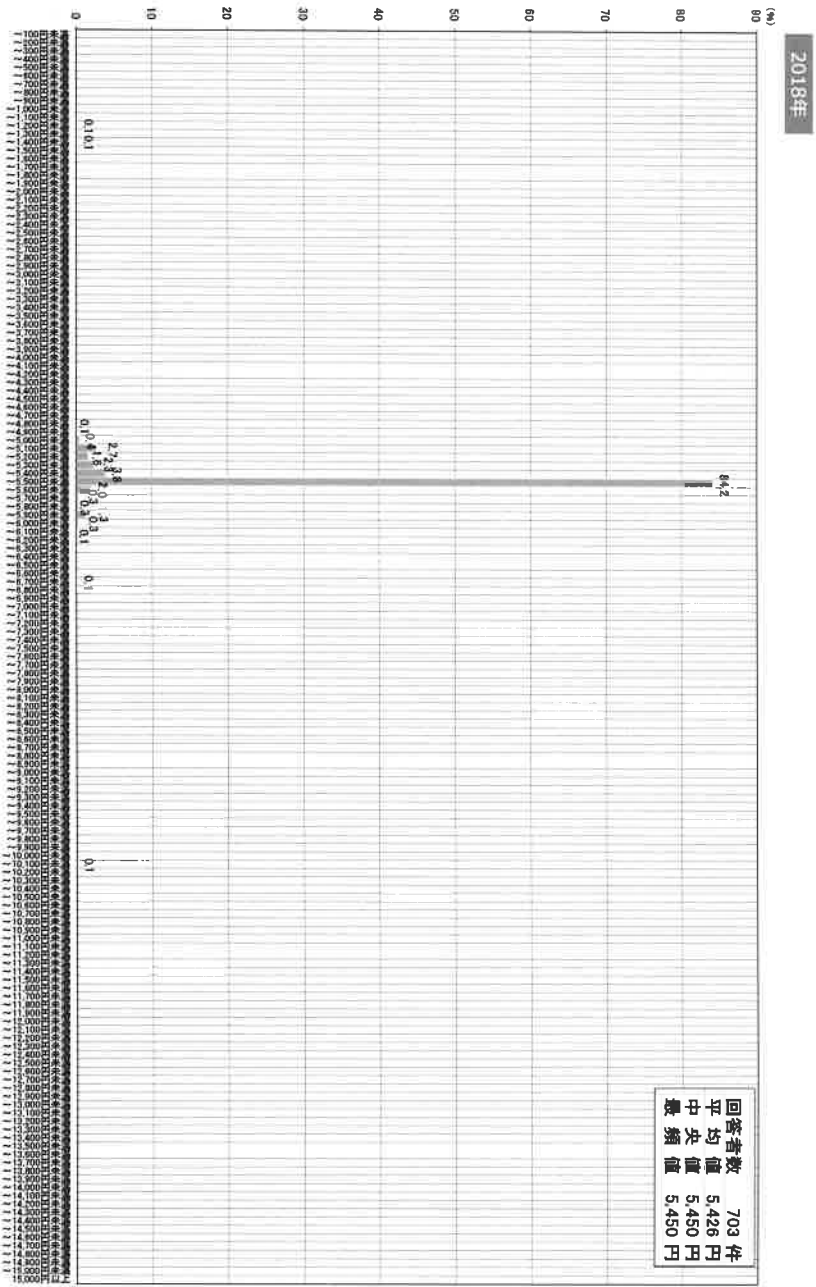
2018年



2013年

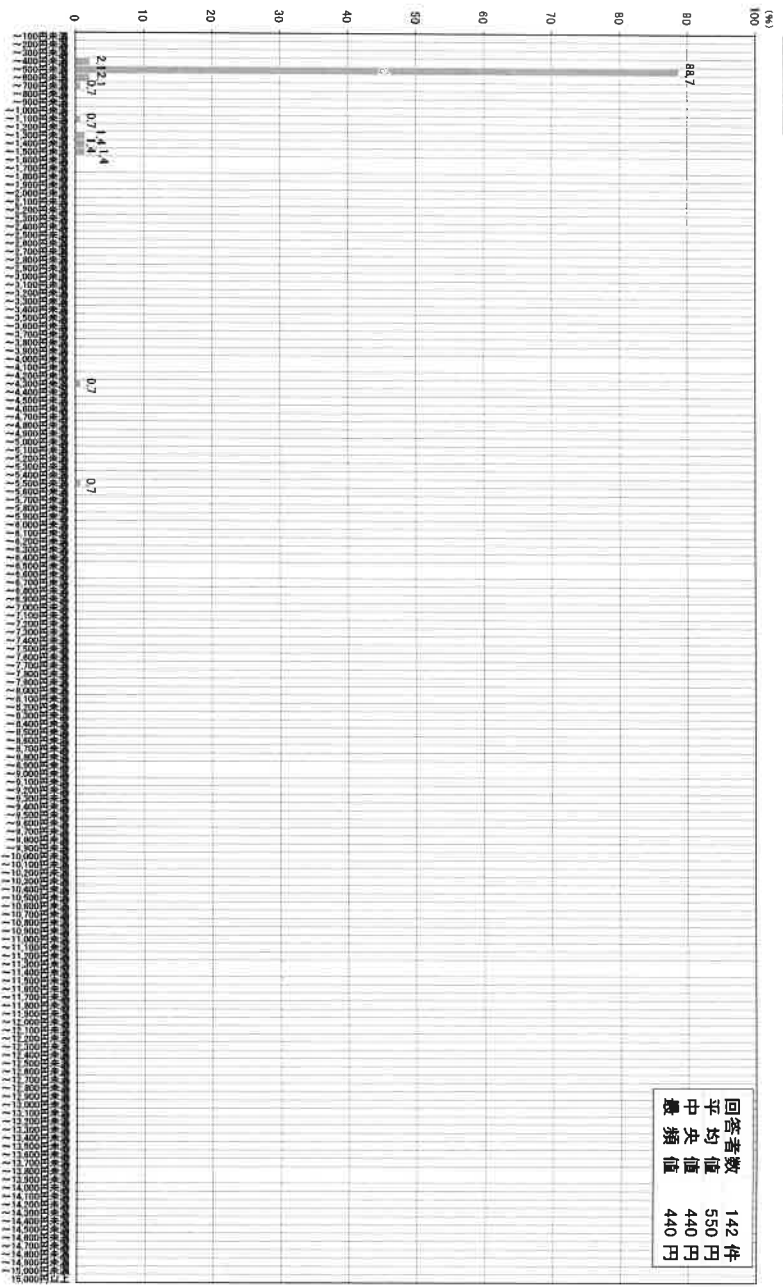


【薬剤 (0.5mL × 1シリンジ)】



【破傷風 (シリンジ 0.5mL 1本)】

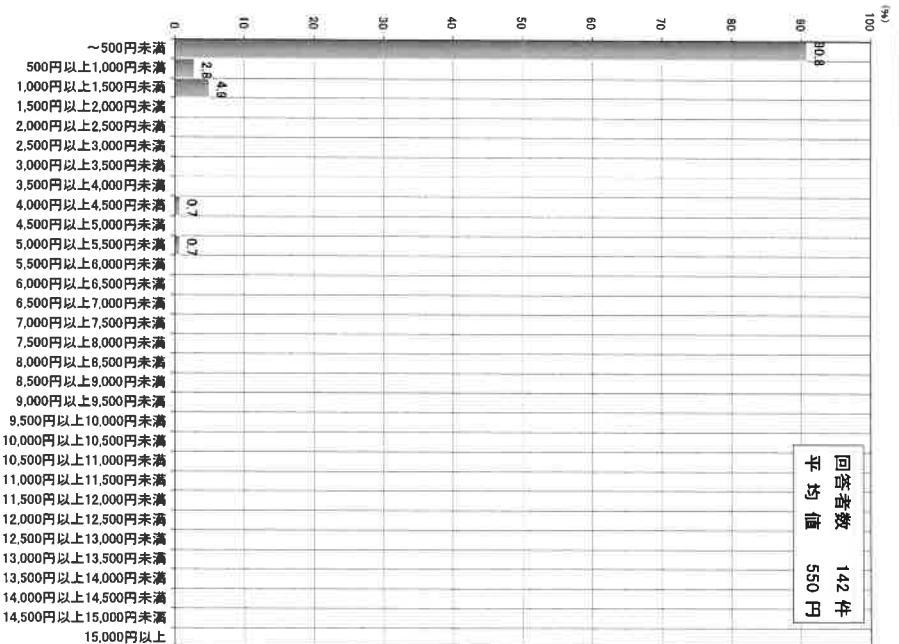
2018年



回答者数
平均値
中央値
最頻値

142 件
550 円
440 円
440 円

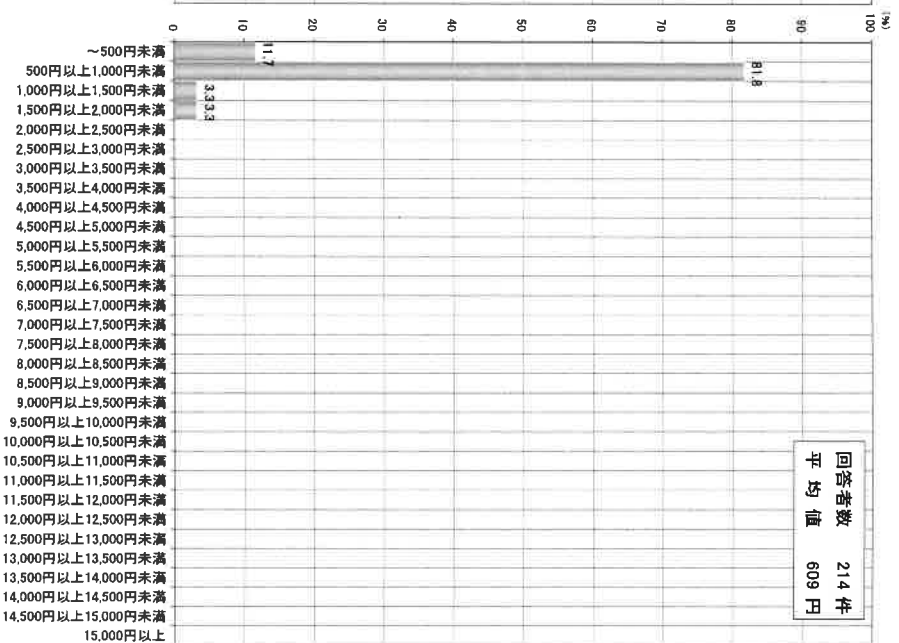
2018年



回答者数
平均値
550 円

142 件

2013年

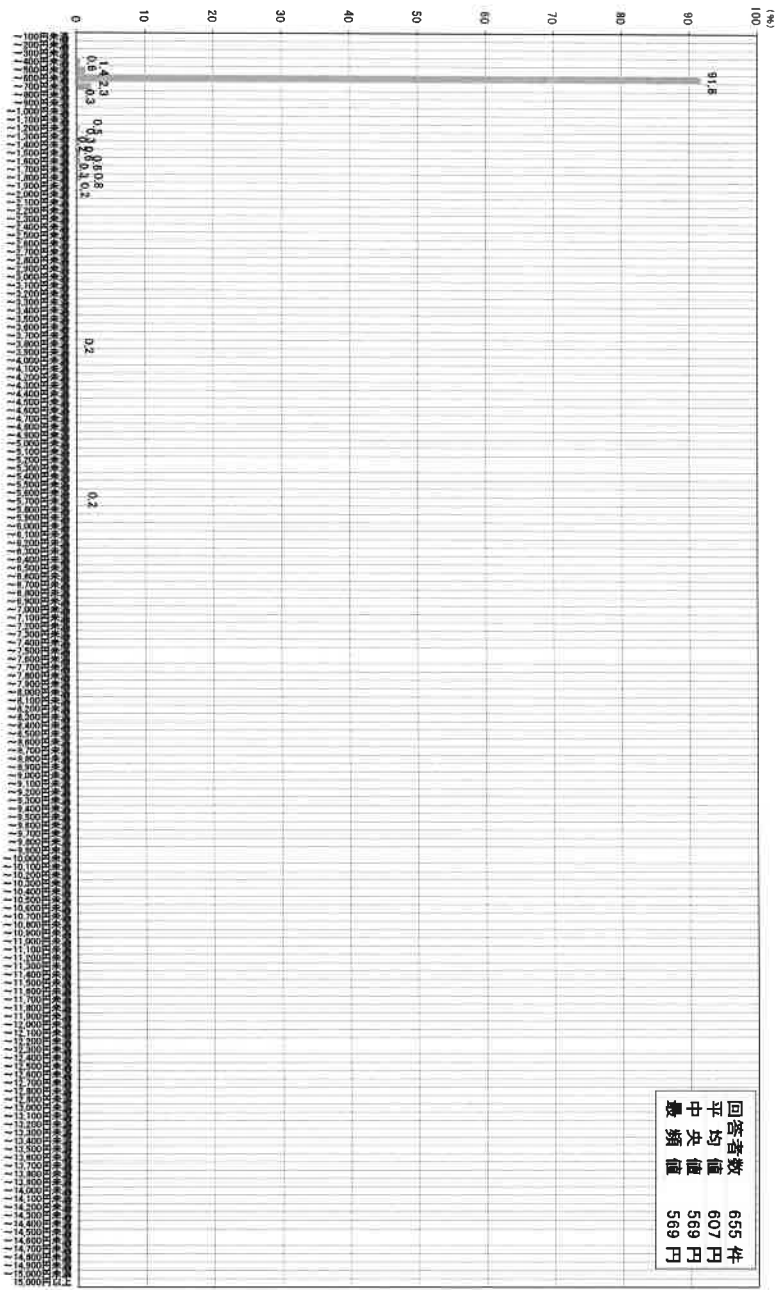


回答者数
平均値
609 円

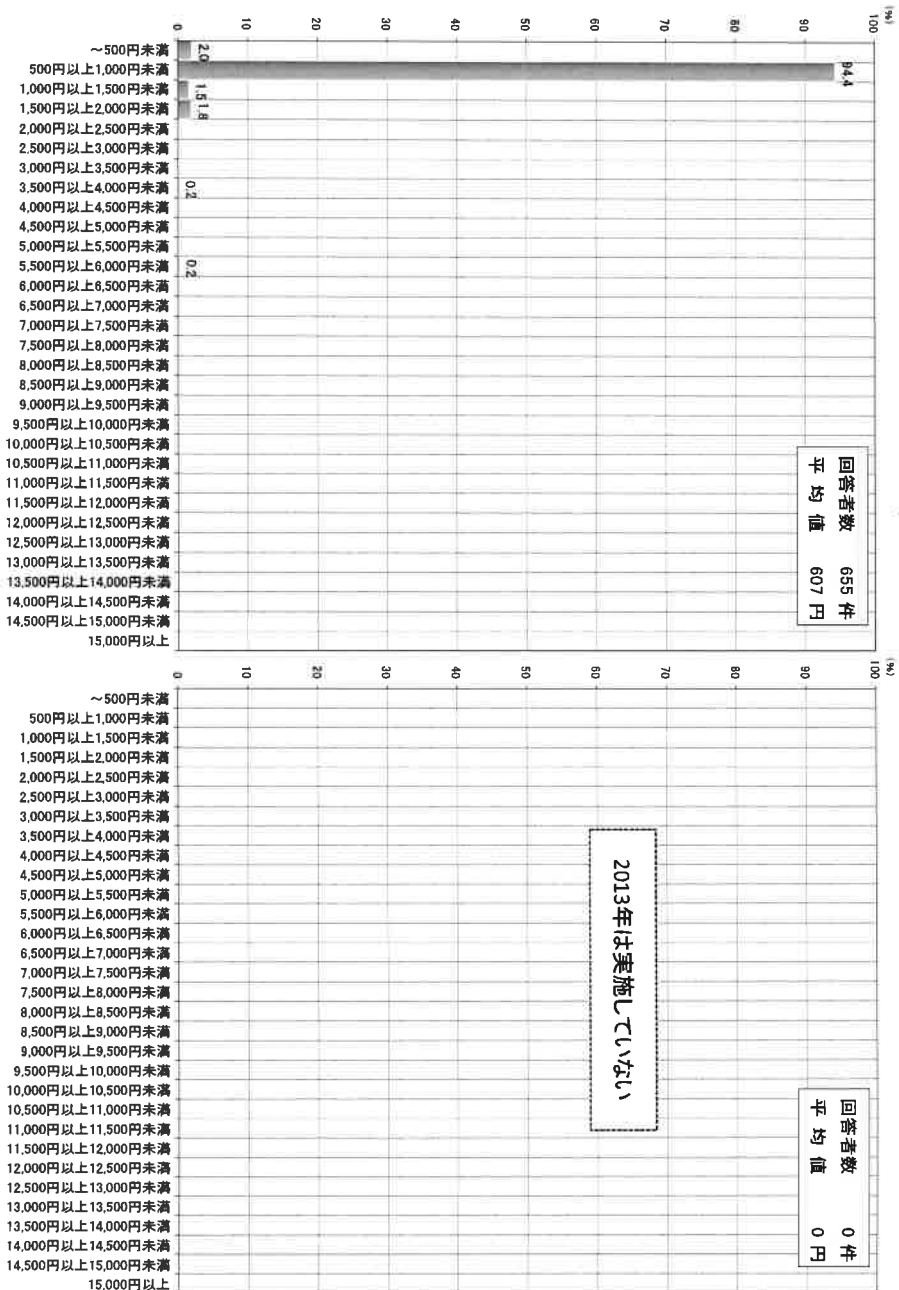
214 件

【破傷風 (1キット0.5mL 1本)】

2018年



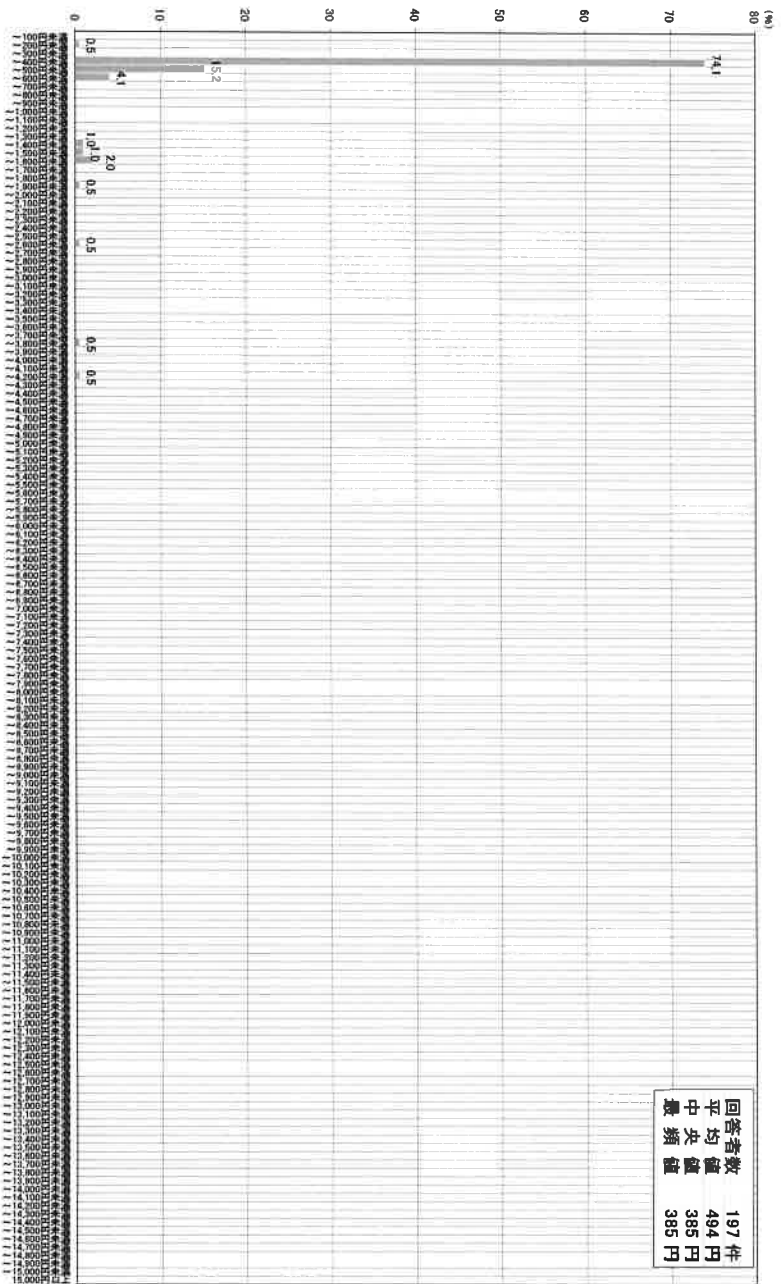
2018年



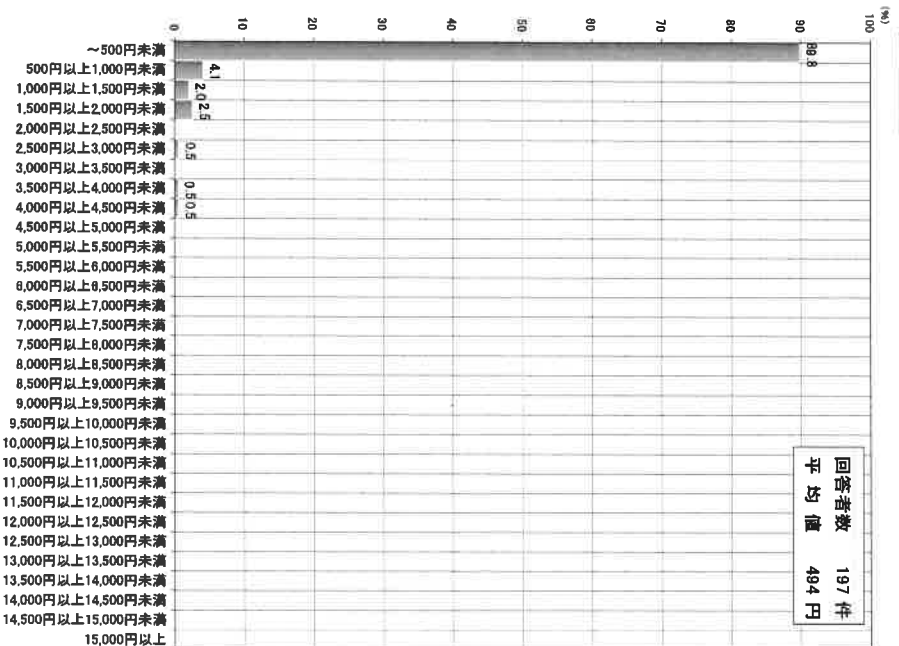
2013年

【破傷風 (瓶入 0.5mL 1本)】

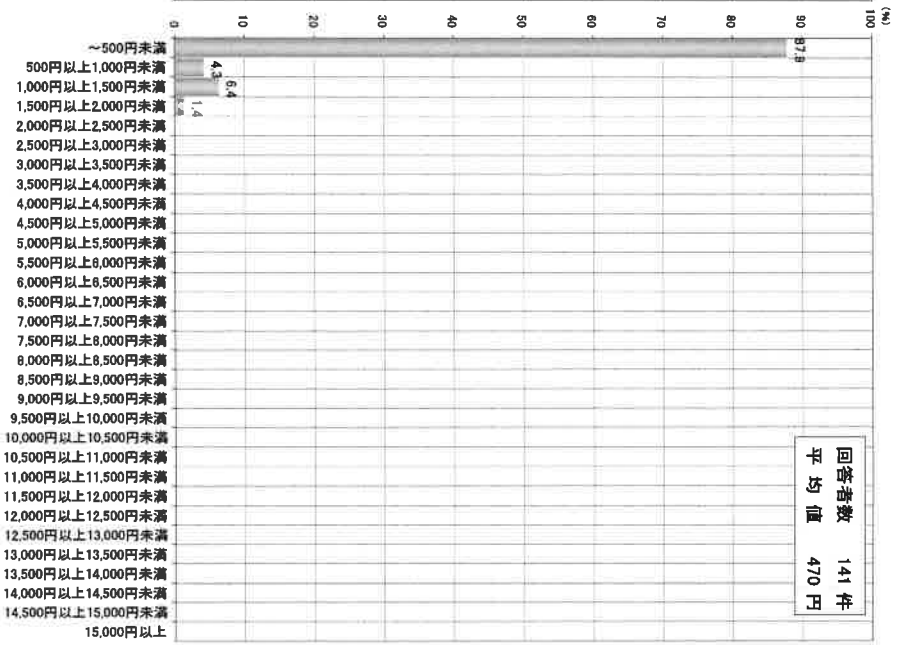
2018年



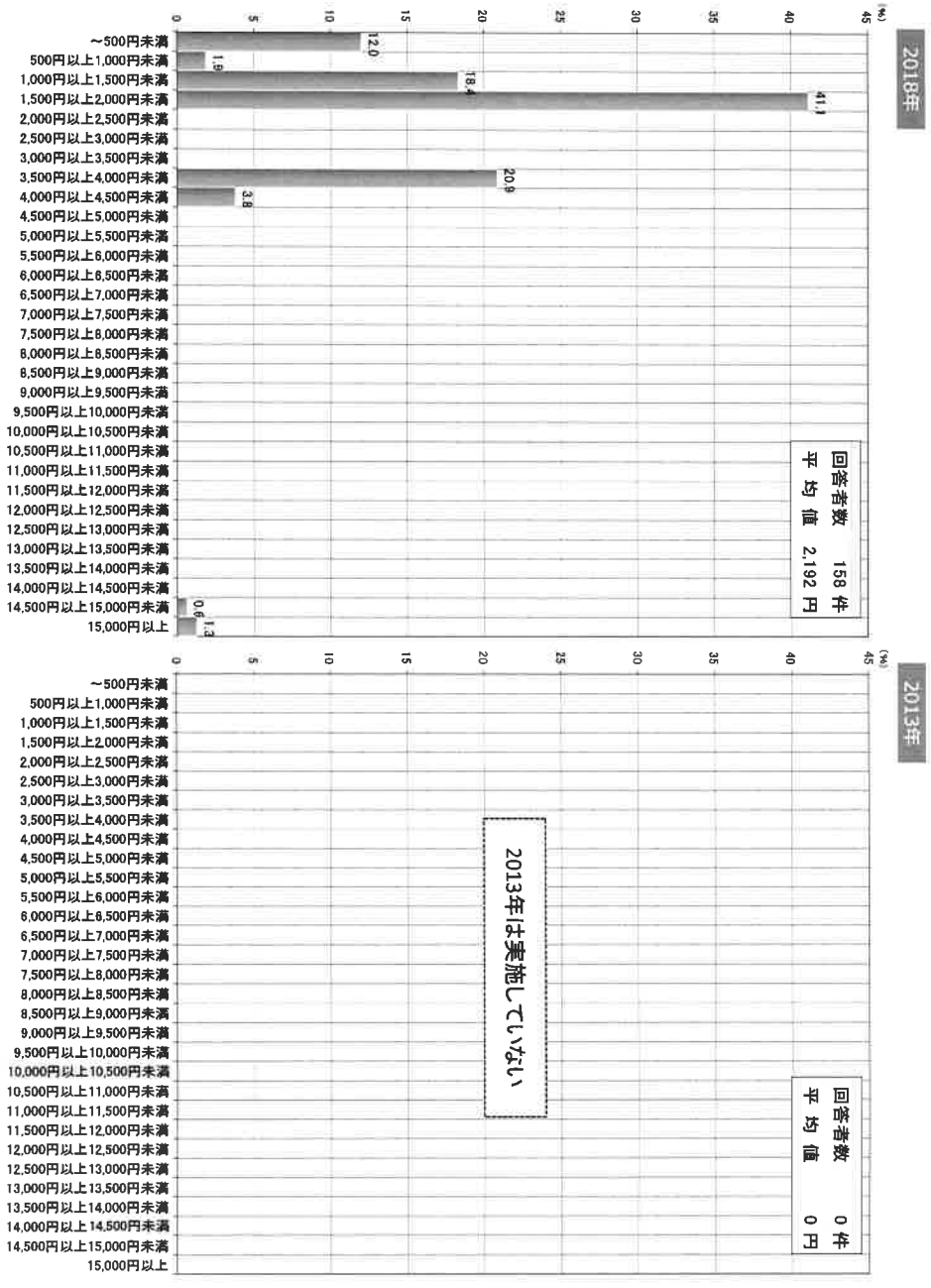
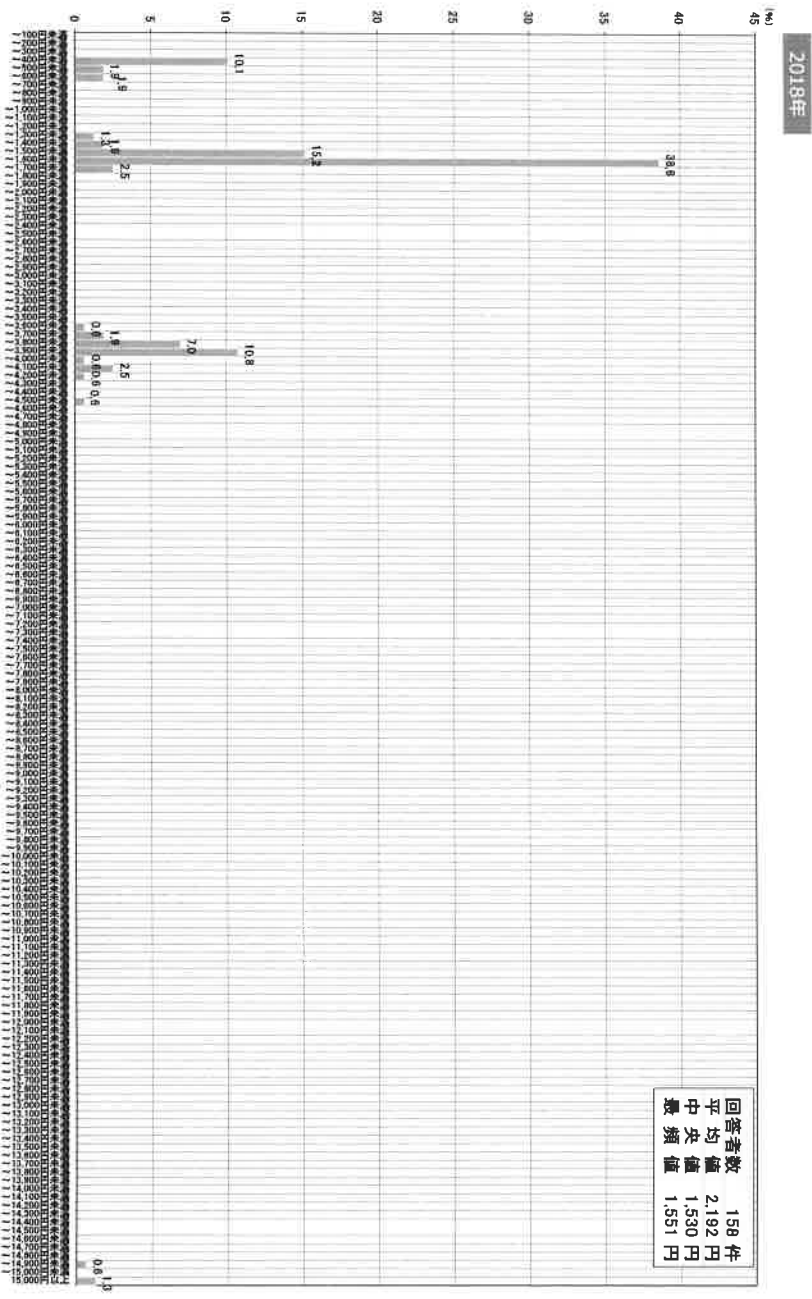
2018年



2013年

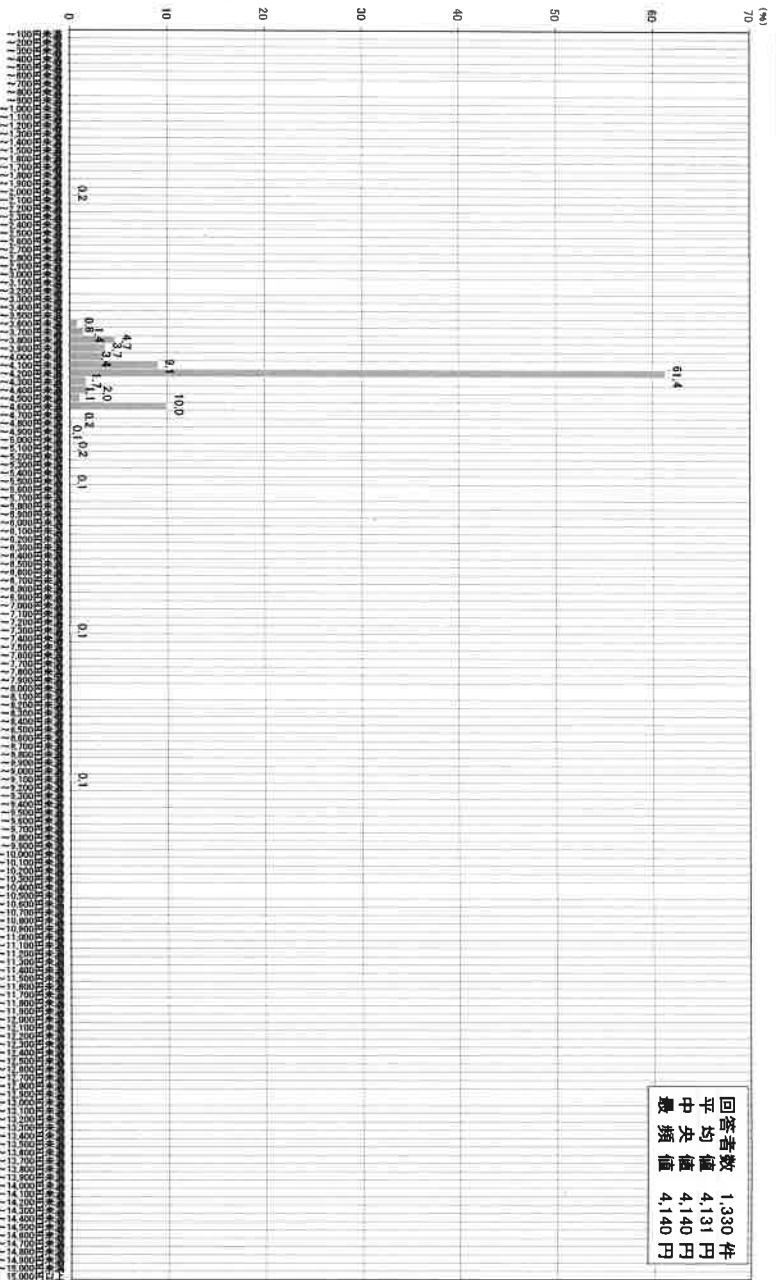


【破傷風(瓶入0.5mL×10本)】

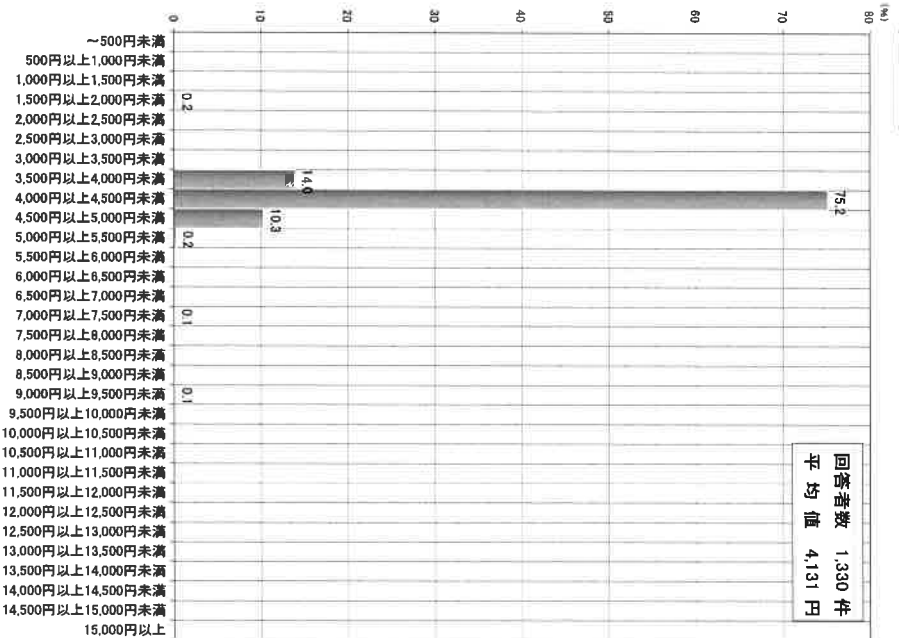


【インフルエンザ菌b型 (B)、Hib)(1)インフル1回分：1本】

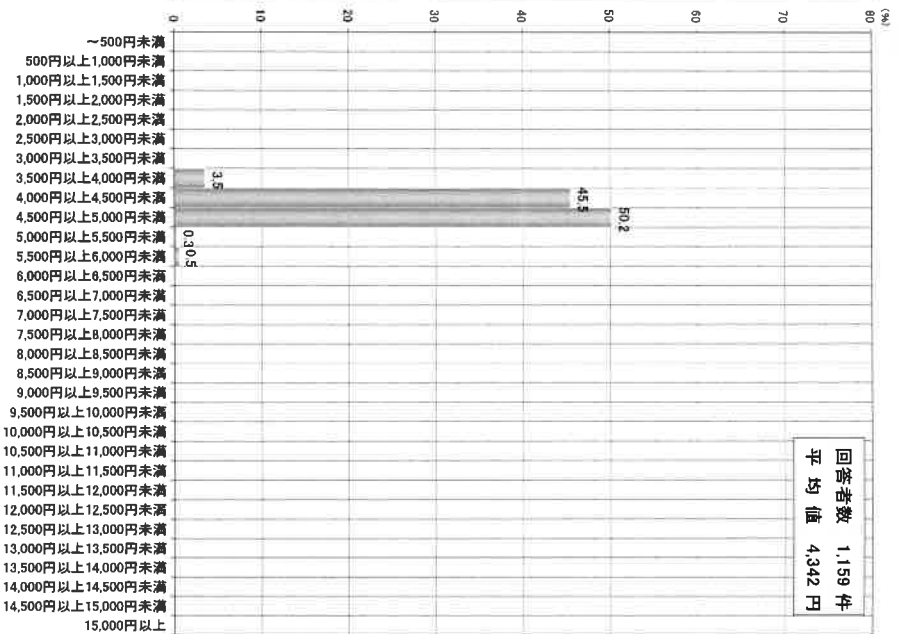
2018年



2018年

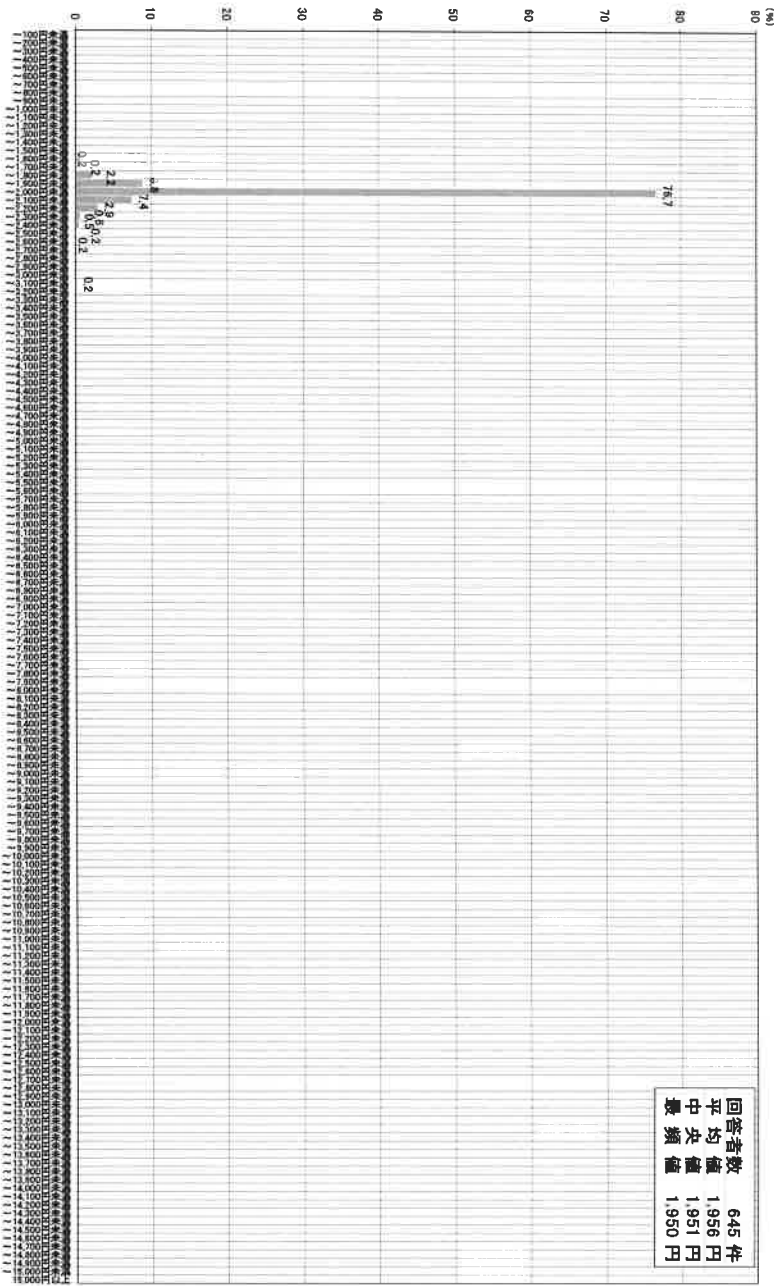


2013年

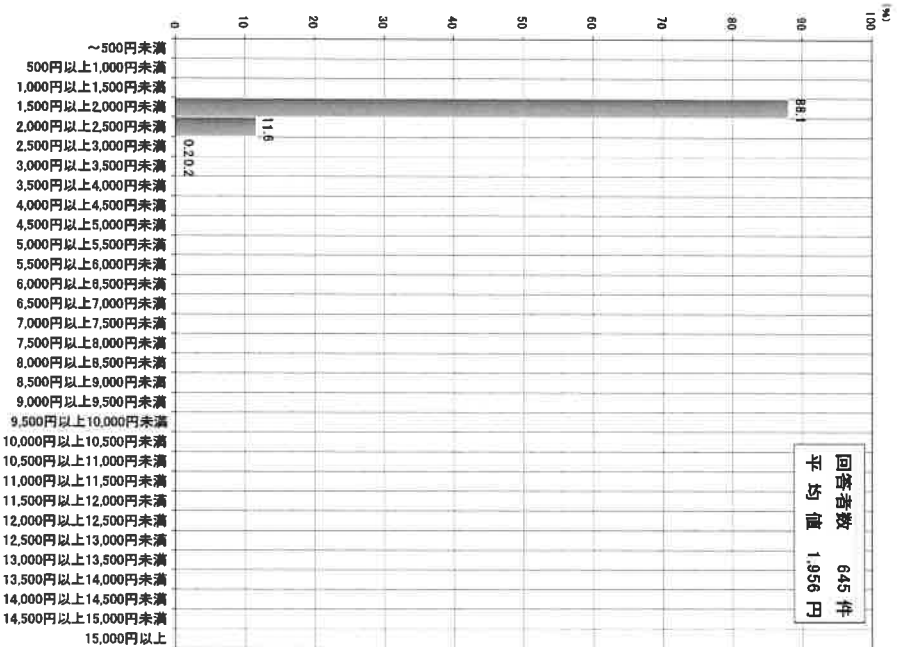


【B型肝炎 (0.25mL : 1バリエル)】

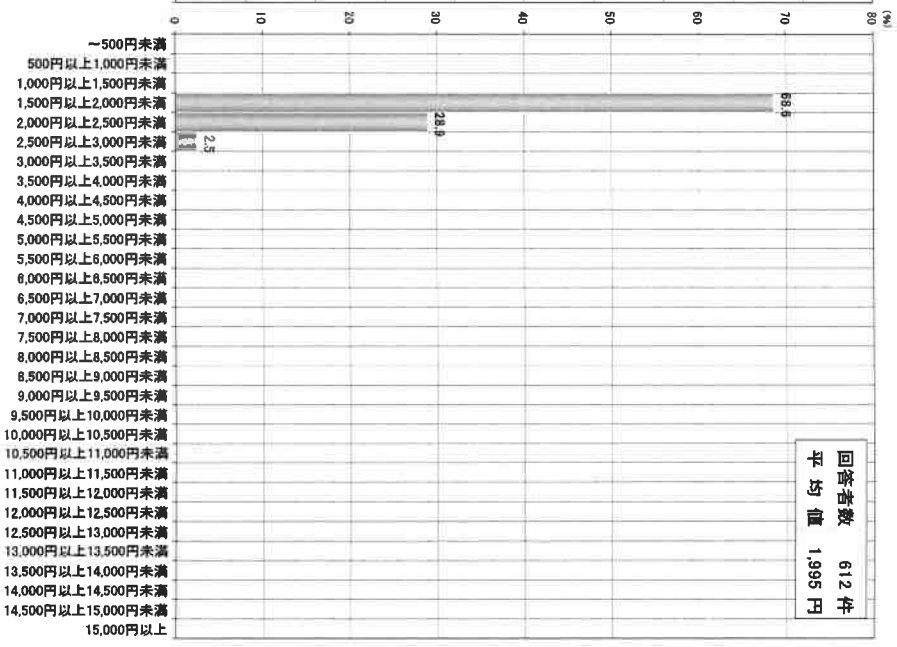
2018年



2018年

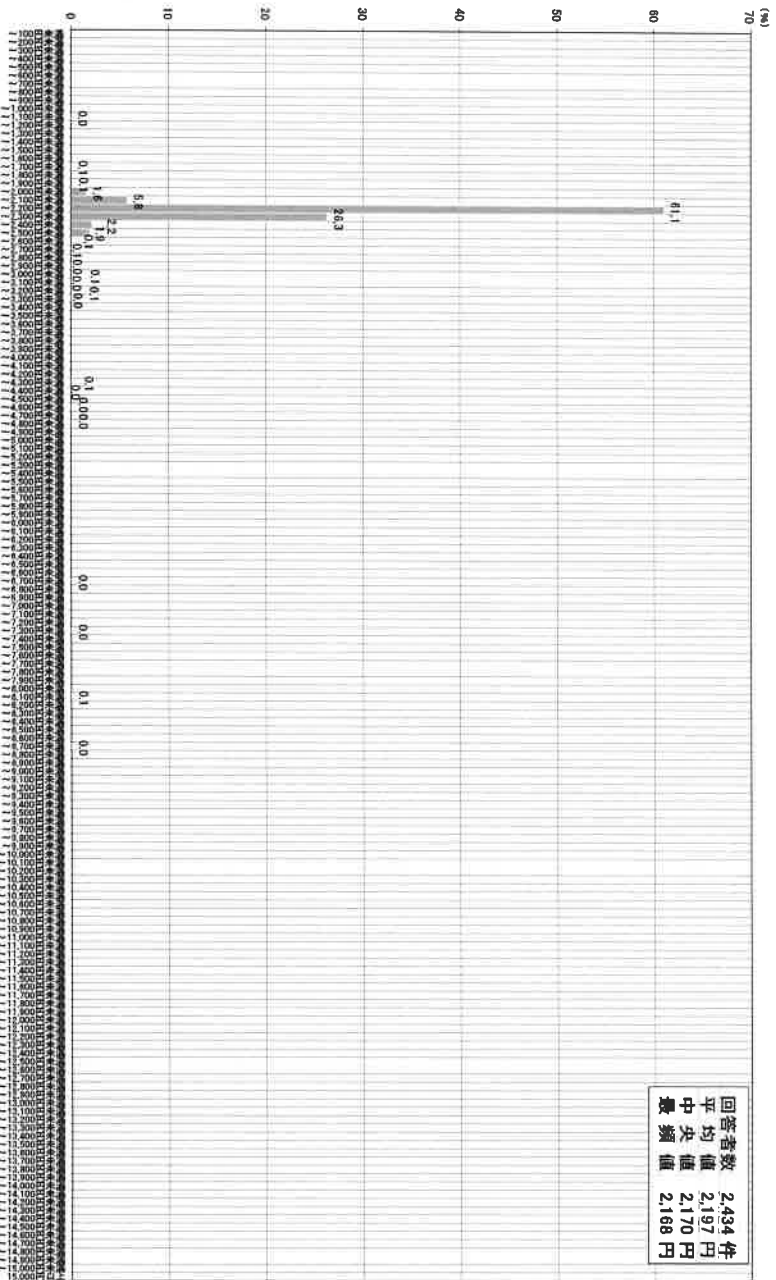


2013年

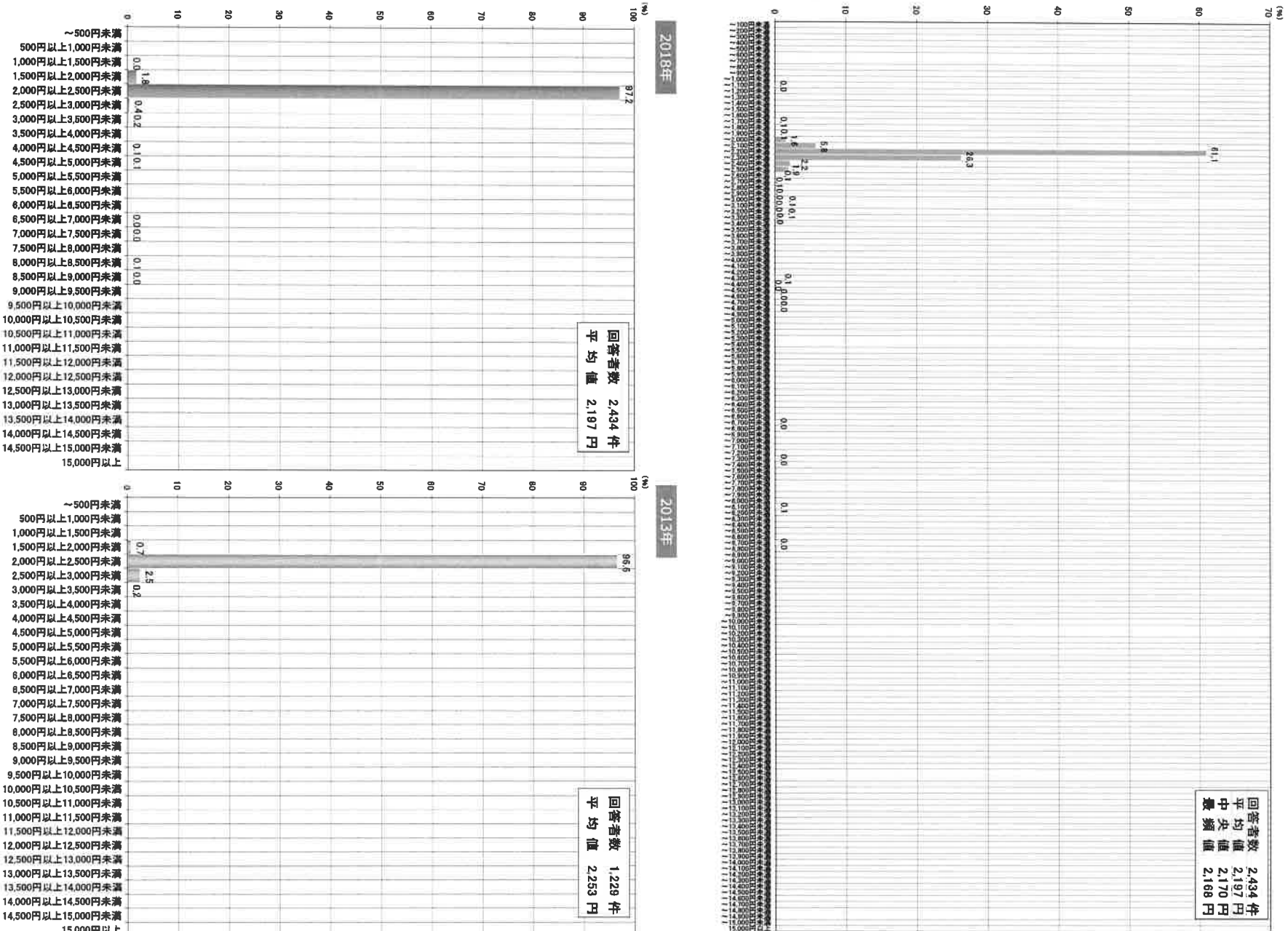


【B型肝炎 (0.5mL : 1バリエル)】

2018年

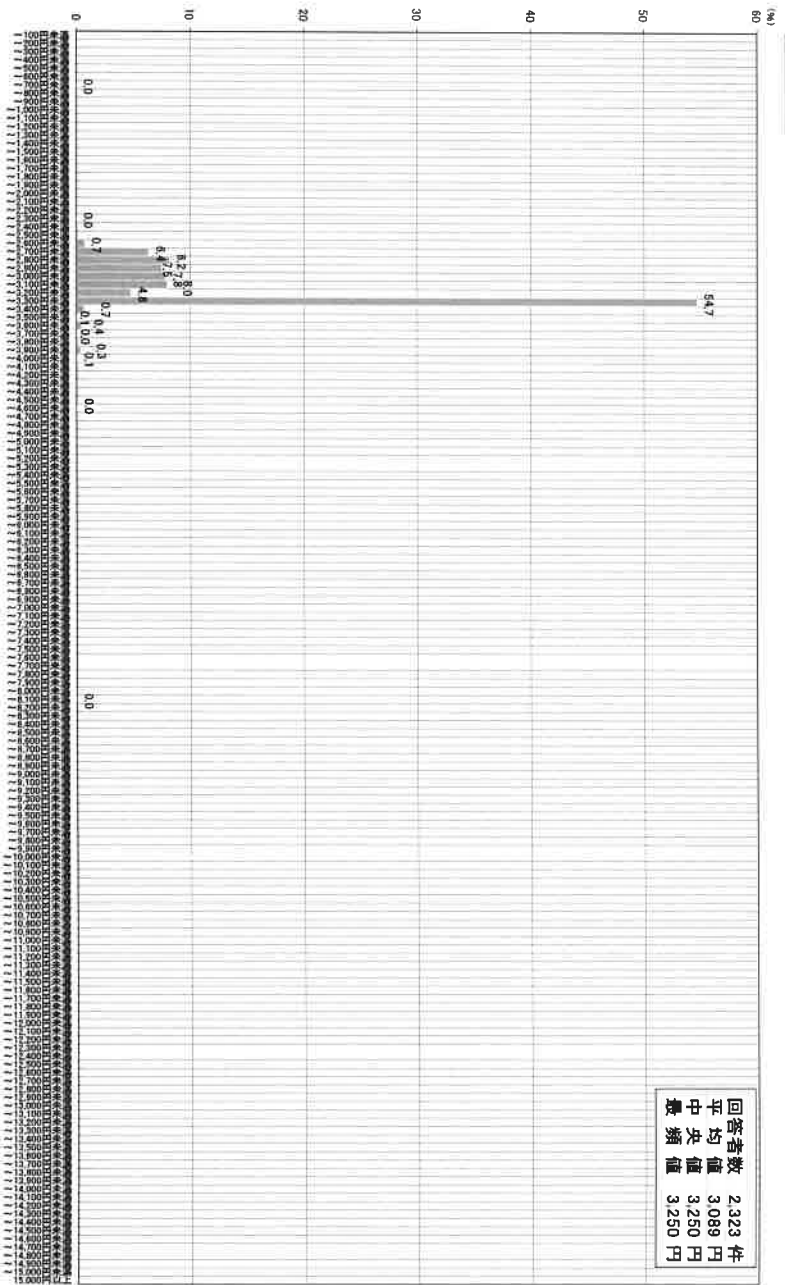


2013年



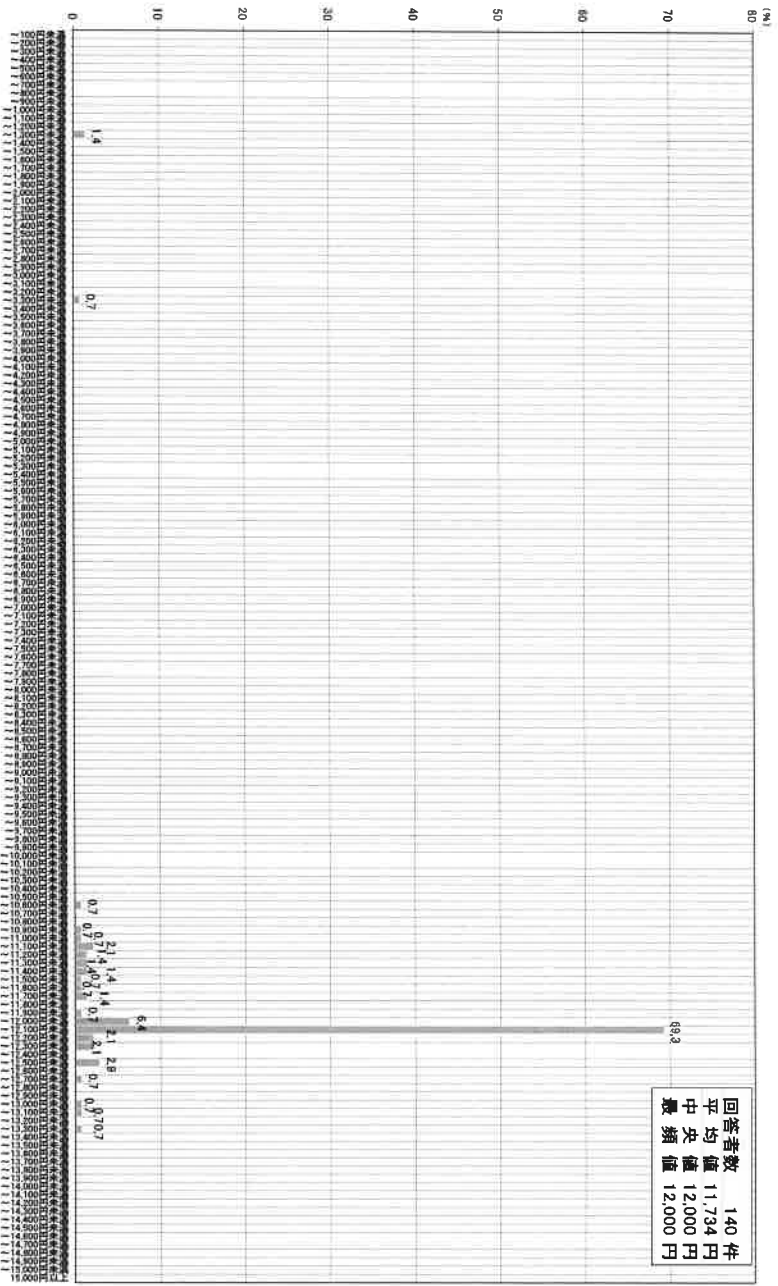
【日本脳炎 (挿入 1人分 1本)】

2018年

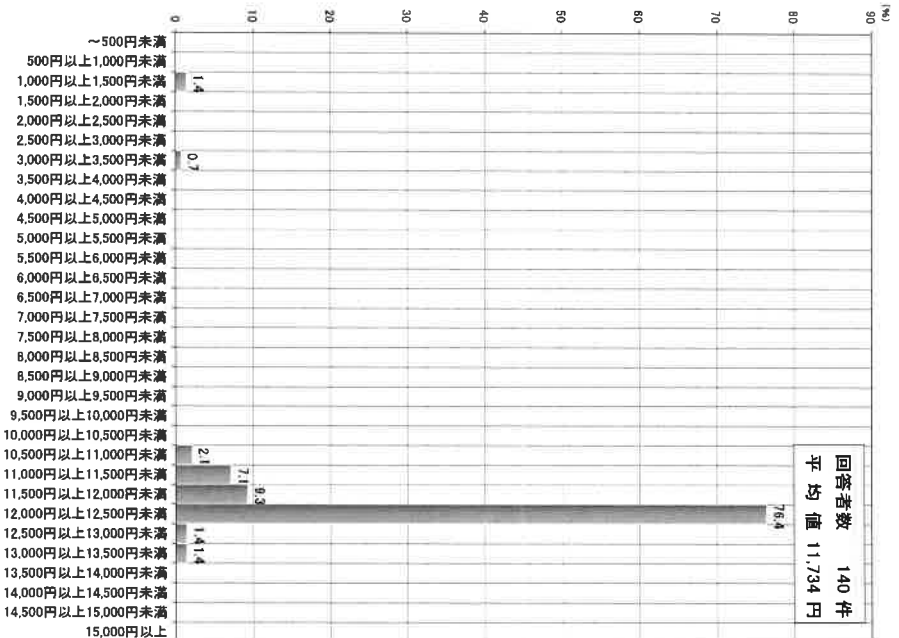


【ヒトピロ-マウウイルス2価（シリンジ 0.5mL：1本）】

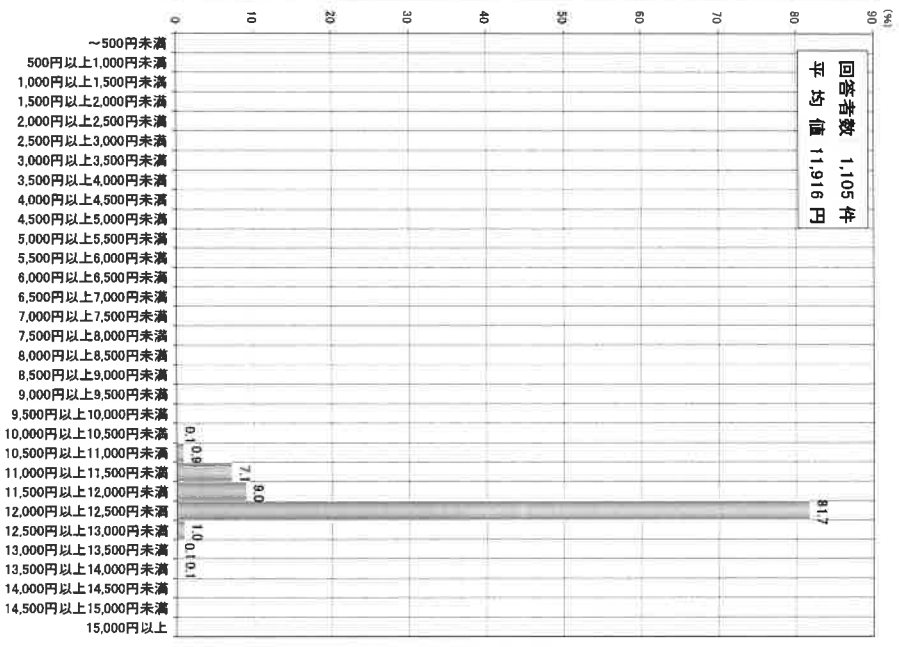
2018年



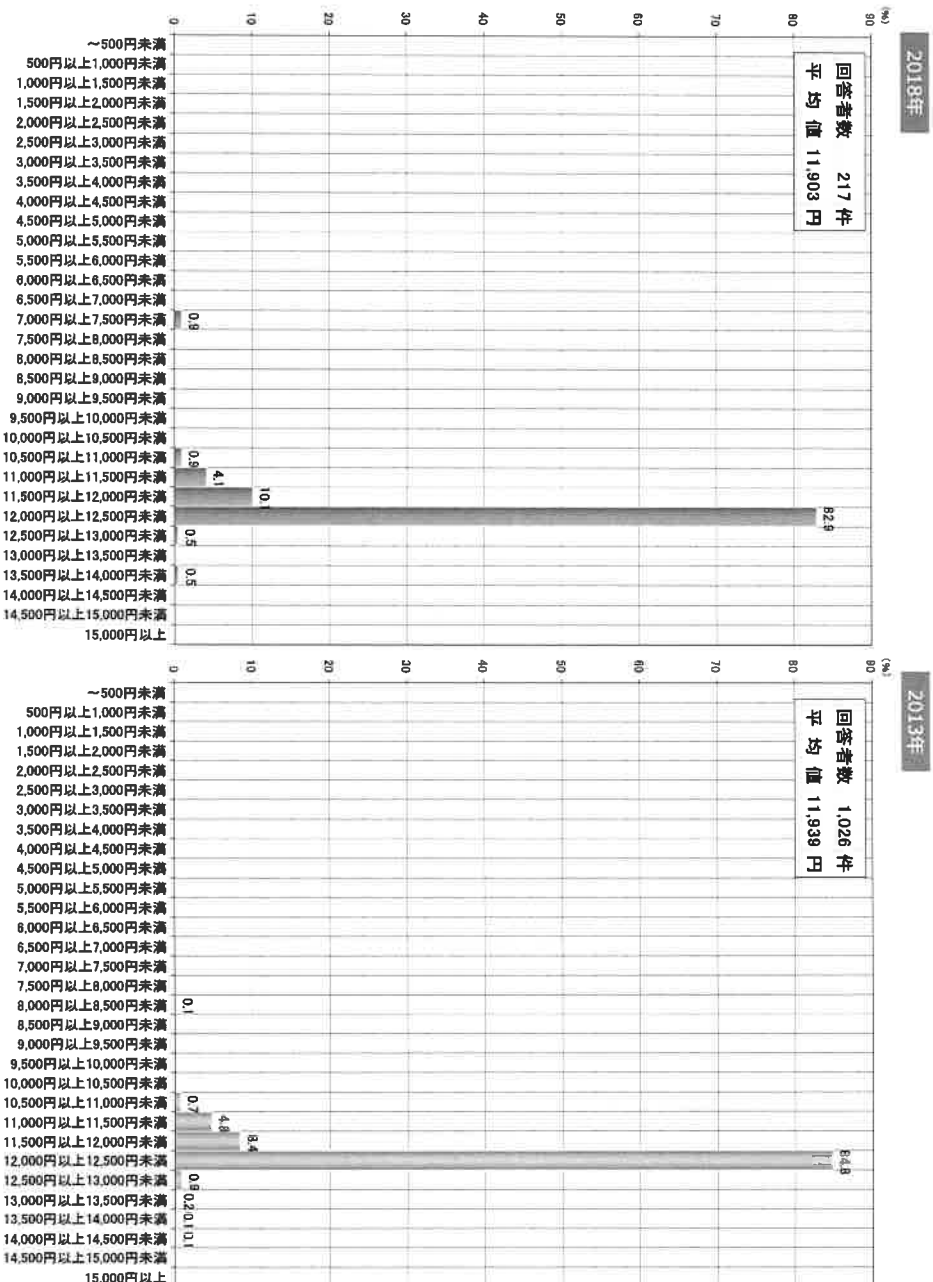
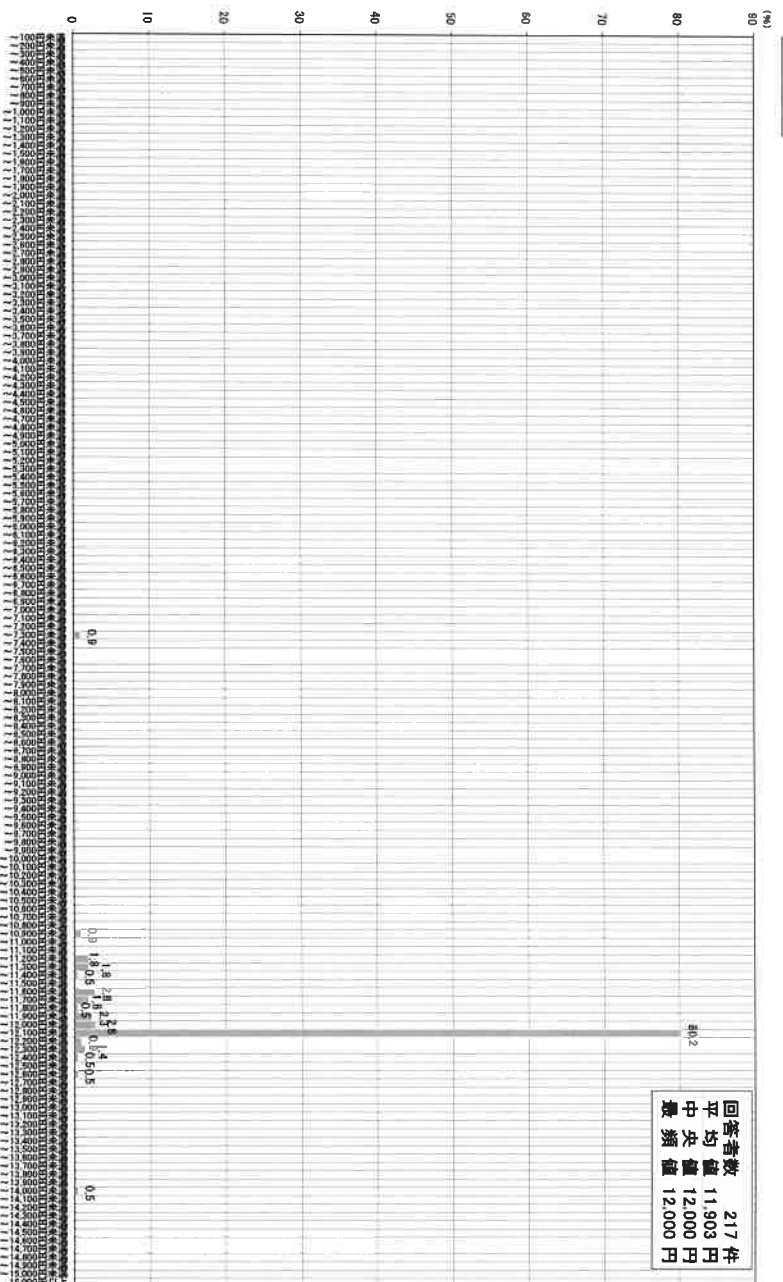
2018年



2013年

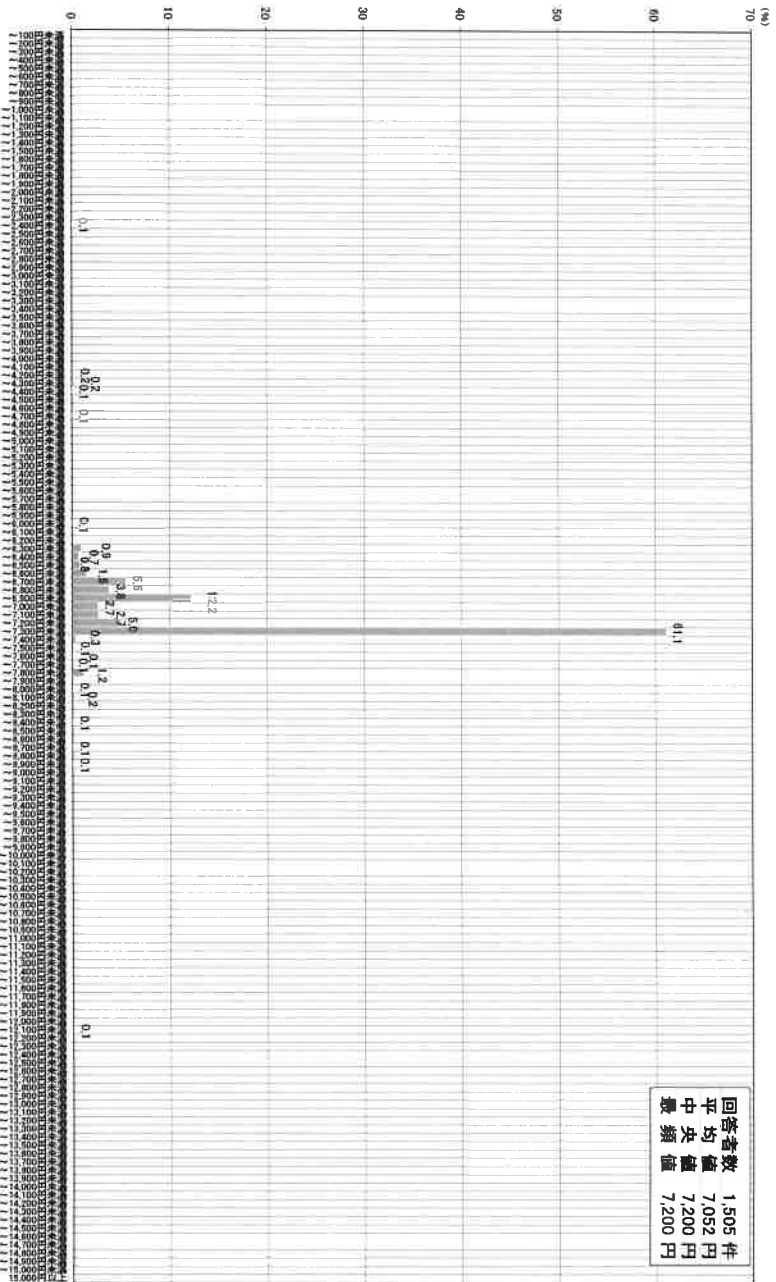


【レトバローラケイアルス4価（シリンジ 0.5mL：1本）】

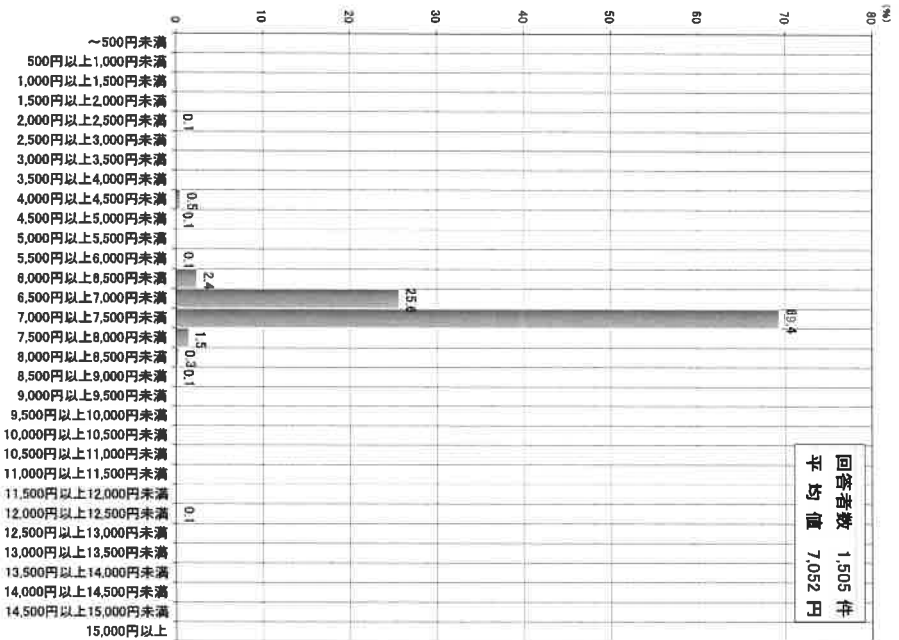


【小児用肺炎球菌（PCV13:13価結合型）（シリンジ1回分：1本（0.5mL））】

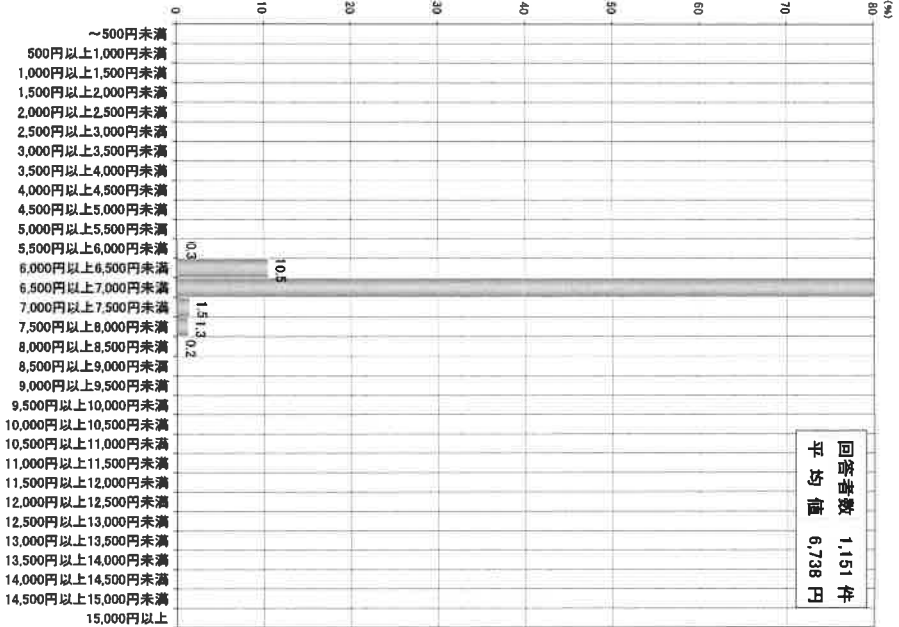
2018年



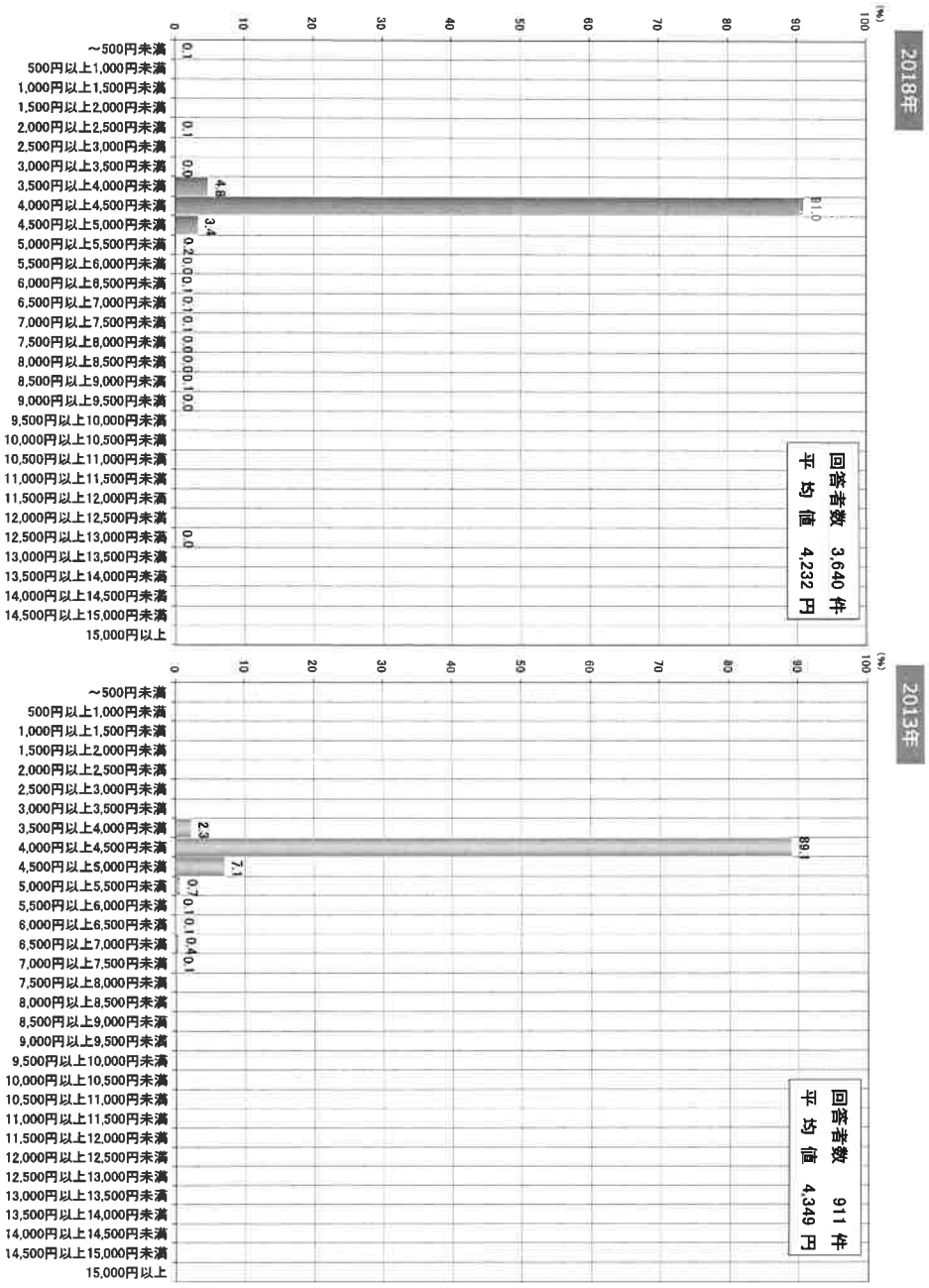
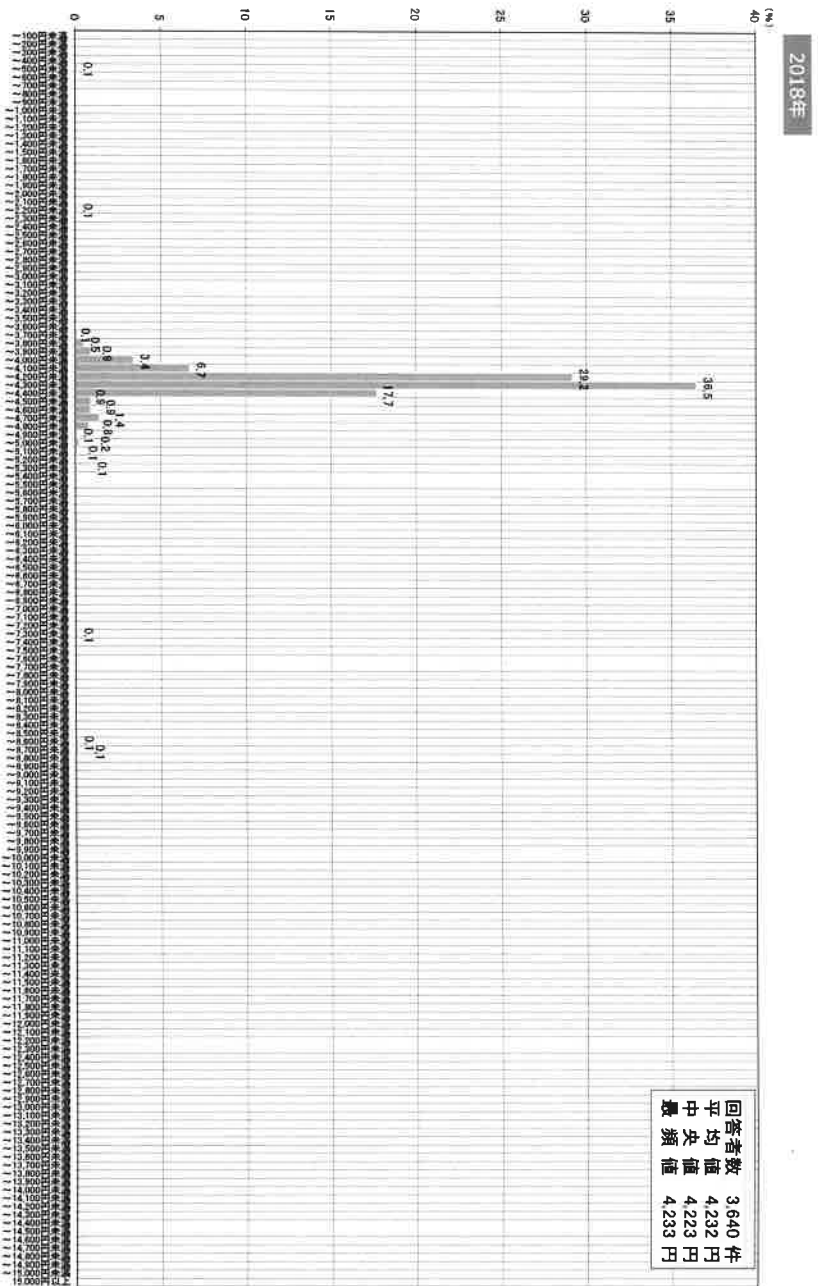
2018年



2013年

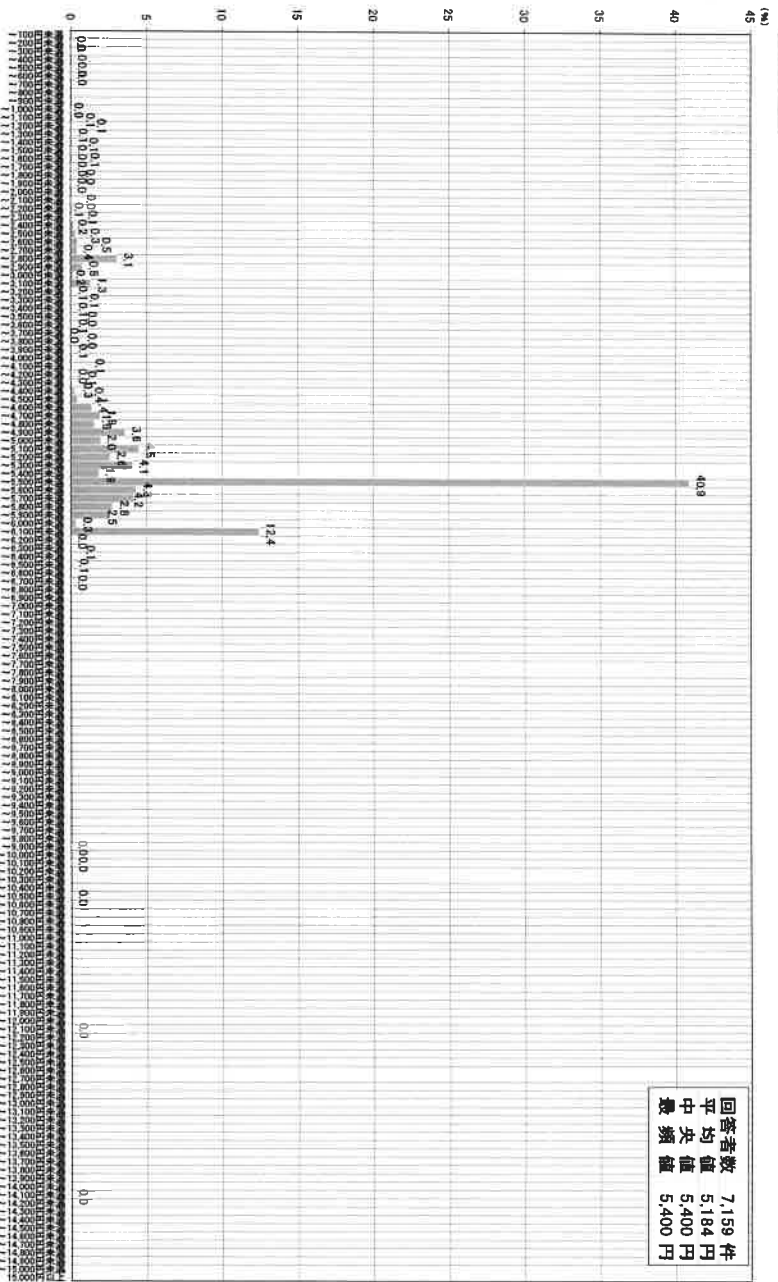


【成人用肺炎球菌 (PPSV23:23価多糖体)】

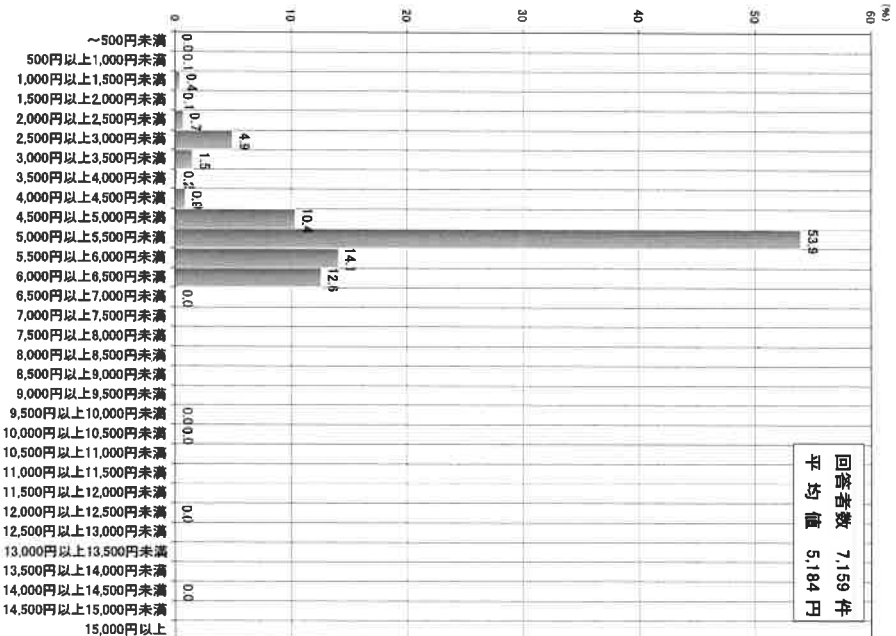


【インフルエンザ (挿入1 mL 2本)】

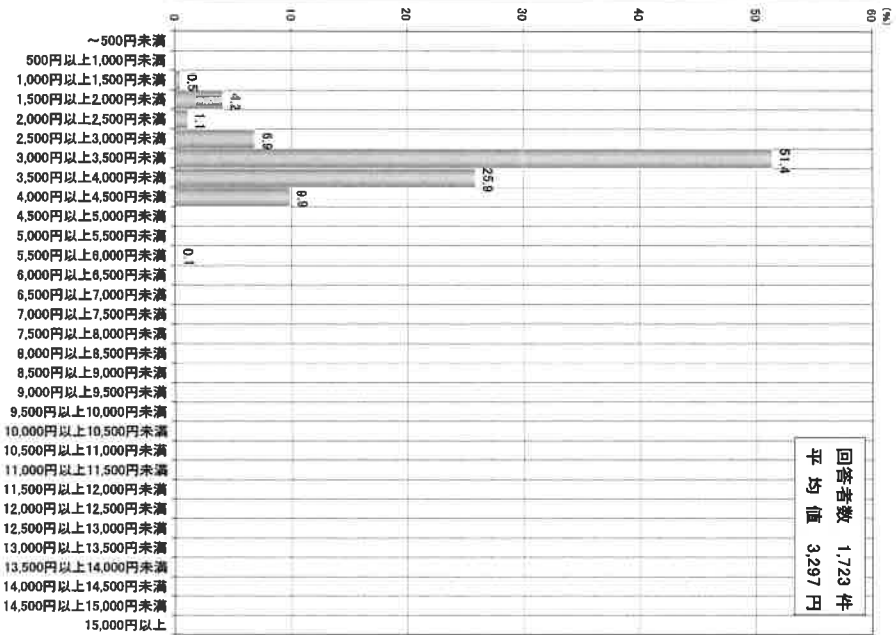
2018年



2018年

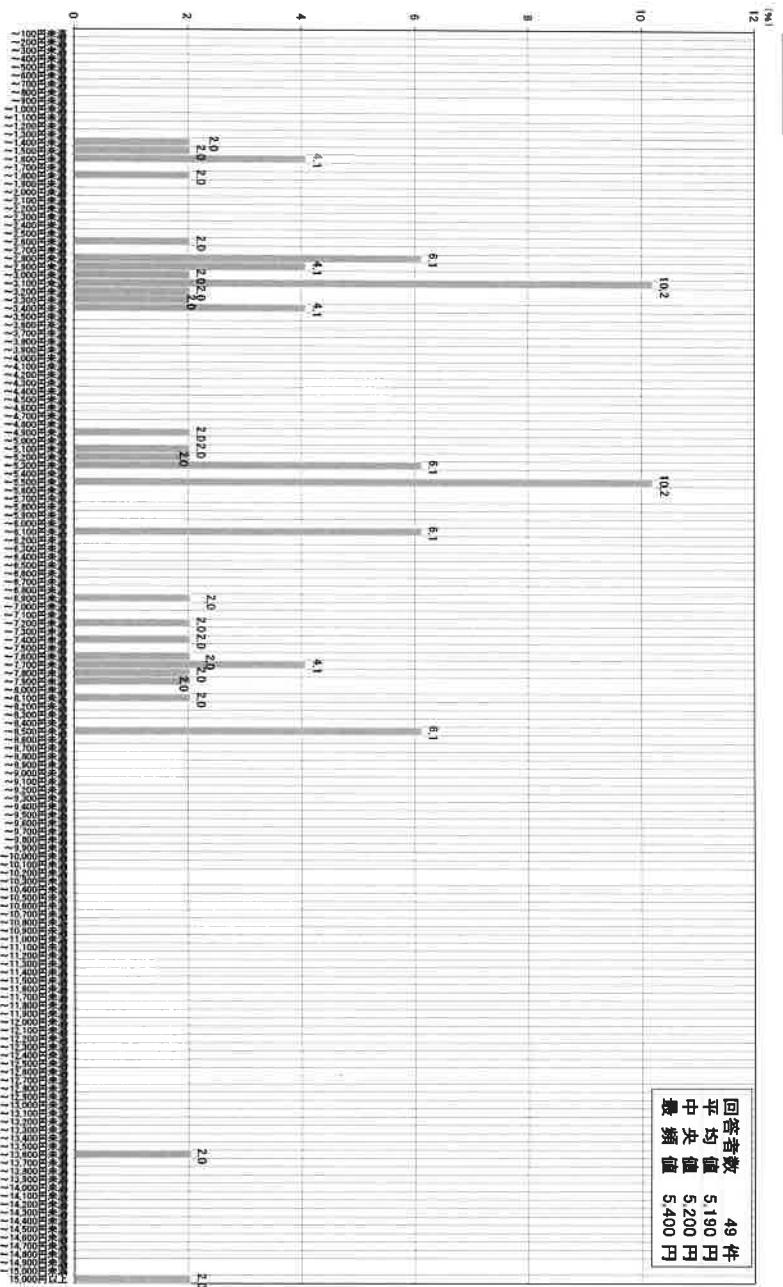


2013年

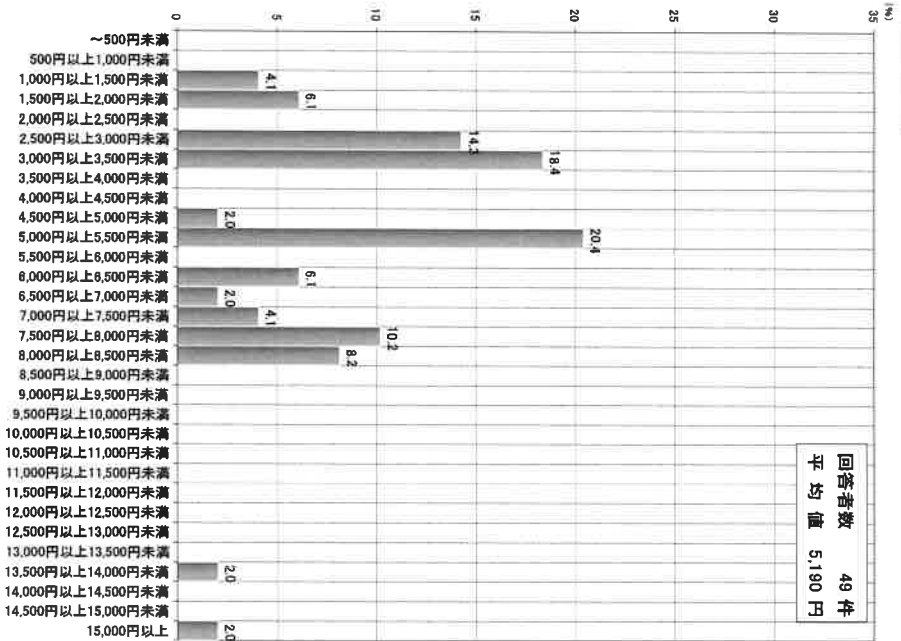


【イソカルエンザ (シリンジ0.5mL 5本)】

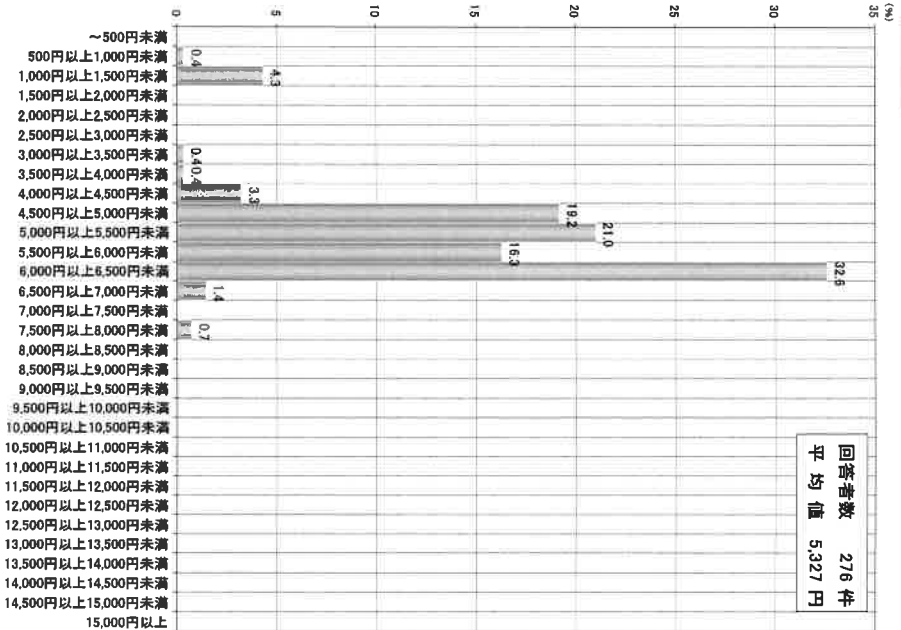
2018年



2018年

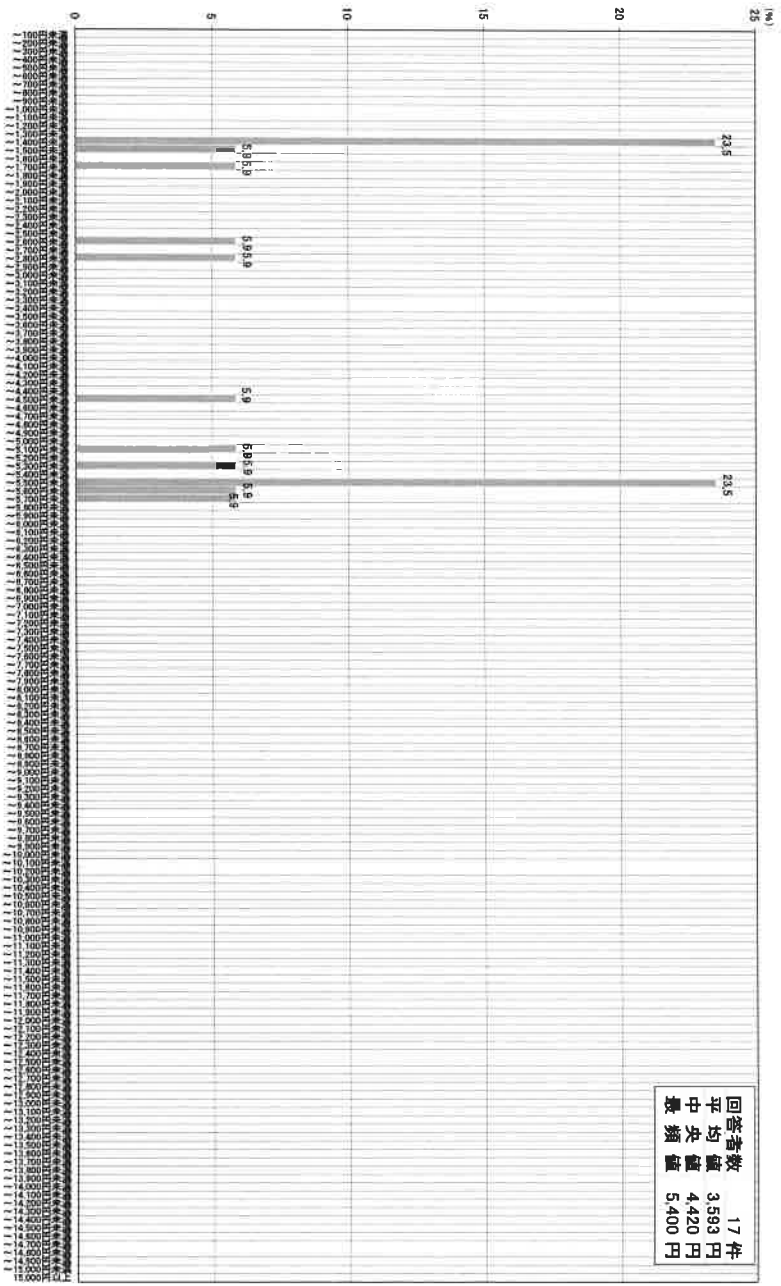


2013年

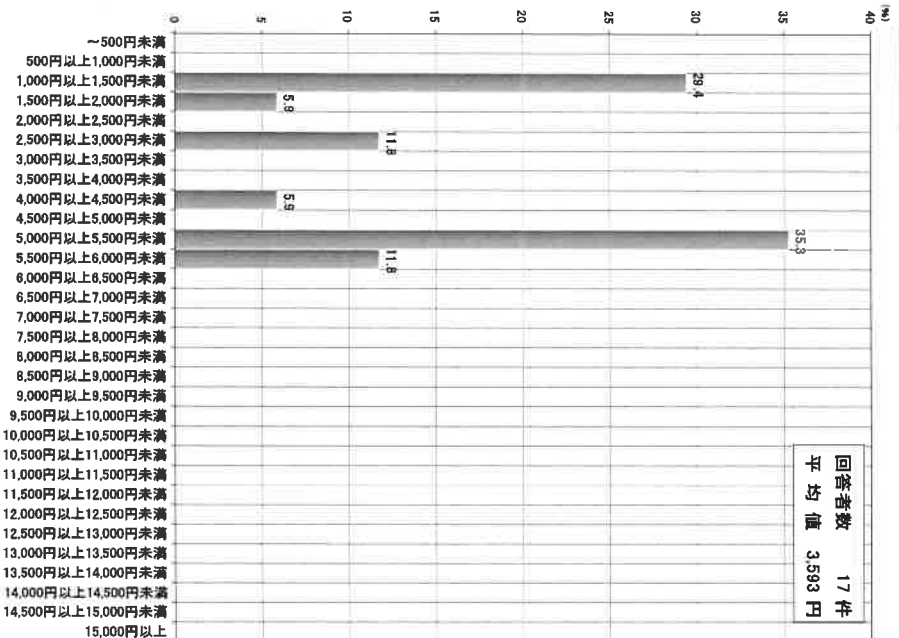


【インクルエンザ (シリンジ0.25mL 1本)】

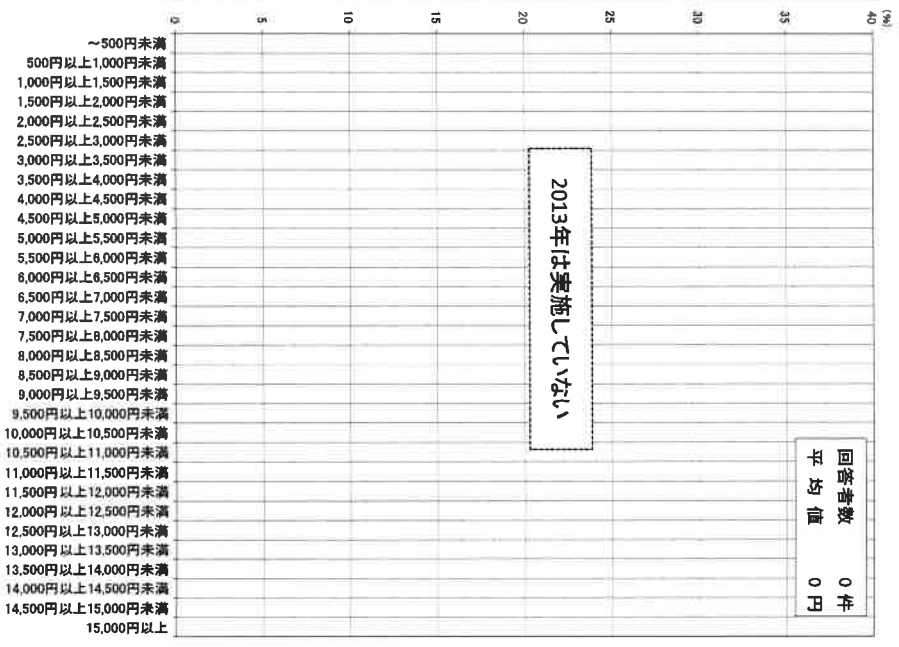
2018年



2018年

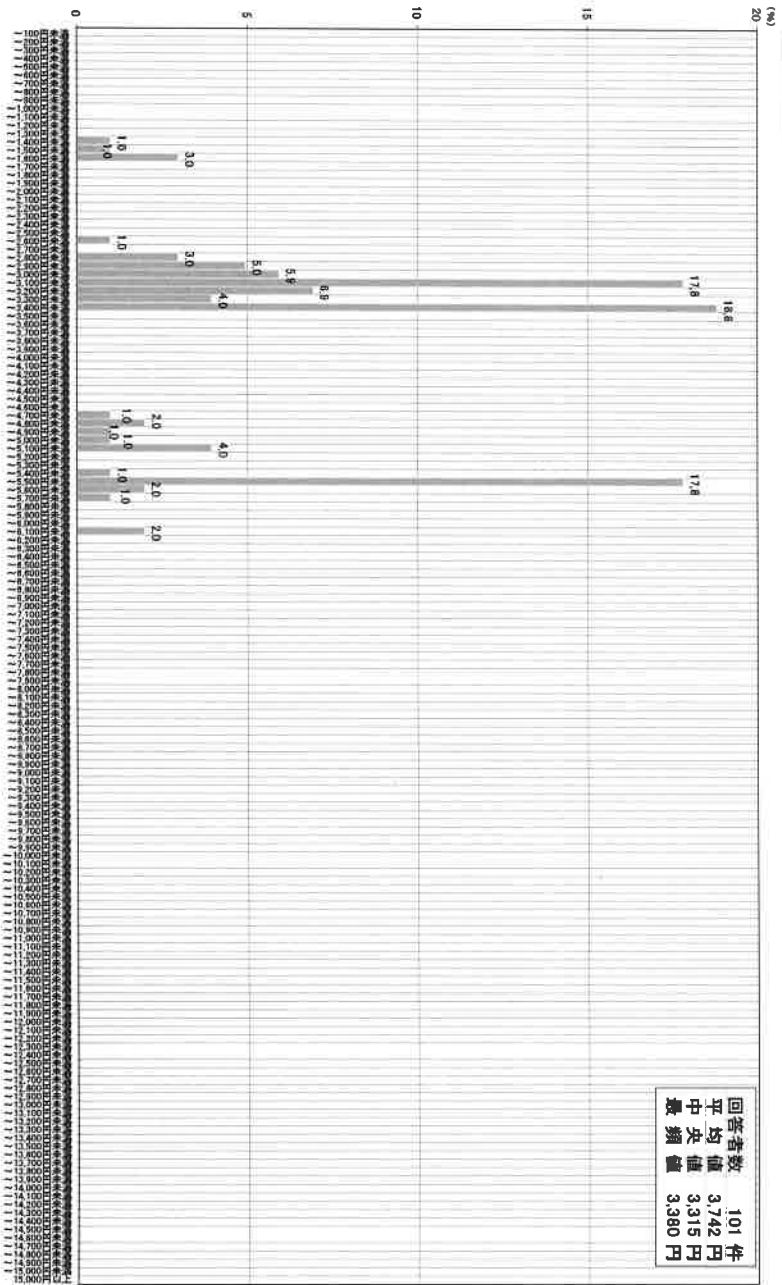


2013年

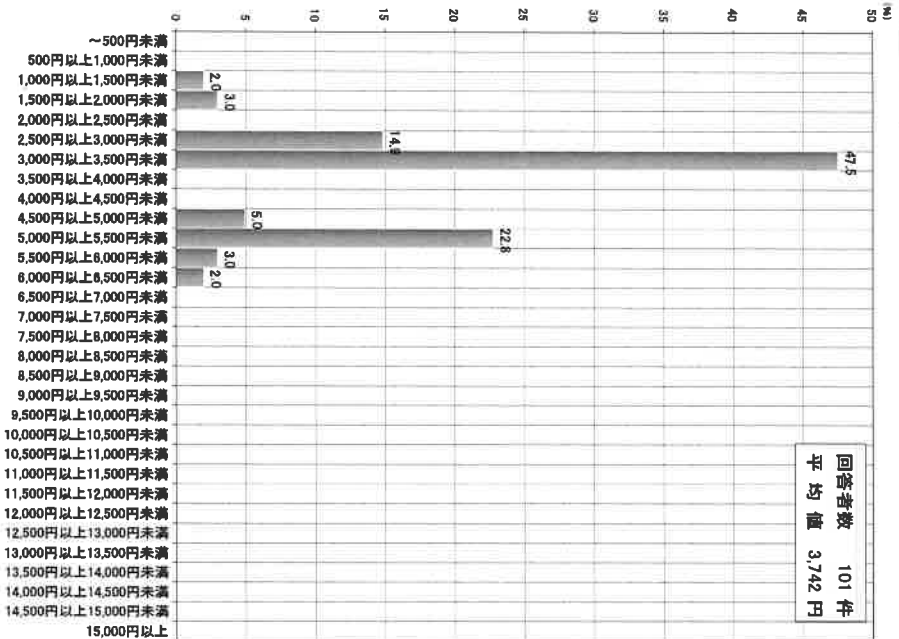


【インフルエンザ (挿入0.5mL 2本)】

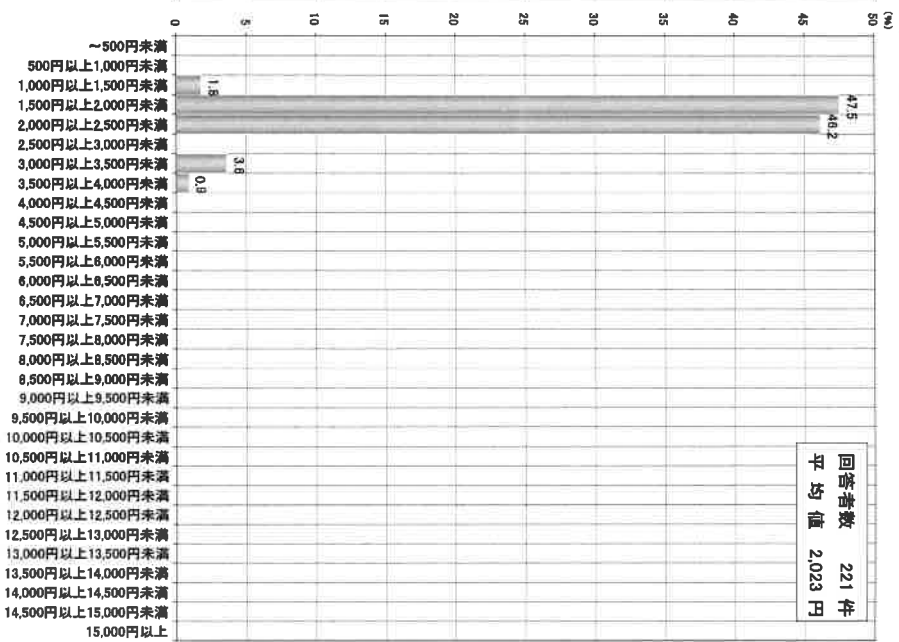
2018年



2018年

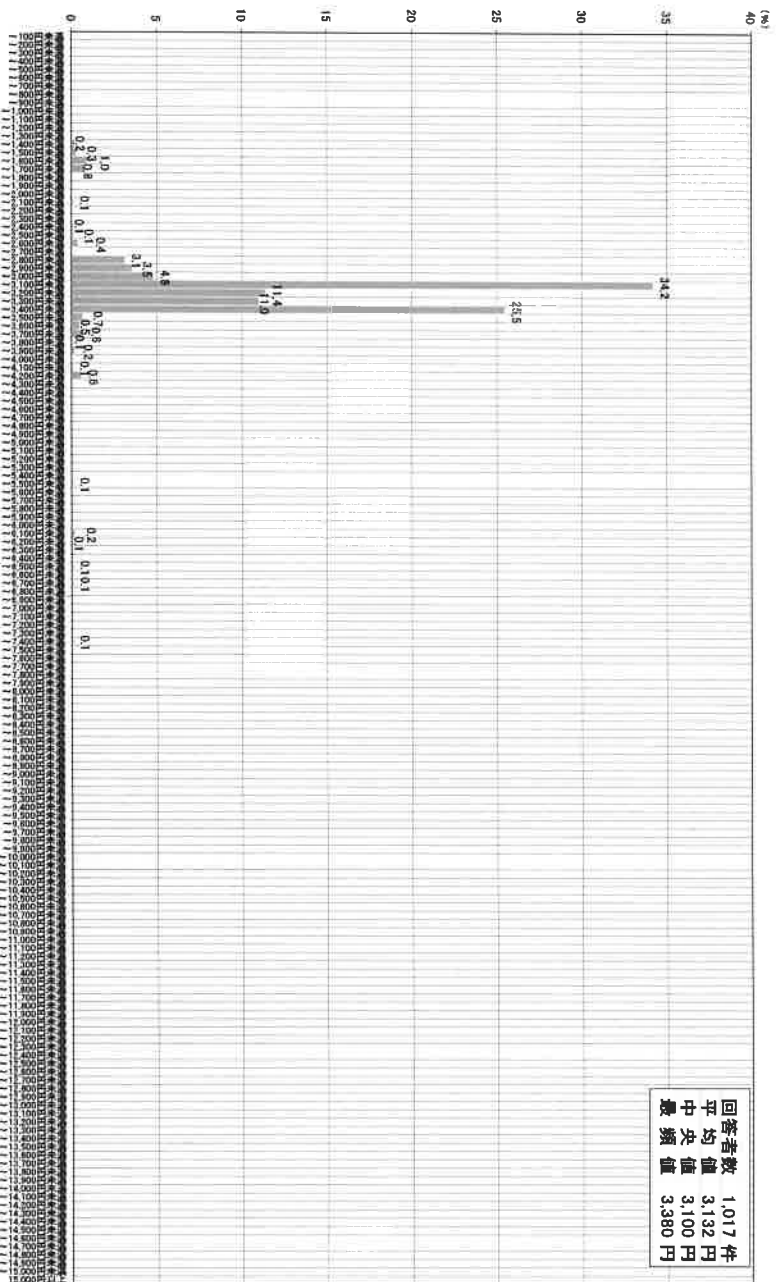


2013年

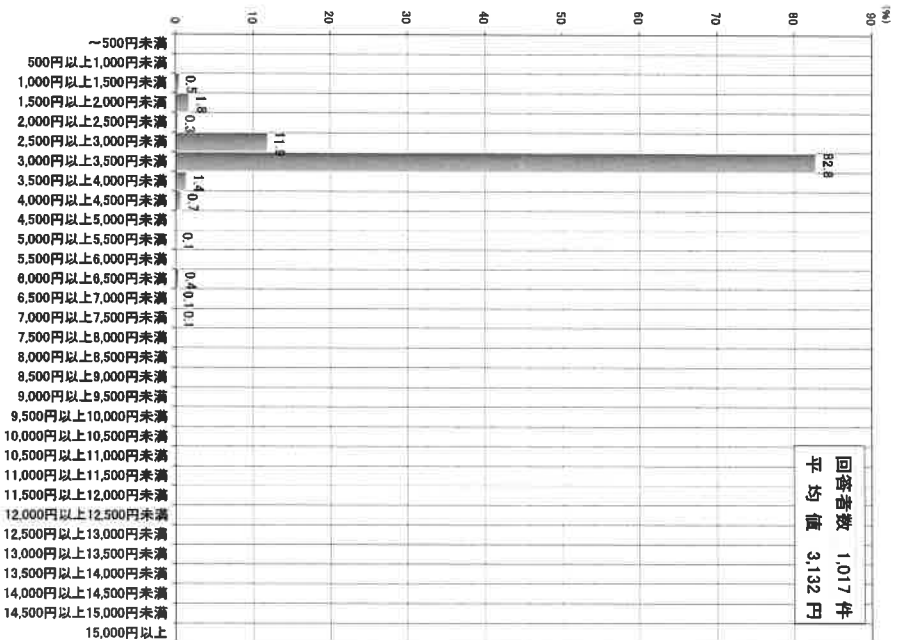


【インフルエンザ（シリンジ0.5mL 2本）】

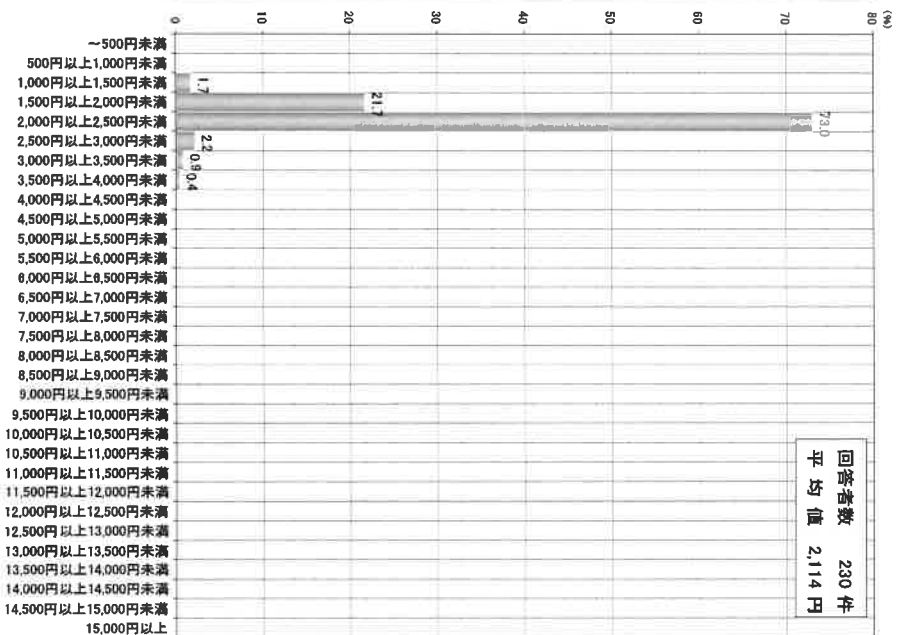
2018年



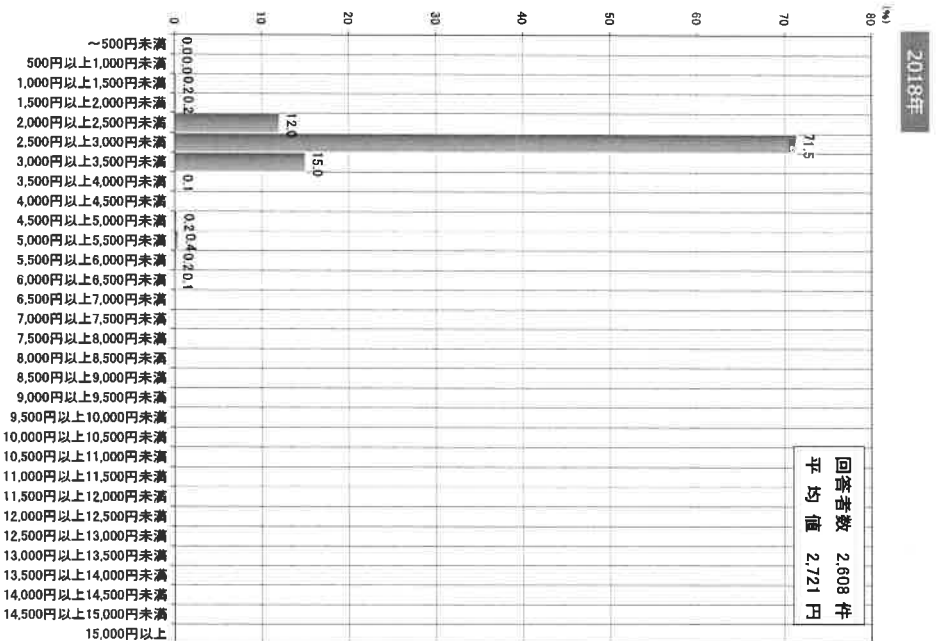
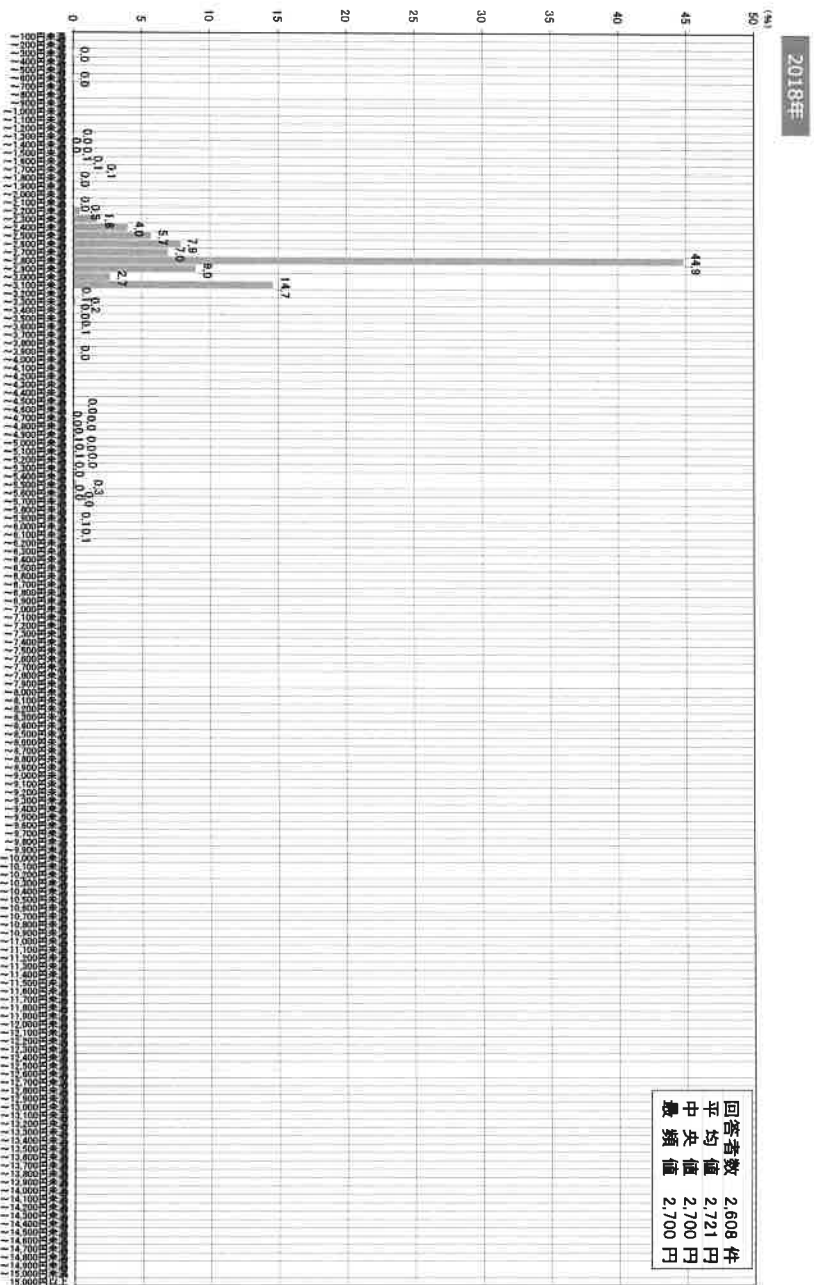
2018年



2013年

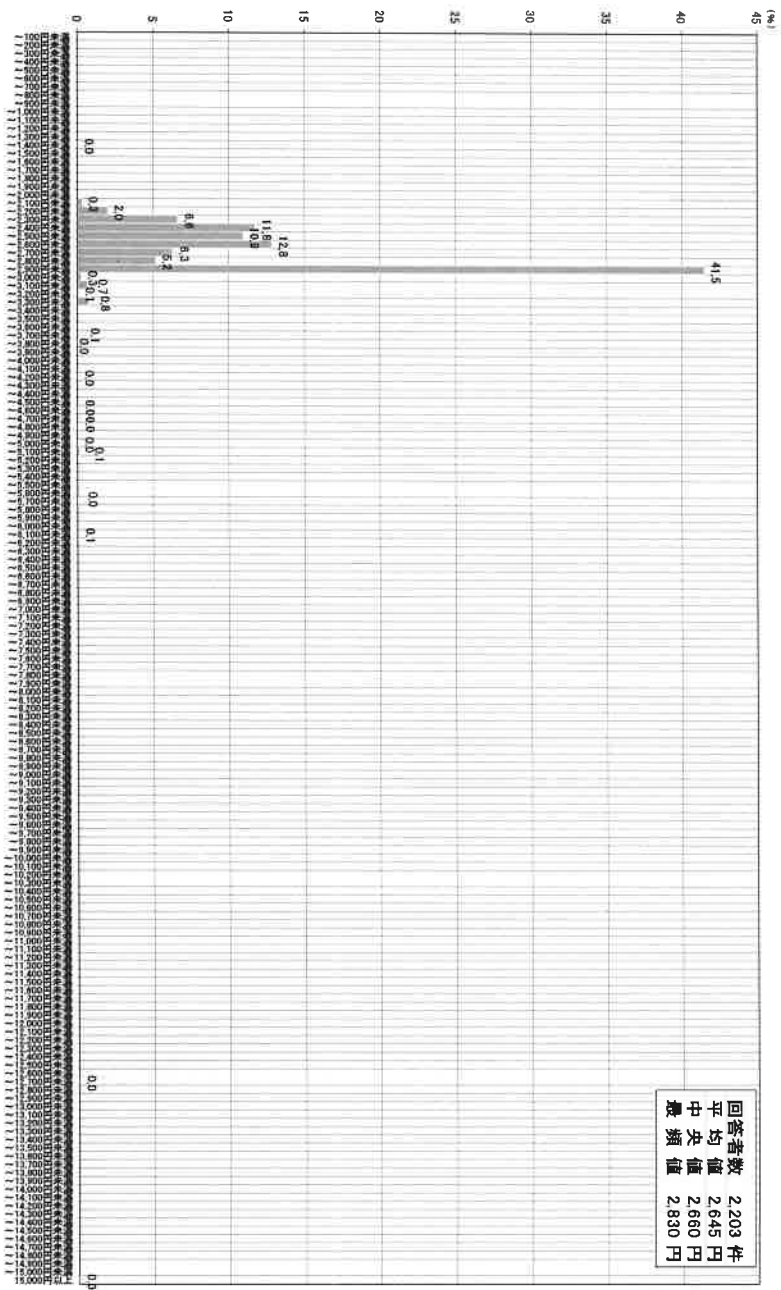


【イソリエンザ（1mL 1瓶）】

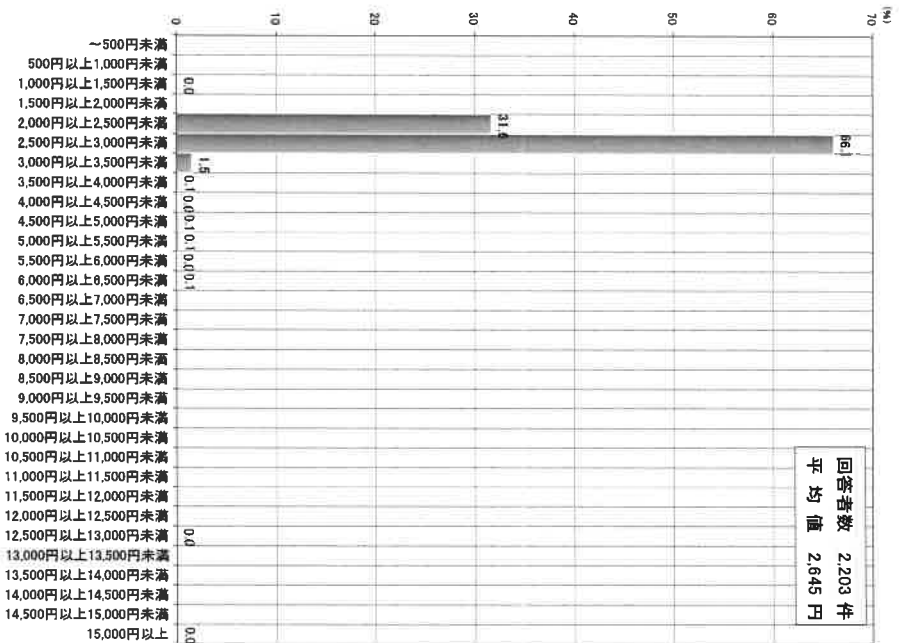


【おたふかせ (瓶入 1人分 1本)】

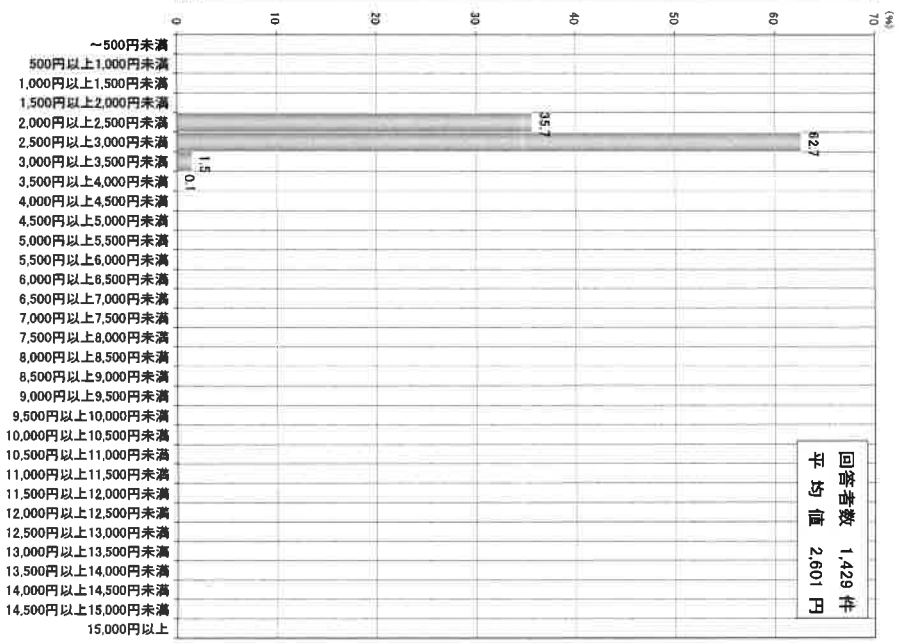
2018年



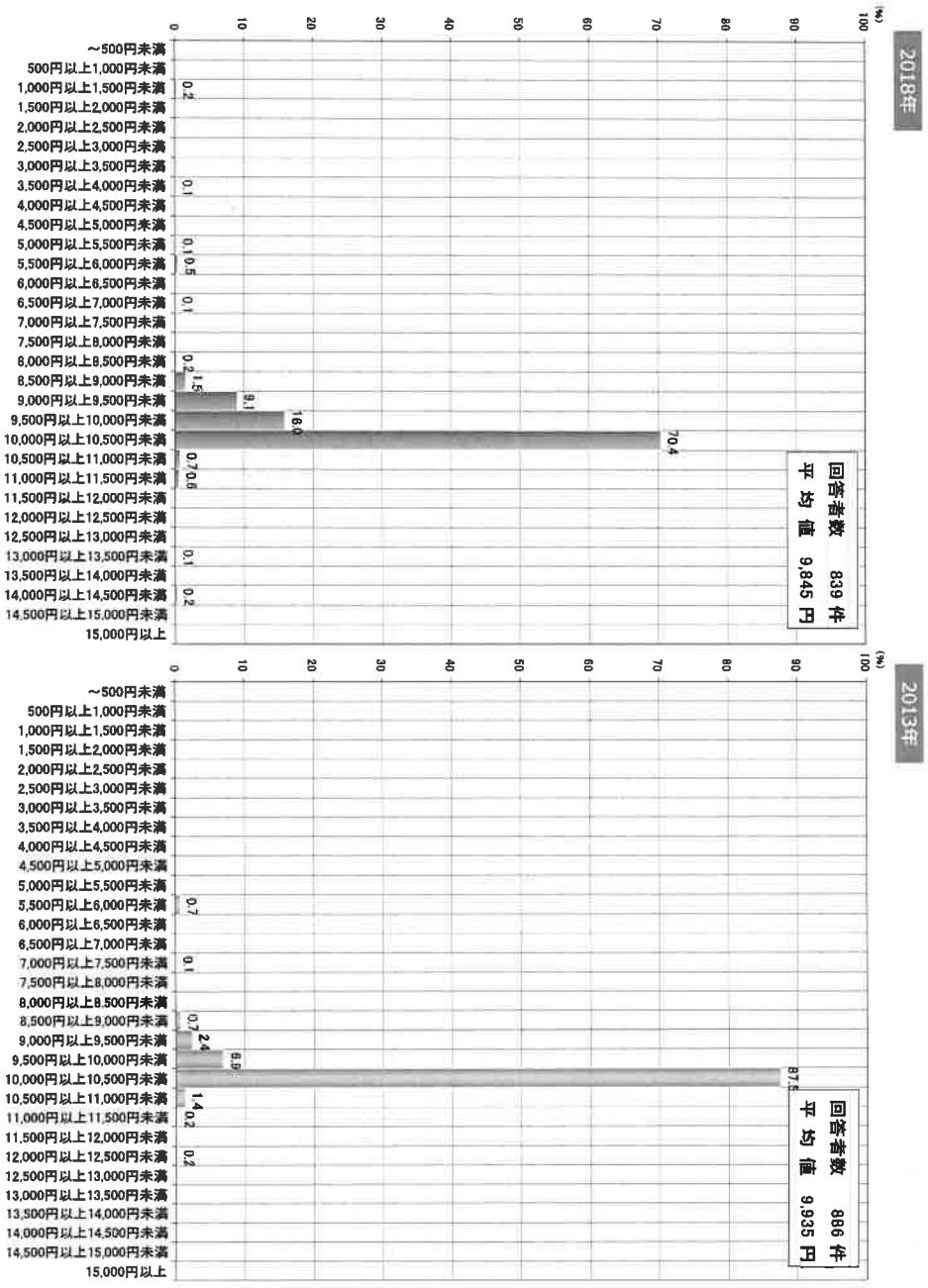
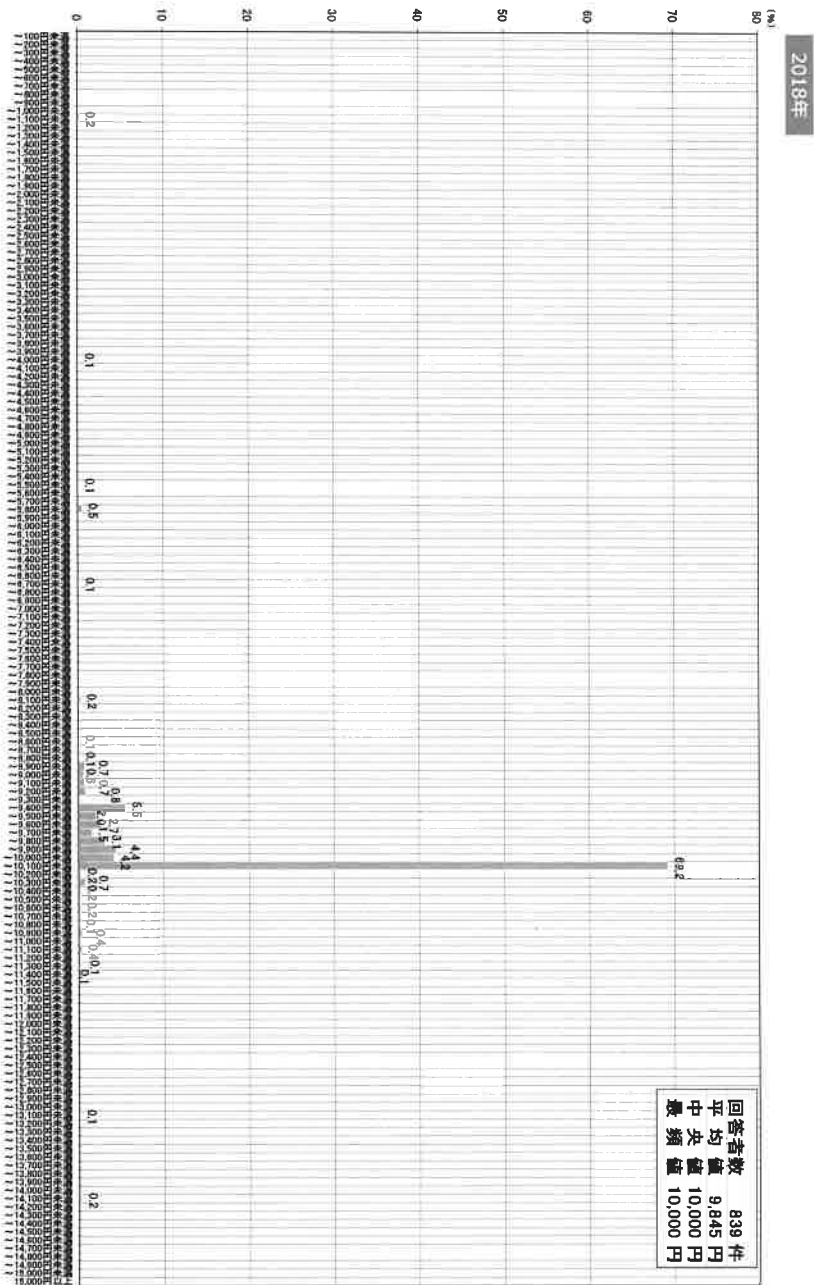
2018年



2013年



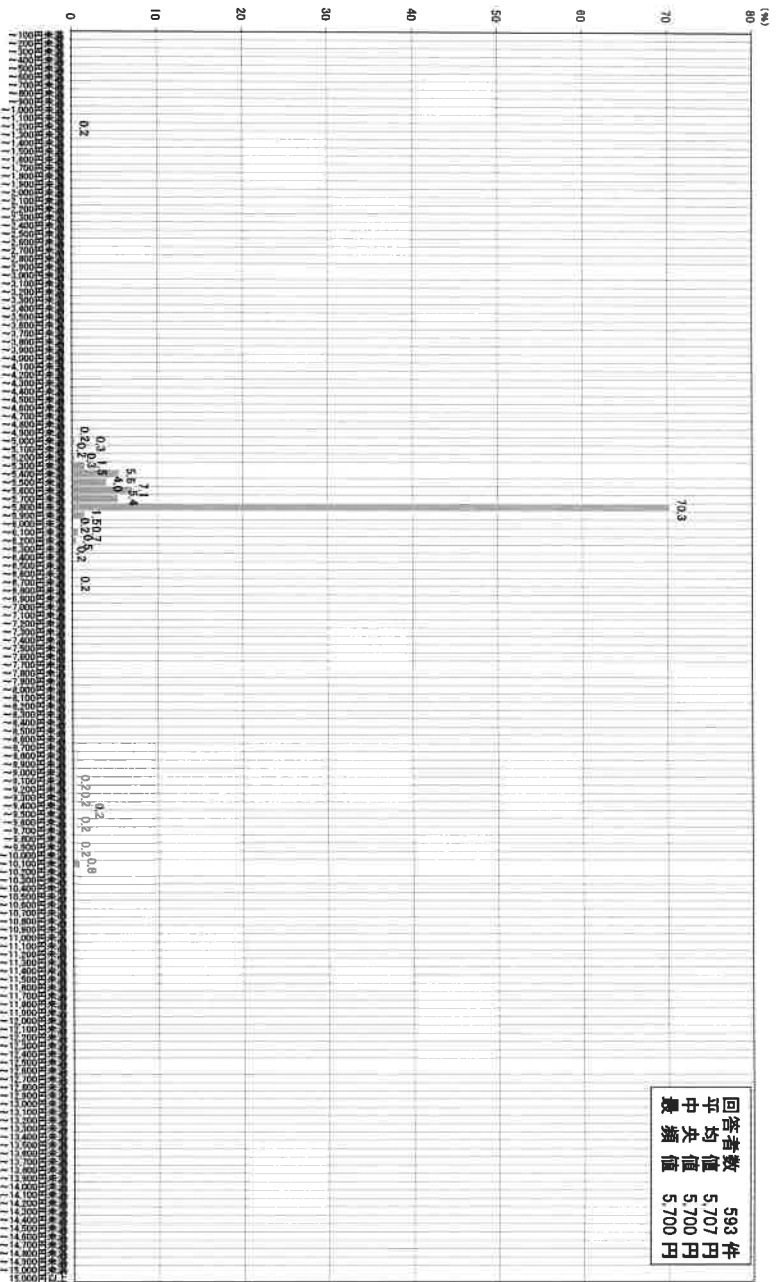
【ロタウイルス1価（1チューブ1回分 1.5mL 1本）】



回答者数 839 件
平均値 9,845 円
中央値 10,000 円
最頻値 10,000 円

【ロケイルス5冊（2mL）1チユ-ク】

2018年



2013年

